

【資料1】

令和2年度、令和3年度 公共職業訓練実施状況

大阪府資料

令和3年10月26日(火)

大阪府地域訓練協議会

令和2年度・令和3年度高等職業技術専門校等の入校状況一覧

校名	課程	科目名	期間	対象	令和2年度								令和3年度(R03.8月末時点)									
					年間募集定員	応募者	応募倍率	受験者(受験率)	合格者(合格率)	辞退者	入校者(入校率)	充足率	就職率	年間募集定員	応募者	応募倍率	受験者(受験率)	合格者(合格率)	辞退者	入校者(入校率)	充足率	
北大阪	普通	金属加工	1年	高卒	30	11	0.37	11	11	1	10	33.3%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-		
		ロボット・オートメーション	10月		1年	30	15	0.50	15	15	0	15	50.0%	92.3%	-	-	-	-	-	-	-	
		ICTプログラミング	5月		1年	30	13	0.43	12	12	1	11	36.7%	83.3%	30	23	0.77	22	22	1	21	70.0%
		建築設計	5月		1年	30	18	0.60	18	18	0	18	60.0%	92.3%	30	27	0.90	26	26	3	23	76.7%
		住宅設備	5月		1年	30	16	0.53	15	15	0	15	50.0%	65.0%	30	20	0.67	18	18	0	18	60.0%
		インテリア木工	1年		30	19	0.63	19	19	2	17	56.7%	94.1%	30	13	0.43	12	12	2	10	33.3%	
	短期	3Dマシクラフト	4月	6月	中卒	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	9	0.30	9	9	2	7	23.3%
		モールドクラフト	10月	6月		30	6	0.20	6	6	1	5	16.7%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	
		ワークトレーニング(知的)	1年	20		16	0.80	16	15	3	12	60.0%	100.0%	20	9	0.45	8	7	0	7	35.0%	
	北大阪校(一般)小計					210	92	0.44	90 (98%)	90 (100%)	4	86 (96%)	41.0%	87.4%	150	92	0.61	87 (95%)	87 (100%)	8	79 (91%)	52.7%
北大阪校小計					230	114	0.50	112 (98%)	111 (99%)	8	103 (93%)	44.8%	88.6%	170	101	0.59	95 (94%)	94 (99%)	8	86 (91%)	50.6%	
東大阪	普通	電気工事	1年	高卒	30	20	0.67	16	15	0	15	50.0%	100.0%	30	22	0.73	22	21	1	20	66.7%	
		溶接・板金技術	1年		20	8	0.40	8	8	0	8	40.0%	100.0%	20	7	0.35	7	7	1	6	30.0%	
	短期	機械加工技術	4月	6月	中卒	20	7	0.35	7	7	1	6	30.0%	100.0%	20	7	0.35	7	7	1	6	30.0%
			10月	20		8	0.40	8	8	0	8	40.0%	85.7%	-	-	-	-	-	-	-		
		機械CADデザイン	4月	6月		30	18	0.60	18	18	2	16	53.3%	93.3%	30	13	0.43	12	12	0	12	40.0%
			10月	30		40	1.33	36	30	0	30	100.0%	96.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ものづくり基礎(溶接技術)	1年	20		9	0.45	9	5	0	5	25.0%	100.0%	20	8	0.40	8	8	0	8	40.0%	
東大阪校小計					170	110	0.65	102 (93%)	91 (89%)	3	88 (97%)	51.8%	96.3%	120	57	0.48	56 (98%)	55 (98%)	3	52 (95%)	43.3%	
南大阪	普通	情報通信	1年	高卒	30	27	0.90	25	22	0	22	73.3%	100.0%	30	23	0.77	23	20	2	18	60.0%	
		製造化学→化学ビジネス	1年		30	16	0.53	16	16	0	16	53.3%	99.2%	30	19	0.63	18	17	3	14	46.7%	
		電気主任技術	2年		30	44	1.47	39	31	2	29	96.7%	90.5%	30	45	1.50	42	32	2	30	100.0%	
		Webシステム開発	1年		30	36	1.20	36	31	1	30	100.0%	91.7%	30	36	1.20	35	31	1	30	100.0%	
		空調設備	10月		1年	30	16	0.53	16	15	0	15	50.0%	87.5%	-	-	-	-	-	-	-	-
		自動車・車体整備	2年		30	31	1.03	29	27	0	27	90.0%	100.0%	30	31	1.03	31	27	1	26	86.7%	
南大阪校小計					180	170	0.94	161 (95%)	142 (88%)	3	139 (98%)	77.2%	94.2%	150	154	1.03	149 (97%)	127 (85%)	9	118 (93%)	78.7%	
夕陽丘	短期	ビル設備管理	4月	6月	中卒	40	65	1.63	60	42	3	39	97.5%	97.2%	40	79	1.98	74	45	5	40	100.0%
			10月			40	70	1.75	64	41	1	40	100.0%	97.4%	-	-	-	-	-	-	-	-
		ビルクリーニング管理	4月			30	21	0.70	19	19	5	14	46.7%	92.9%	30	24	0.80	22	14	2	12	40.0%
			10月			30	15	0.50	15	12	1	11	36.7%	77.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
		建築内装CAD	4月			20	54	2.70	48	21	1	20	100.0%	88.9%	20	51	2.55	47	22	2	20	100.0%
			10月			20	63	3.15	58	20	0	20	100.0%	85.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
	キャリアチャレンジ(発達)	4月	5	10		2.00	9	5	0	5	100.0%	80.0%	5	10	2.00	10	5	1	4	80.0%		
		10月	5	6		1.20	6	5	0	5	100.0%	80.0%	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ジョブスタップ(精神)	4月	5	8		1.60	6	5	0	5	100.0%	60.0%	5	7	1.40	6	5	0	5	100.0%		
		10月	5	9		1.80	9	5	0	5	100.0%	75.0%	-	-	-	-	-	-	-	-		
ワークアシスト(知的)	10月	1年	20	21	1.05	20	17	1	16	80.0%	83.3%	-	-	-	-	-	-	-	-			
夕陽丘校(一般)小計					180	288	1.60	264 (92%)	155 (59%)	11	144 (93%)	80.0%	92.6%	90	154	1.71	143 (93%)	81 (57%)	9	72 (89%)	80.0%	
夕陽丘校(障がい)小計					40	54	1.35	50 (93%)	37 (74%)	1	36 (97%)	90.0%	76.0%	10	17	1.70	16 (94%)	10 (63%)	1	9 (90%)	90.0%	
夕陽丘校小計					220	342	1.55	314 (92%)	192 (61%)	12	180 (94%)	81.8%	90.1%	100	171	1.71	159 (93%)	91 (57%)	10	81 (89%)	81.0%	
技専校小計					800	736	0.92	689 (94%)	536 (78%)	26	510 (95%)	63.8%	91.8%	540	483	0.89	459 (95%)	367 (80%)	30	337 (92%)	62.4%	
障害者	短期	CAD技術科(身体)	1年	中卒	15	27	1.80	24	15	0	15	100.0%	71.4%	15	28	1.87	27	18	4	14	93.3%	
		OAビジネス(身体)			20	26	1.30	25	20	0	20	100.0%	80.0%	20	30	1.50	26	20	0	20	100.0%	
		Webデザイン(身体)			15	31	2.07	28	15	0	15	100.0%	58.3%	15	39	2.60	37	17	2	15	100.0%	
		オフィス実践(身体)			10	12	1.20	11	10	1	9	90.0%	87.5%	10	17	1.70	17	10	0	10	100.0%	
		ワークサービス(知的)			25	30	1.20	29	25	0	25	100.0%	96.0%	30	41	1.37	37	31	1	30	100.0%	
	職域開拓(精神)	4月	6月	10	16	1.60	13	11	1	10	100.0%	50.0%	10	16	1.60	14	11	1	10	100.0%		
		10月	10	10	1.00	9	9	2	7	70.0%	60.0%	-	-	-	-	-	-	-	-			
Jobチャレンジ(発達)	4月	6月	5	5	1.00	5	5	0	5	100.0%	40.0%	5	7	1.40	7	5	0	5	100.0%			
	10月	5	8	1.60	8	5	0	5	100.0%	20.0%	-	-	-	-	-	-	-	-				
障害者校小計					115	165	1.43	152 (92%)	115 (76%)	4	111 (97%)	96.5%	72.5%	105	178	1.70	165 (93%)	112 (68%)	8	104 (93%)	99.0%	
合計					915	901	0.98	841 (93%)	651 (77%)	30	621 (95%)	67.9%	88.2%	645	661	1.02	624 (94%)	479 (77%)	38	441 (92%)	68.4%	

令和2年度 高等職業技術専門校等 在職者訓練（テクノ講座）実施状況

令和3年3月末

校名	実施コース数 (レディメイド)	定員	申込者数	受講者数	修了者数	受講率 %	備考 (計画コース数) (定員)
北大阪	4	47 (5)	34 (2)	28 (1)	22 (1)	59.6%	11コース 117人
東大阪	24	240 (11)	251 (62)	193 (35)	174 (29)	80.4%	26コース 280人
南大阪	14	165 (0)	126 (0)	99 (0)	87 (0)	60.0%	23コース 259人
夕陽丘	17	218 (0)	193 (104)	156 (78)	118 (55)	71.6%	29コース 386人
障害者	11	73 (0)	68 (36)	55 (28)	47 (22)	75.3%	14コース 90人
レディ 合計	70	743 (16)	672 (204)	531 (142)	448 (107)	71.5%	103コース 1,132人
校名	実施コース数 (オーダーメイド)	申込 定員	申込 者数	受講者数	修了者数		備考 (計画コース数) (計画人数)
北大阪	18	249	217 (103)	205 (98)	168 (81)	82.3%	16コース 247人
東大阪	12	118	118 (9)	118 (9)	111 (9)	100.0%	14コース 170人
南大阪	3	29	29 (0)	29 (0)	29 (0)	100.0%	4コース 100人
夕陽丘	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	5コース 50人
障害者	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	1コース 7人
オーダー 合計	33	396	364 (112)	352 (107)	308 (90)	88.9%	40コース 574人
テクノ 合計	103	1,139	1,036 (316)	883 (249)	756 (197)	77.5%	143コース 1,706人

3月迄

コース数	103
定員	1,139
入校者	883
うち女性	249

令和3年度 高等職業技術専門校等 在職者訓練（テクノ講座）実施状況

令和3年8月末

校名	実施コース数 (レディメイド)	定員	申込者数	受講者数	修了者数	受講率 %	備考 (計画コース数) (定員)
北大阪	3	24 (0)	26 (2)	22 (2)	21 (2)	91.7%	13コース 108人
東大阪	9	105 (8)	146 (22)	101 (13)	87 (11)	96.2%	26コース 270人
南大阪	6	59 (0)	55 (0)	45 (0)	44 (0)	76.3%	23コース 268人
夕陽丘	11	149 (2)	136 (59)	104 (43)	82 (36)	69.8%	31コース 381人
障害者	5	33 (0)	24 (0)	21 (5)	21 (0)	63.6%	14コース 90人
レディ 合計	34	370 (10)	387 (83)	293 (63)	255 (49)	79.2%	107コース 1,117人
校名	実施コース数 (オーダーメイド)	申込 定員	申込 者数	受講者数	修了者数		備考 (計画コース数) (計画人数)
北大阪	9	100	81 (7)	81 (7)	71 (7)	81.0%	15コース 206人
東大阪	5	63	63 (5)	63 (5)	62 (5)	100.0%	13コース 165人
南大阪	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	3コース 80人
夕陽丘	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	5コース 50人
障害者	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	1コース 7人
オーダー 合計	14	163	144 (12)	144 (12)	133 (12)	88.3%	37コース 508人
テクノ 合計	48	533	531 (95)	437 (75)	388 (61)	82.0%	144コース 1,625人

8月迄

コース数	48
定員	533
入校者	437
うち女性	75

令和2年度 訓練実施状況（委託訓練）

1. 離職者訓練

R3.09.01時点

(1) 知識等習得コース・長期高度人材育成コース

分野	コース数		② 定員数 (人)	応募者 数 (人)	応募 倍率 (%)	③ 受講者 数 (人)	うち 女性 受講者 数	受講者の 女性割合 (%)	定員 充足率 ③/② (%)	修了者 数 (人)	修了者 のうち 就職者 数 (人)	中退者 のうち 就職者 数 (人)	就職 率 (%)
	うち 中止												
計	135	2	3,740	5,864	156.8%	3,152	2,591	82.2	84.3	2,512	1,910	164	77.5
00 基礎分野													
02 IT分野	15		400	945	236.3%	347	258	74.4	86.8	249	208	10	84.2
03 営業・販売・事務分野	55		1,620	2,685	165.7%	1,419	1,240	87.4	87.6	1,142	896	120	80.5
04 医療事務分野	18		530	778	146.8%	454	447	98.5	85.7	399	298	15	75.6
05 介護福祉分野	33		900	954	106.0%	691	448	64.8	76.8	538	388	6	72.4
11 デザイン分野	5		140	201	143.6%	133	103	77.4	95.0	106	62	6	60.7
16 機械関連分野													
18 建設関連分野													
19 理容・美容関連分野	1	1											
20 その他の分野	8	1	150	301	200.7%	108	95	88.0	72.0	78	58	7	76.5

(2) デュアルシステム訓練

分野	コース数		② 定員数 (人)	応募者 数 (人)	応募 倍率 (%)	③ 受講者 数 (人)	うち 女性 受講者 数	受講者の 女性割合 (%)	定員 充足率 ③/② (%)	修了者 数 (人)	修了者 のうち 就職者 数 (人)	中退者 のうち 就職者 数 (人)	就職 率 (%)
	うち 中止												
計	26	0	520	930	178.8%	443	319	72.0	85.2	333	282	49	86.6
00 基礎分野													
02 IT分野	14		280	641	228.9%	254	161	63.4	90.7	196	168	24	87.3
03 営業・販売・事務分野	6		120	128	106.7%	93	86	92.5	77.5	70	60	18	88.6
04 医療事務分野													
05 介護福祉分野													
11 デザイン分野	4		80	136	170.0%	76	66	86.8	95.0	49	41	5	85.2
16 機械関連分野													
18 建設関連分野													
19 理容・美容関連分野													
20 その他の分野	2		40	25	62.5%	20	6	30.0	50.0	18	13	2	75.0

注) 「修了者数」及び「修了者のうち就職者数」には翌年度跨ぎ科目分を含まず、「中退者のうち就職者数」には翌年度跨ぎ科目の3月未までの就職中退者を含む。

注) 定員数、応募者数に開講中止科目は含まない。

2. 障がい者訓練

(1) 求職者対象訓練

分野	コース数		② 定員数 (人)	応募者 数 (人)	応募 倍率 (%)	③ 受講者 数 (人)	うち 女性 受講者 数	受講者の 女性割合 (%)	定員 充足率 ③/② (%)	修了者 数 (人)	修了者 のうち 就職者 数 (人)	中退者 のうち 就職者 数 (人)	就職 率 (%)
	うち 中止												
計	14	0	136	105	77.2	83	—	—	61.0	68	36	7	57.3
知識・技能習得訓練 (集合訓練)	5	0	42	28	66.7%	22	—	—	52.4%	17	7	1	44.4%
知識・技能習得訓練 (デュアルシステム訓練)	3	0	14	14	100.0%	13	—	—	92.9%	13	7	0	53.8%
実践能力習得訓練	2	0	25	30	120.0%	19	—	—	76.0%	18	5	0	27.8%
e-ラーニング	3	0	15	15	100.0%	14	—	—	93.3%	6	4	5	81.8%
支援学校等早期委託訓練	1	0	40	18	45.0%	15	—	—	37.5%	14	13	1	93.3%

(2) 在職者訓練

分野	コース数		② 定員数 (人)	応募者 数 (人)	応募 倍率 (%)	③ 受講者 数 (人)	うち 女性 受講者 数	受講者の 女性割合 (%)	定員 充足率 ③/② (%)	修了者 数 (人)	修了者 のうち 雇用継 続者数 (人)	未修了 者の中 雇用継 続者数 (人)	定着 率 (%)
	うち 中止												
計	8	0	66	37	—	36	—	—	54.5	34	34	3	100.0
在職者訓練（通所型）	2	0	16	3	—	3	—	—	18.8	3	3	0	100.0
在職者訓練（指導員派遣 型）	6	0	50	34	—	33	—	—	66.0	31	31	2	100.0

注) 実績は令和2年度全開講科目分を含む。

注) 障がい者訓練では、性別の集計はしていない。

注) 定員数、応募者数に開講中止科目は含まない。

令和3年度 訓練実施状況

令和3年8月開講分まで

1. 離職者訓練

分野	コース数	うち中止・取消	② 定員数 (人)		応募者数 (人)	応募倍率 (%)	③ 受講者数 (人)		うち女性受講者数	受講者の女性割合 (%)	定員充足率 ③/② (%)
			定員数 (人)	占有率 (%)			受講者数 (人)	占有率 (%)			
知識等習得・長期高度人材 計	61	2	1,484	100.0%	2,206	148.7%	1,241	100.0%	977	78.7%	83.6%
00 基礎分野											
02 IT分野	5		130	8.8%	396	304.6%	126	10.2%	94	74.6%	96.9%
03 営業・販売・事務分野	21	1	620	41.8%	825	133.1%	534	43.0%	442	82.8%	86.1%
04 医療事務分野	4		120	8.1%	173	144.2%	111	8.9%	111	100.0%	92.5%
05 介護福祉分野	20	1	414	27.9%	461	111.4%	317	25.5%	209	65.9%	76.6%
11 デザイン分野	2		40	2.7%	62	155.0%	37	3.0%	29	78.4%	92.5%
16 機械関連分野											
18 建設関連分野											
19 理容・美容関連分野	1		10	0.7%	30	300.0%	10	0.8%	10	100.0%	100.0%
20 その他の分野	8		150	10.1%	259	172.7%	106	8.5%	82	77.4%	70.7%
企業実習付 計	11	0	220	100.0%	356	161.8%	197	100.0%	144	73.1%	89.5%
02 IT分野	5		100	45.5%	221	221.0%	96	48.7%	64	66.7%	96.0%
03 営業・販売・事務分野	4		80	36.4%	79	98.8%	62	31.5%	56	90.3%	77.5%
04 医療事務分野											
05 介護福祉分野											
10 クリエイト(企画・創作)分野											
11 デザイン分野	1		20	9.1%	23	115.0%	20	10.2%	16	80.0%	100.0%
18 建設関連分野											
19 理容・美容関連分野											
20 その他の分野	1		20	9.1%	33	165.0%	19	9.6%	8	42.1%	95.0%
計	72	2	1,704	—	2,562	150.4%	1,438	—	1,121	78.0%	84.4%

2. 障がい者訓練

分野	コース数	うち中止・取消	② 定員数 (人)		応募者数 (人)	応募倍率 (%)	③ 受講者数 (人)		うち女性受講者数	受講者の女性割合 (%)	定員充足率 ③/② (%)
			定員数 (人)	占有率 (%)			受講者数 (人)	占有率 (%)			
求職者訓練 計	15	0	112	65.1%	41		25		—	—	22.3%
知識・技能習得訓練(集合訓練)	5	0	29	16.9%	17		12		—	—	41.4%
知識・技能習得訓練(デュアルシステム訓練)	4	0	23	13.4%	6		3		—	—	13.0%
実践能力習得訓練	2	0	25	14.5%	6		3		—	—	12.0%
e-ラーニング	3	0	15	8.7%	12		7		—	—	46.7%
支援学校等早期委託訓練	1	0	20	11.6%	0		0		—	—	0.0%
在職者訓練 計	6	0	60	34.9%	14		14		—	—	23.3%
通所型	1	0	7	4.1%	1		1		—	—	14.3%
指導員派遣型	3	0	23	13.4%	1		1		—	—	4.3%
通所型・指導員派遣型	2	0	30	17.4%	13		13		—	—	43.3%
計	21		172	100.0%	55		39		—	—	22.7%

注) 障がい者訓練では、性別の集計はしていない。

【資料2】

**令和2年度、令和3年度
公共職業訓練実施状況**

**独立行政法人高齢・障害・求職者
雇用支援機構大阪支部資料**

令和3年10月26日(火)

大阪府地域訓練協議会

令和2年度 離職者訓練(施設内訓練)実施状況

令和3年6月末

[関西職業能力開発促進センター]

	年間定員(人)	入所者数(人)	充足率(%) (受聘者/定員)	就職率(%)	備考
施設内訓練総計	440	413 (95)	93.9%	83.2%	

○標準コース

訓練科名	期間	年間定員	1回定員	実施月	入所者数	充足率	女性割合	前年度入所者	就職率	備考
CAD/NC技術科	6ヶ月	44	22	4月	16 (4)	72.7%	25.0%	—	57.1%	
				12月	22 (5)	100.0%	22.7%	—	—	
CAD/CAM技術科	6ヶ月	44	22	1月	—	—	—	21	75.0%	
				9月	22 (4)	100.0%	18.2%	—	80.0%	
CAD機械設計科	6ヶ月	44	22	3月	17 (6)	77.3%	35.3%	—	—	
				12月	—	—	—	22	66.7%	
ものづくりサポート(技術)科	6ヶ月	40	20	6月	20 (7)	90.9%	35.0%	—	85.0%	
				1月	21 (8)	95.5%	38.1%	—	—	
溶接技術科	6ヶ月	—	—	4月	20 (11)	100%	55.0%	—	90.0%	
				12月	19 (12)	95.0%	63.2%	—	—	
IoT機器製作科	6ヶ月	36	18	11月	—	—	—	12	75.0%	
				2月	—	—	—	12	90.0%	
通信端末システム開発科	6ヶ月	—	—	12月	—	—	—	18	83.3%	
				8月	17 (2)	94.4%	11.8%	—	82.4%	
ICTエンジニア科	6ヶ月	60	20	2月	18 (3)	100.0%	16.7%	—	—	
				3月	—	—	—	24	95.5%	
スマートFA制御科	6ヶ月	20	20	6月	中止	—	—	—	—	
				9月	20 (9)	100.0%	45.0%	—	88.9%	
電気設備技術科	6ヶ月	45	15	12月	20 (2)	100.0%	10.0%	—	—	
				3月	20 (4)	100.0%	20.0%	—	—	
スマートFA制御科	6ヶ月	20	20	3月	—	—	—	17	76.5%	
				11月	20 (1)	100.0%	5.0%	—	—	
電気設備技術科	6ヶ月	45	15	12月	—	—	—	14	83.3%	
				3月	—	—	—	15	92.9%	
				6月	中止	—	—	—	—	
				9月	15 (0)	100.0%	0.0%	—	100%	
				12月	15 (0)	100.0%	0.0%	—	—	
計		333	—	—	317 (78)	95.2%	24.6%	155	83.2%	

○企業実習付きコース(短期課程活用型デュアルシステム) <対象者:概ね55歳未満の求職者>

訓練科名	期間	年間定員	1回定員	実施月	入所者数	充足率	女性割合	前年度入所者	就職率	備考
NC機械技術科(DS)	6ヶ月	14	14	3月	—	—	—	7	60.0%	
				11月	10 (0)	71.4%	0.0%	—	—	
メタルワーク科(DS)	6ヶ月	15	15	10月	11 (3)	73.3%	27.3%	—	90.9%	
組込みマイコン技術科(DS)	6ヶ月	—	—	1月	—	—	—	15	83.3%	
計		29	—	—	21 (3)	72.4%	14.3%	22	76.5%	

○導入講習<6ヶ月コースの前に実施する橋渡し訓練>

訓練科名	期間	年間定員	1回定員	実施月	入所者数	充足率	女性割合	備考
CAD機械設計科	1ヶ月	22	22	5月	22 (8)	100%	36.4%	
スマートFA制御科		20	20	10月	17 (1)	85.0%	5.9%	
IoT機器製作科		36	18	7月	18 (2)	100.0%	11.1%	
	—	—	1月	18 (3)	100%	16.7%		
計		78	—	—	75 (14)	96.2%	18.7%	

※入所者数:()内は女性で入所者の内数

就職率は、訓練終了3ヶ月以内に就職した者の実績(前年度繰越者の就職実績を含む)

23.0% (合計)

令和2年度 在職者訓練実施状況

[関西職業能力開発促進センター]

区 分	実施					充足率 (受講者/定員)
	コース数	定員	訓練時間	申込者数	受講者数	
機械系	167	2,133	2,701	2,345	1,576	73.9%
オーダー型コース 実施状況(内数)	27	378	444	340	340	89.9%
電気・電子系	189	1,888	2,873	1,787	1,304	69.1%
オーダー型コース 実施状況(内数)	24	240	301	204	204	85.0%
合計	356	4,021	5,574	4,132	2,880	71.6%
オーダー型コース 実施状況内数合計	51	618	745	544	544	88.0%

[近畿職業能力開発大学校]

区 分	実施					充足率 (受講者/定員)
	コース数	定員	訓練時間	申込者数	受講者数	
機械系	38	463	543	335	306	66.1%
オーダー型コース 実施状況(内数)	10	118	139	118	118	100.0%
電気・電子系	31	340	428	256	243	71.5%
オーダー型コース 実施状況(内数)	18	204	225	208	204	100.0%
居住系	2	20	24	10	10	50.0%
オーダー型コース 実施状況(内数)	0	0	0	0	0	0.0%
合計	71	823	995	601	559	67.9%
オーダー型コース 実施状況内数合計	28	322	364	326	322	100.0%

令和2年度 専門・応用課程実施状況

令和3年8月末現在

[近畿職業能力開発大学校]

○専門課程(令和2年4月入校生)

訓練科名	期間	定員	応募者数	入校者数
生産技術科	2年	30	33	29 (2)
電気エネルギー制御科	2年	30	32	28 (2)
電子情報技術科	2年	30	79	30 (1)
住居環境科	2年	20	60	20 (7)
計		110	204	107 (12)

・高度技術者・生産現場リーダーの育成

H31年入校者数	就職内定率	進学	令和3年3月修了予定
31 (0)	100.0%	18	修了者数 30 名
35 (2)	100.0%	15	修了者数 26 名
31 (4)	100.0%	17	修了者数 25 名
21 (4)	100.0%	9	修了者数 16 名
118 (10)	100.0%	59	修了者数 97 名

○応用課程(令和2年4月入校生)

訓練科名	期間	定員	応募者数	入校者数
生産機械システム技術科	2年	30	30	29 (1)
生産電気システム技術科	2年	20	22	20 (0)
生産電子情報システム技術科	2年	25	30	26 (0)
建築施工システム技術科	2年	25	27	26 (9)
計		100	109	101 (10)

・高度技術者・生産現場リーダーの育成

H31年入校者数	就職内定率	進学	令和3年3月修了予定
26 (0)	100.0%	0	修了者数 25 名
22 (1)	100.0%	0	修了者数 23 名
26 (1)	100.0%	1	修了者数 24 名
26 (6)	100.0%	0	修了者数 26 名
100 (8)	100.0%	1	修了者数 98 名

○専門課程活用型デュアルシステム

訓練科名	期間	定員	応募者数	入校者数
メカトロニクス技術科	2年	12	6	4 (0)

※令和2年7月入校生

・若年者等に対する職業能力開発支援

H30.7入校者数	就職率	進学	令和2年6月修了
2 (0)	100.0%	0	修了者数 2 名

令和2年度 港湾労働者訓練実施状況

[関西職業能力開発促進センター大阪港湾労働分所]

訓練科名	期間	定員	入所者数	就職率	備考
港湾荷役科	1年	30	21(1)	100.0%	修了者数 18名

令和3年度離職者訓練（施設内訓練）実施状況

令和3年8月末日

	年間定員	充足率	就職率
施設内訓練総計	604	83.9%	85.4%

※令和3年8月末日における暫定実績

○標準コース

訓練科名	期間	年間定員	コース定員	開講月	前年度繰越	入所者数（うち女性）	充足率	女性割合	就職率	備考
CAD/NC技術科	6カ月	44	22	12月	17	-	5	100.0%	22.7%	86.4%
			22	6月	-	22	8	100.0%	36.4%	
			22	12月						
ものづくりサポート科		40	20	12月	19	-	11	95.0%	55.0%	83.3%
			20	6月	-	20	13	100.0%	65.0%	
			20	12月						
CAD機械設計科		44	22	2月	16	-	8	95.5%	36.4%	
			22	8月	-	22	8	100.0%	36.4%	
			22	2月						
CAD/CAM技術科		44	22	3月	16	-	6	77.3%	35.3%	
			22	9月						
			22	3月						
IoT機器製作科	72	18	2月	17	-	3	94.4%	16.7%		
		18	5月	-	17	2	94.4%	11.8%		
		18	8月		17	3	94.4%	17.6%		
		18	11月							
ICTエンジニア科	88	20	12月	19	-	2	100.0%	10.0%	89.5%	
		20	3月	20	-	4	100.0%	20.0%		
		22	6月		22	11	100.0%	50.0%		
		22	9月							
		22	12月							
スマートFA制御科	44	20	11月	16	-	1	100.0%	5.0%	75.0%	
		22	5月	-	12	3	54.5%	25.0%		
		22	11月							
電気設備技術科	60	15	12月	8	-		100.0%	0.0%	93.3%	
		15	3月	13	-		100.0%	0.0%		
		15	6月	-	15	1	100.0%	6.7%		
		15	9月							
		15	12月							
15	3月									

○企業実習付きコース（短期過程活用型デュアルシステム）

充足率 71.6%

訓練科名	期間	年間定員	コース定員	開講月	前年度繰越	入所者数（うち女性）	充足率	女性割合	就職率	備考	
NC機械技術科	6カ月	28	14	11月	8		0	71.4%	0.0%	88.9%	
			14	5月		2	0	14.3%	0.0%		
			14	10月							
メタルワーク科		30	15	10月			11	2	73.3%	18.2%	
			15	6月							

○導入講習（橋渡し訓練）

充足率 34.9%

訓練科名	期間	年間定員	コース定員	開講月	入所者数（うち女性）	充足率	女性割合	備考
スマートFA制御科	1カ月	110	22	4月	9	3	40.9%	33.3%
			22	10月				
CAD/NC技術科			22	5月	22	8	100.0%	36.4%
			22	11月				
CAD機械設計科			22	7月	22	8	100.0%	36.4%

令和3年度 在職者訓練実施状況

令和3年8月末現在

[関西職業能力開発促進センター]

区 分	実施					充足率 (受講者/定員)
	コース数	定員	訓練時間	申込者数	受講者数	
機械系	87	1,207	1,522	1,242	983	81.4%
オーダー型コース 実施状況(内数)	29	454	536	434	431	94.9%
電気・電子系	99	993	1,488	911	757	76.2%
オーダー型コース 実施状況(内数)	25	248	324	224	224	90.3%
合計	186	2,200	3,010	2,153	1,740	79.1%
オーダー型コース 実施状況内数合計	54	702	860	658	655	93.3%

[近畿職業能力開発大学校]

区 分	実施					充足率 (受講者/定員)
	コース数	定員	訓練時間	申込者数	受講者数	
機械系	36	418	211	279	256	61.2%
オーダー型コース 実施状況(内数)	14	152	191	152	152	100.0%
電気・電子系	37	395	518	301	300	75.9%
オーダー型コース 実施状況(内数)	22	256	297	258	258	100.8%
居住系	5	50	69	25	24	48.0%
オーダー型コース 実施状況(内数)	1	10	18	10	10	100.0%
合計	78	863	798	605	580	67.2%
オーダー型コース 実施状況内数合計	37	418	506	420	420	100.5%

※ 9月以降の開講予定コースについては未計上であること。

令和3年度 専門・応用課程実施状況

令和3年8月末現在

[近畿職業能力開発大学校]

○専門課程(令和3年4月入校生)

訓練科名	期間	定員	応募者数	入校者数	() 女性数
生産技術科	2年	30	23	23	(2)
電気エネルギー制御科	2年	30	29	27	(1)
電子情報技術科	2年	30	70	30	(0)
住居環境科	2年	20	42	22	(4)
計		110	164	102	(7)

○応用課程(令和3年4月入校生)

訓練科名	期間	定員	応募者数	入校者数	() 女性数
生産機械システム技術科	2年	30	27	23	(1)
生産電気システム技術科	2年	20	31	22	(1)
生産電子情報システム技術科	2年	25	34	28	(2)
建築施工システム技術科	2年	25	31	26	(6)
計		100	123	99	(10)

○専門課程活用型デュアルシステム

訓練科名	期間	定員	応募者数	入校者数	() 女性数
メカトロニクス技術科	2年	10	3	3	(0)

※令和3年7月入校生

令和3年度 港湾労働者訓練実施状況

[関西職業能力開発促進センター大阪港湾労働分所]

訓練科名	期間	定員	入所者数	就職率	備考
港湾荷役科	1年	30	26(1)		

【資料3】

令和2年度、令和3年度 求職者支援訓練実施状況

大阪労働局資料

令和3年10月26日(火)

大阪府地域訓練協議会

大阪の求職者支援訓練の実施状況（制度開始以降）

- 令和2年度の受講者数は、4,296人（基礎 18.9%、実践 81.1%）で、前年度比25.0%増であった。
- 令和2年度の訓練修了者等の就職率（訓練終了3か月後時点）は、令和3年8月末現在で基礎コース50.5%、実践コース63.8%となっているが、令和2年度の就職率が確定するのは、令和4年3月末であることから、引き続き就職支援に取り組んでいるところである。

	認定上限定員	認定定員	開講定員	受講者数（女性割合）		開講コース率	定員充足率	就職率※1、2、3
				うち基礎コース	うち実践コース			
平成23年度 （下半期）	16,300	15,585 (627コース)	13,110 (520コース)	8,068 (64.5%)		82.9%	51.8%	基礎 77.1% 実践 75.4%
				1,786 (62.0%)	6,282 (64.3%)			
平成24年度	27,000	26,639 (488コース)	22,834 (924コース)	14,394 (65.3%)		85.0%	54.0%	基礎 88.6% 実践 81.9%
				3,467 (66.9%)	10,927 (64.8%)			
平成25年度	22,400	21,682 (898コース)	19,085 (783コース)	11,661 (68.7%)		87.2%	53.8%	基礎 89.2% 実践 88.2%
				3,140 (69.4%)	8,521 (68.5%)			
平成26年度	14,700	15,260 (661コース)	14,072 (604コース)	8,683 (71.6%)		91.4%	56.9%	基礎 55.8% 実践 58.4%
				2,273 (73.9%)	6,410 (70.8%)			
平成27年度	11,020	11,356 (540コース)	10,560 (502コース)	6,616 (74.1%)		92.9%	58.3%	基礎 56.5% 実践 63.0%
				1,541 (74.5%)	5,075 (73.9%)			
平成28年度	12,860	12,420 (599コース)	10,269 (491コース)	5,538 (73.2%)		82.0%	44.6%	基礎 62.1% 実践 67.0%
				1,336 (73.4%)	4,202 (71.3%)			
平成29年度	10,180	9,637 (488コース)	8,218 (412コース)	4,437 (71.0%)		84.4%	46.0%	基礎 58.6% 実践 69.6%
				998 (78.2%)	3,439 (69.0%)			
平成30年度	9,720	8,662 (445コース)	7,172 (370コース)	3,790 (70.5%)		83.1%	43.8%	基礎 52.4% 実践 67.6%
				821 (78.8%)	2,969 (68.2%)			
令和元年度	6,970	7,295 (390コース)	6,046 (325コース)	3,437 (70.1%)		83.3%	47.1%	基礎 54.0% 実践 66.8%
				673 (79.6%)	2,764 (67.7%)			
令和2年度 (R3.8月末現在)	8,090	7,045 (396コース)	6,267 (352コース)	4,296 (71.5%)		88.9%	61.0%	基礎 50.5% 実践 63.8%
				810 (77.5%)	3,486 (70.1%)			
令和3年度 (R3.8月末現在)	11,414	2,349 (128コース)	2,218 (120コース)	1,552 (69.9%)		93.8%	66.1%	基礎 — 実践 —
				241 (76.8%)	1,311 (68.6%)			

※1 平成23年～25年度の就職率：訓練修了3か月後までの就職状況

※2 平成28年度以降は、訓練終了日に65歳以上の者を除く

※3 特例措置により、令和2年1月1日～5月30日に終了したコースについては、訓練終了後6か月を経過する日前の就職状況により就職率を確定する

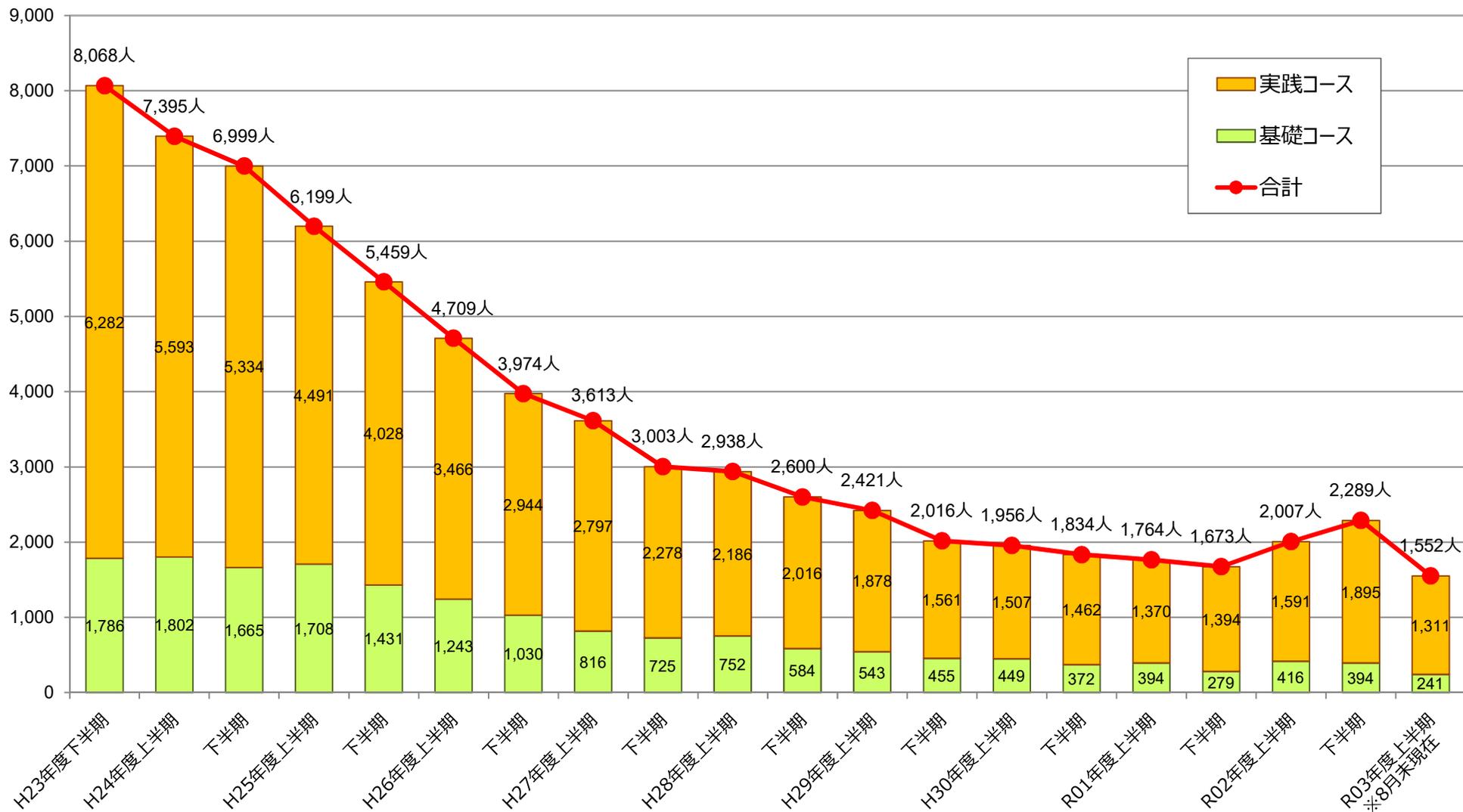
※4 事業目標（平成23年～25年度）基礎コース60%、実践コース70%（平成26年度～令和元年度（雇用保険適用就職率））基礎コース55%、実践コース60%
（令和2年度以降（雇用保険適用就職率））基礎コース58%、実践コース63%

求職者支援訓練（大阪）受講者実績（半期毎）

受講者数は減少が続いていたが、令和2年度から増加。

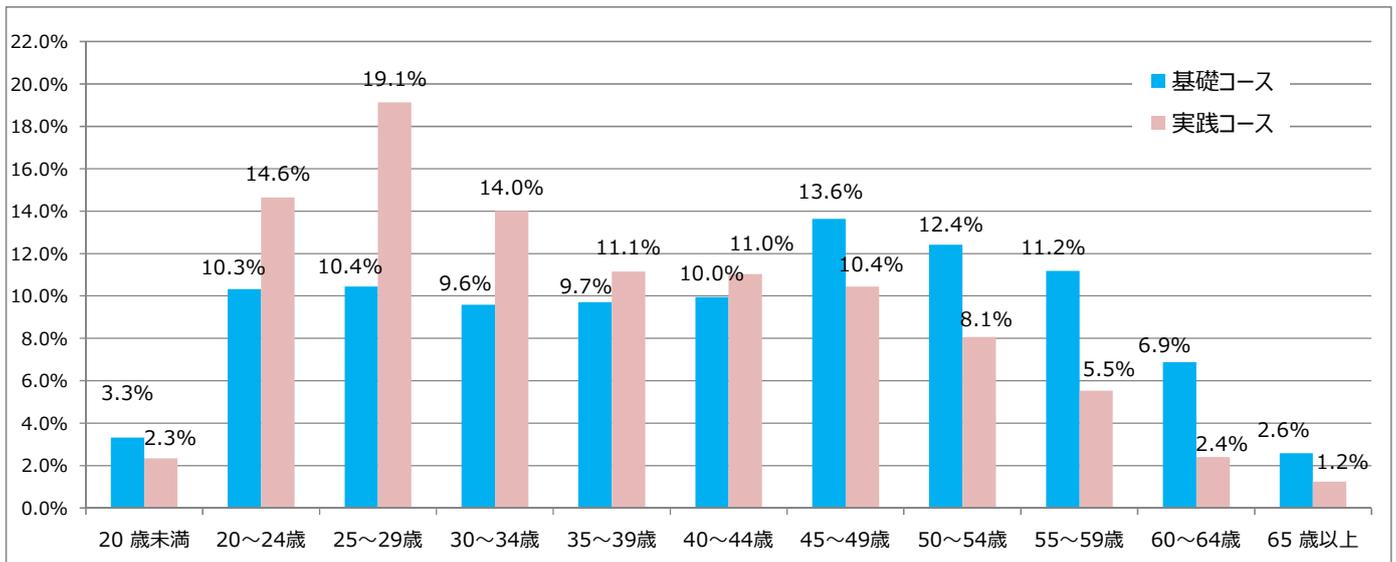
令和2年度の受講者数は、4,296人（基礎810人、実践3,486人）で、前年度比で25.0%増であった。

令和3年度については、8月末現在の前年同期比で、4.3%増（基礎コース▲16.3%、実践コース+9.3%）となっている。



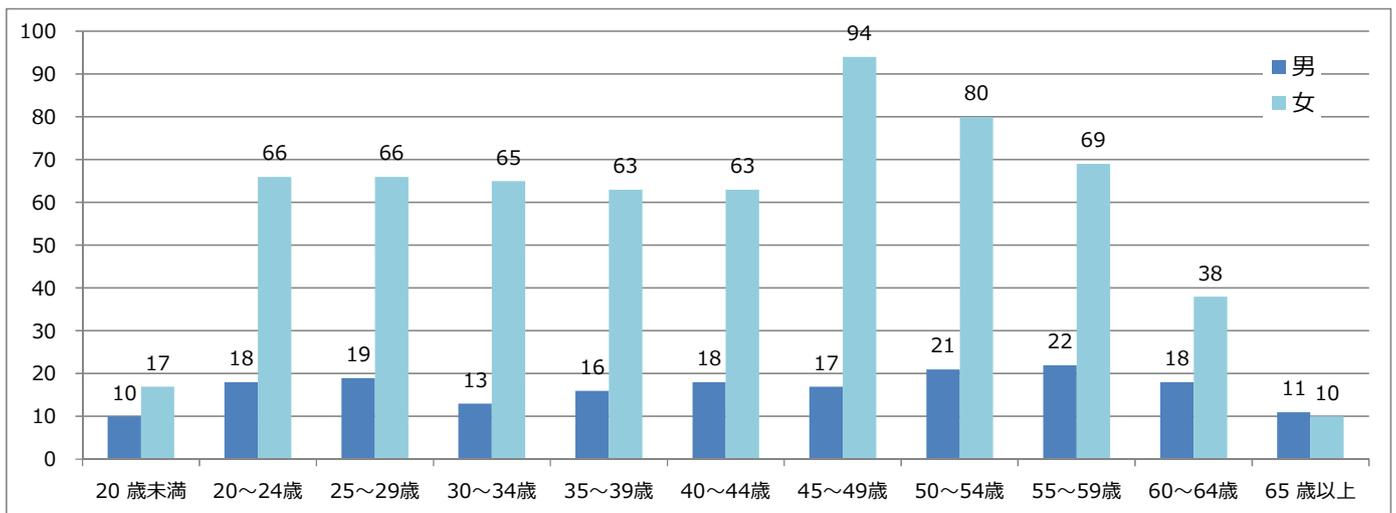
令和2年度求職者支援訓練(大阪)の年齢別受講者割合

・基礎コースは幅広い年齢層で受講者がおり、実践コースは20歳代～30歳代の受講者割合が他の年齢層と比べて高く、どちらも女性の受講者比率が高い。

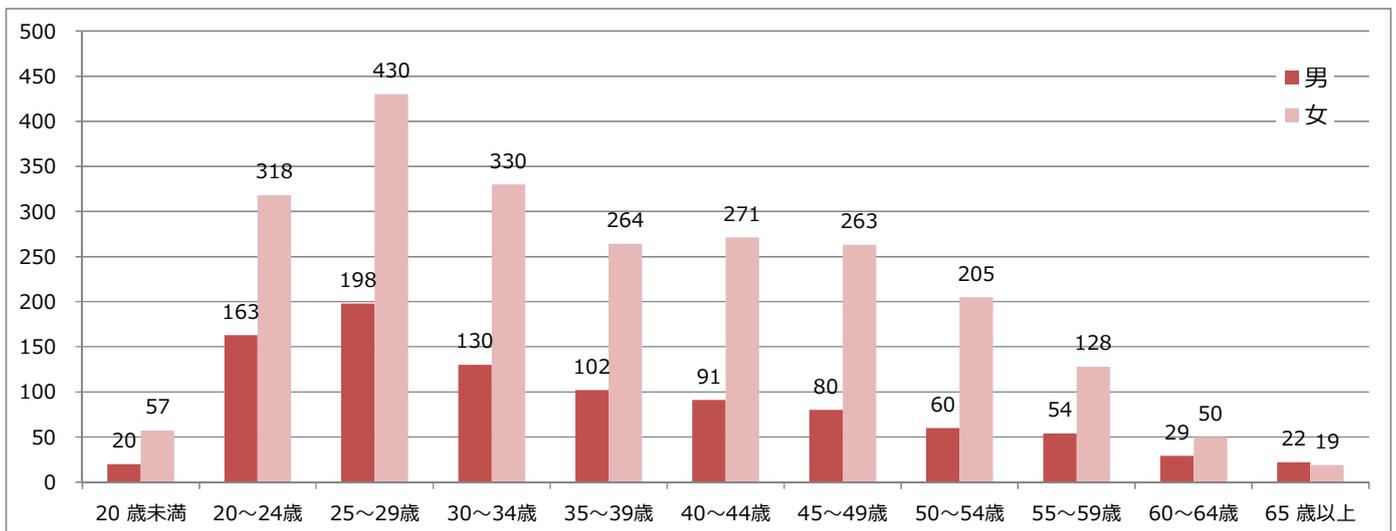


訓練コース別の年齢別受講者数(男女割合)

(基礎コース)



(実践コース)



令和2年度 訓練実施状況

令和3年8月末現在

分野	コース数		② 定員数 (人)	応募者 数 (人)	応募 倍率	③ 受講者 数 (人)	うち 女性 受講者 数	受講者の 女性割合 (%)	定員 充足率 ③/② (%)	修了者 数 (人)	就職者 数 (人)	うち 雇用保険 適用就職 (人)	就職 率 (%)
	うち 中止												
基礎コース 計	109	13	1,750	1,021	0.58	810	628	77.5	46.3	704	379	276	50.5
00 基礎	83	10	1,316	739	0.56	594	431	72.6	45.1	522	266	195	49.2
03 営業・販売・事務分野	7	1	106	44	0.42	35	30	85.7	33.0	28	22	17	50.0
04 医療事務分野	2	0	28	41	1.46	25	24	96.0	89.3	24	10	7	50.0
16 機械関連分野	5	2	60	28	0.47	27	16	59.3	45.0	25	10	9	45.0
19 理容・美容関連分野	11	0	224	149	0.67	117	117	100.0	52.2	93	62	40	57.1
20 その他の分野	1	0	16	20	1.25	12	10	83.3	75.0	12	9	8	66.7
実践コース 計	287	31	5,295	5,322	1.01	3,486	2,443	70.1	65.8	2,509	1,514	1,246	63.8
02 IT分野	45	0	773	942	1.22	573	189	33.0	74.1	430	281	231	62.6
03 営業・販売・事務分野	66	8	1,181	1,194	1.01	754	597	79.2	63.8	544	315	258	57.6
04 医療事務分野	5	0	73	88	1.21	62	60	96.8	84.9	53	14	8	36.4
05 介護・医療・福祉分野	68	22	1,341	767	0.57	600	371	61.8	44.7	489	289	237	70.5
08 旅行・観光分野	1	1	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10 クリエイト(企画・創作)分野	12	0	292	362	1.24	220	169	76.8	75.3	109	76	70	83.3
11 デザイン分野	51	0	877	1,201	1.37	731	551	75.4	83.4	479	276	213	56.2
18 建設関連分野	12	0	155	173	1.12	96	68	70.8	61.9	81	40	31	53.4
19 理容・美容関連分野	23	0	485	475	0.98	378	375	99.2	77.9	270	201	182	86.3
20 その他の分野	4	0	96	120	1.25	72	63	87.5	75.0	54	22	16	35.6
計	396	44	7,045	6,343	0.90	4,296	3,071	71.5	61.0	3,213	1,893	1,522	60.9

※就職率については、就職状況確定249コースにかかる数値

20その他の分野詳細

基礎コース *R3.1月開講	コース数		② 募集 定員数 (人)	応募者 数 (人)	応募 倍率 (%)	③ 受講者 数 (人)	うち女性 受講者 数	受講者の 女性割合 (%)	定員 充足率 ③/② (%)	修了者 数 (人)	就職者 数 (人)	うち 雇用保険 適用就職 (人)	就職 率 (%)
	うち 中止												
中国語医療通訳養成科	1	0	16	20	1.25	12	10	83.3	75.0	—	—	—	—
実践コース													
医療通訳養成(英語圏)科	2	0	46	64	1.39	37	30	81.1	80.4	34	13	10	28.6
ペットリマール科	2	0	50	56	1.12	35	33	94.3	70.0	20	9	6	60.0

令和3年度 訓練実施状況

令和3年8月末現在

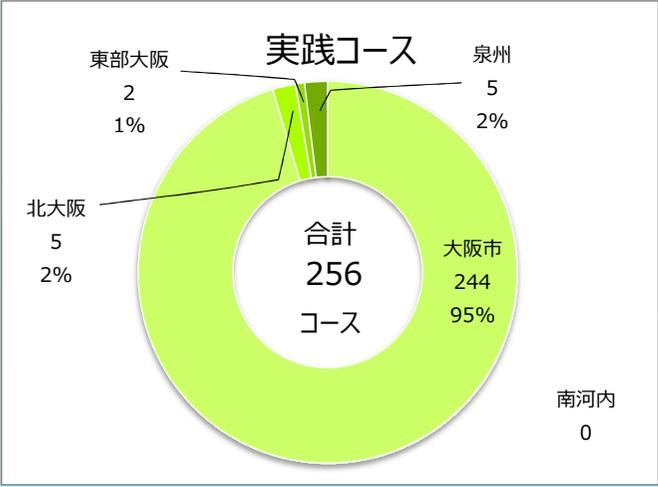
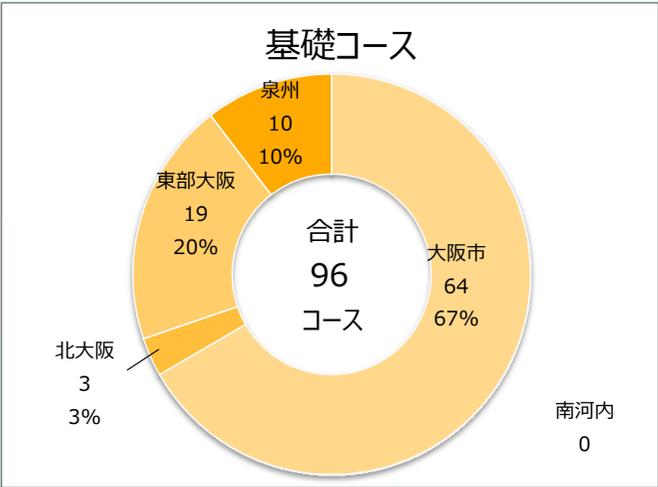
分野	コース数		② 定員数 (人)	応募者 数 (人)	応募 倍率	③ 受講者 数 (人)	うち 女性 受講者 数	受講者の 女性割合 (%)	定員 充足率 ③/② (%)	修了者 数 (人)	就職者 数 (人)	うち 雇用保険 適用就職 (人)	就職 率 (%)
	うち 中止												
基礎コース 計	28	4	491	303	0.62	241	185	76.8	49.1	16	—	—	—
00 基礎	19	4	353	209	0.59	169	128	75.7	47.9	16	—	—	—
02 IT分野	1	0	10	2	0.20	1	0	0.0	10.0	—	—	—	—
03 営業・販売・事務分野	1	0	15	6	0.40	6	4	66.7	40.0	—	—	—	—
04 医療事務分野	1	0	14	18	1.29	13	13	100.0	92.9	—	—	—	—
11 デザイン分野	1	0	13	18	1.38	12	4	33.3	92.3	—	—	—	—
16 機械関連分野	1	0	12	10	0.83	9	5	55.6	75.0	—	—	—	—
19 理容・美容関連分野	4	0	74	40	0.54	31	31	100.0	41.9	—	—	—	—
実践コース 計	100	4	1,858	2,026	1.09	1,311	900	68.6	70.6	136	—	—	—
02 IT分野	17	1	308	318	1.03	228	69	30.3	74.0	9	—	—	—
03 営業・販売・事務分野	26	0	429	518	1.21	296	239	80.7	69.0	37	—	—	—
04 医療事務分野	2	0	34	49	1.44	34	33	97.1	100.0	13	—	—	—
05 介護・医療・福祉分野	19	2	395	279	0.71	223	133	59.6	56.5	57	—	—	—
10 クリエイト(企画・創作)分野	3	0	75	86	1.15	43	33	76.7	57.3	5	—	—	—
11 デザイン分野	19	0	360	505	1.40	301	219	72.8	83.6	15	—	—	—
18 建設関連分野	4	0	48	66	1.38	37	27	73.0	77.1	—	—	—	—
19 理容・美容関連分野	9	1	194	180	0.93	135	133	98.5	69.6	—	—	—	—
20 その他の分野	1	0	15	25	1.67	14	14	100.0	93.3	—	—	—	—
計	128	8	2,349	2,329	0.99	1,552	1,085	69.9	66.1	152	—	—	—

20その他の分野詳細

実践コース	コース数		② 募集 定員数 (人)	応募者 数 (人)	応募 倍率 (%)	③ 受講者 数 (人)	うち女性 受講者 数	受講者の 女性割合 (%)	定員 充足率 ③/② (%)	修了者 数 (人)	就職者 数 (人)	うち 雇用保険 適用就職 (人)	就職 率 (%)
	うち中 止												
中国語医療通訳・受付事務養成科	1	0	15	25	1.67	14	14	100.0	93.3	—	—	—	—
ベトナム語科 *R3.8月開講	1	0	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

令和2年度 大阪府内で実施した 求職者支援訓練

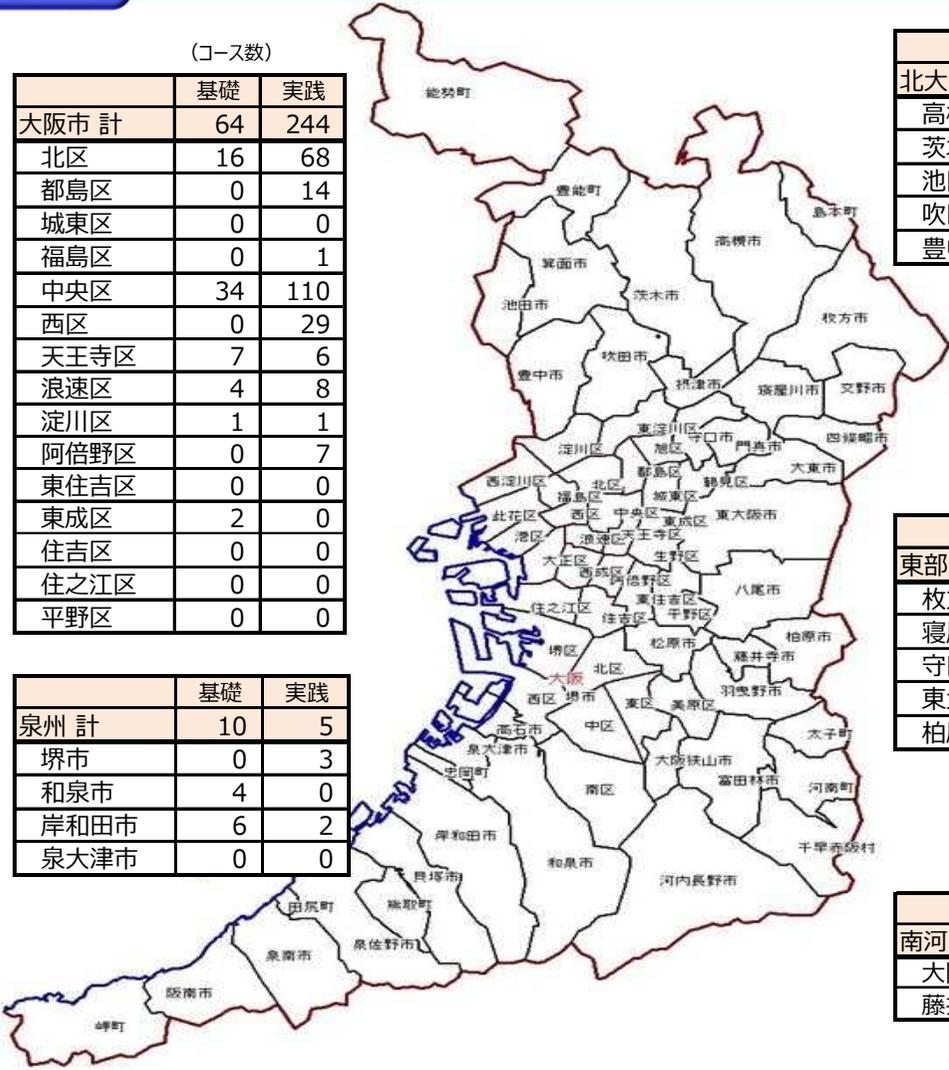
(令和2年4月～令和3年3月開講)



(コース数)

	基礎	実践
大阪市 計	64	244
北区	16	68
都島区	0	14
城東区	0	0
福島区	0	1
中央区	34	110
西区	0	29
天王寺区	7	6
浪速区	4	8
淀川区	1	1
阿倍野区	0	7
東住吉区	0	0
東成区	2	0
住吉区	0	0
住之江区	0	0
平野区	0	0

	基礎	実践
泉州 計	10	5
堺市	0	3
和泉市	4	0
岸和田市	6	2
泉大津市	0	0



	基礎	実践
北大阪 計	3	5
高槻市	0	5
茨木市	3	0
池田市	0	0
吹田市	0	0
豊中市	0	0

	基礎	実践
東部大阪 計	19	2
枚方市	5	0
寝屋川市	8	0
守口市	0	2
東大阪市	0	0
柏原市	6	0

	基礎	実践
南河内 計	0	0
大阪狭山市	0	0
藤井寺市	0	0

令和2年度 求職者支援訓練の分野別就職状況

令和3年8月末現在

分野	基礎 コース	実践 コース										合計
			IT	営業・ 販売・ 事務	医療事務	介護・ 医療・ 福祉	クリエイト (企画・ 創作)	デザイン	建設関連	理容・ 美容 関連	その他	
コース数	96 コース	256 コース	45 コース	58 コース	5 コース	46 コース	12 コース	51 コース	12 コース	23 コース	4 コース	352 コース
受講者数 (対合計割合)	810 人 (18.9%)	3,486 人 (81.1%)	573 人 (16.4%)	754 人 (21.6%)	62 人 (1.8%)	600 人 (17.2%)	220 人 (6.3%)	731 人 (21.0%)	96 人 (2.8%)	378 人 (10.8%)	72 人 (2.1%)	4,296 人 (100.0%)
修了者等 ※1	692 人	2,734 人	498 人	616 人	54 人	471 人	129 人	545 人	84 人	279 人	58 人	3,426 人
就職者数	379 人	1,514 人	281 人	315 人	14 人	289 人	76 人	276 人	40 人	201 人	22 人	1,893 人
就職者数 (雇用保険適用)	276 人	1,246 人	231 人	258 人	8 人	237 人	70 人	213 人	31 人	182 人	16 人	1,522 人
就職率 ※2 (雇用保険適用)	50.5%	63.8%	62.6%	57.5%	36.3%	70.5%	83.3%	56.2%	53.4%	86.2%	35.5%	60.9%
関連就職割合 ※3	72.2%	76.0%	69.7%	80.6%	64.2%	93.7%	76.3%	67.7%	67.5%	68.6%	50.0%	75.2%
就職者のうち雇用期間の 定めがない者の割合	69.2%	58.6%	53.2%	58.5%	112.5%	82.2%	42.8%	61.5%	77.4%	30.7%	75.0%	60.5%
就職者のうち正社員の割合	32.2%	42.6%	50.6%	45.7%	87.5%	54.0%	32.8%	40.8%	51.6%	18.6%	12.5%	40.8%

※1「修了者等」は、就職理由中退者数と修了者数の合計(終了日65歳以上の者を除く、基礎コースは修了者数から連続受講者を除く)。

※2「就職率」の算定式は、就職状況確定コースにかかる「就職者数」÷「修了者等」(小数点第2位切り捨て)。

※3「関連就職割合」は、就職者が就職状況報告の時に訓練コースの内容に関連した業種または職種への就職と自己申告した割合。

若者正社員育成コース(地域ニーズ枠)実施状況

○令和2年度 若者正社員育成コース実施状況

令和3年8月末現在

分野	コース数		② 定員数 (人)	応募 者数 (人)	応募 倍率	③ 受講 者数 (人)	うち 女性 受講 者数	受講者の 女性割合 (%)	定員 充足率 ③/② (%)	修了者 等 (人)	就職者 数 (人)	就職 率 (%)	うち 正社員 (人)	正社員 就職率 (%)	
	うち 中止														
実践	11 デザイン分野	3	0	60	58	0.97	49	31	63.3	81.7	38	22	78.6	11	28.9
	19 理容・美容関連分野	10	0	200	190	0.95	157	155	98.7	78.5	124	86	92.5	25	20.2
計		13	0	260	248	0.95	206	186	90.3	79.2	162	108	89.3	36	22.2

※就職状況確定9コースにかかる数値

○令和元年度 若者正社員育成コース実施状況

分野	コース数		② 定員数 (人)	応募 者数 (人)	応募 倍率	③ 受講 者数 (人)	うち 女性 受講 者数	受講者の 女性割合 (%)	定員 充足率 ③/② (%)	修了者 等 (人)	就職者 数 (人)	就職 率 (%)	うち 正社員 (人)	正社員 就職率 (%)	
	うち 中止														
実践	02 IT分野	8	0	136	111	0.82	85	20	23.5	62.5	70	63	90.0	39	55.7
	03 営業・販売・事務分野	4	1	60	17	0.28	14	7	50.0	23.3	14	8	57.1	6	42.9
	10 クリエイト(企画・創作)分野	4	1	80	24	0.30	20	13	65.0	25.0	17	15	88.2	4	23.5
	11 デザイン分野	9	1	180	94	0.52	73	43	58.9	40.6	56	53	94.6	23	41.1
	19 理容・美容関連分野	3	0	60	33	0.55	28	28	100.0	46.7	22	20	90.9	6	27.3
計		28	3	516	279	0.54	220	111	50.5	42.6	179	159	88.8	78	43.6

令和2年度公的職業訓練の実施に関する各種取組みについて

1 公的職業訓練の周知・広報

・大阪府内で募集中の訓練をひとつにまとめた訓練コース周知用冊子「ハロートレーニング～急がば学べ」を毎月作成し、ハローワーク、大阪府内公的施設(422か所)及び商業施設等へ配付。

・SNS(LINE)やホームページを活用し、これまでハローワークを利用されていない方を含め、広く情報発信。



2 公的職業訓練への誘導の強化

【ものづくりってなんだ?! バスツアーの実施】

人材不足分野であるものづくり分野への職業意識の啓発とものづくりを支えるハロートレーニング(公的職業訓練)の活用を促進するため、わかものハローワーク利用者等に対して、訓練校見学会・職業訓練体験を実施し、製造業のイメージをより身近に感じてもらうためのバスツアーを開催。
(実施回数 3回 参加者計:38名)



【職業訓練コース説明会等の開催】

ハローワークにおいて、訓練実施機関による職業訓練コース説明会及び相談会・体験会等を開催。

また、職業訓練を広く知ってもらうため、職業訓練セミナーやガイダンスを開催。



求職者支援訓練 受講者の方々の声



コース分野	訓練コース・訓練期間	受講者の声	就職先	雇用形態
IT①	ネットショップ・Webサイト運営科 (実践コース：4ヶ月)	とてもわかりやすい訓練内容で、就職活動に活かせる知識が身についたと思います。	介護関連会社 (一般事務)	正社員
IT②	プログラマー実践科 (実践コース：4ヶ月)	全くの未経験から学び始めるということに、当初は不安がありましたが、就職につなげることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。	コンピュータソフトウェア、インターネットシステム運営関連会社 (プログラマー)	正社員
IT③	ビジネスパソコン基礎科 (基礎コース：4ヶ月)	就職活動を不安な気持ちですら、求職者支援訓練について知りました。就職したい業務の技能、技術を学ばせていただくとともに、職業能力開発講習で自信をつけることができました。このような学びの機会を賜りましたことに感謝いたします。ありがとうございました。	運送関連会社 (一般事務)	正社員
IT④	ビジネスパソコン基礎科 (基礎コース：3ヶ月)	希望していた資格を取得することができ、また3ヶ月間楽しく過ごすことができました。訓練を受けて良かったと思いました。ありがとうございました。	社会福祉法人 (一般事務)	臨時職員
営業・販売・事務	オフィスビジネス基礎科 (基礎コース：4ヶ月)	みんなとても優しく充実した時間を過ごすことが出来ました。先生方も親切に教えていただいてスキルアップすることが出来たと思います。訓練に来られて本当に良かったです。ありがとうございました。	卸売業 (一般事務)	正社員
医療事務	医療事務科 (実践コース：2ヶ月)	講師の方々、皆さんとても丁寧で、質問にもわかりやすく答えていただきました。訓練実施機関事務局の対応も迅速で丁寧でした。2ヶ月という短い期間でしたが、訓練内容はとても充実した内容でした。	医療法人 (医療事務)	正社員
介護・医療・福祉①	介護職・介護事務科 (実践コース：3ヶ月)	私にとって求職者支援訓練は、かけがえのない学びの場所です。ともに受講した方々は「仲間」と呼べる存在となり、本当にこの3ヶ月、有意義な時間を過ごすことができました。今、スタートラインにたどり着けているのは、講師の先生方や訓練校のスタッフの方々、そしてきっかけを作ってくれたハローワーク訓練窓口の職員の方々のおかげです。皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。	介護関連施設 (介護職員)	正社員
介護・医療・福祉②	介護福祉士実務者研修・総合福祉科 (実践コース：6ヶ月)	介護のことを何も知らなかった自分でも各専門分野の先生方が丁寧に教えてくださり、就職に直接つながる大切なことも数多く学ばせてもらいました。また、グループワーク等もあり、勉強だけでなく、人間関係の組み立て方等、今後仕事をするにあたって重要なことを学ぶことができたと思います。この訓練を受講して本当に良かったです。	介護関連施設 (介護職員)	正社員
クリエイト (企画・創作)	グラフィック・Webクリエイト科 (実践コース：6ヶ月)	学生の頃に美術等を専攻していましたが、この訓練を通して色彩やグラフィック、パソコンのスキル等を学んだだけでなく、多くの仲間と交流を深めることでコミュニケーション能力を向上させることができたので、とても良い経験をさせていただきました。自分のやりたい仕事にも前向きになれたので、最後まで受講して良かったです。	障がい者支援施設 (アート活動等をサポートする生活支援員)	正社員
デザイン	Webデザイン制作科 (実践コース：6ヶ月)	クラスの雰囲気良く、皆向上心があり、勉強家だったのでとても刺激を受けました。先生にわからないところを質問したところ、とても丁寧に教えてくださりました。この半年間、充実した時間を送ることができました。ありがとうございました。	WEB・グラフィックデザイン関連会社 (Webデザイナー)	正社員
建設関連	建築CAD科 (実践コース：3ヶ月)	コロナ禍においても最善の対策をしていただき、無事修了することができました。	建設関連会社 (建築アシスタントCADオペレーター)	正社員
理容・美容関連	エステティシャン養成科 (基礎コース：4ヶ月)	とても充実した授業内容でした。なによりも先生方が、とても素晴らしく、人生観が変わるくらい、本当に受講させていただいて良かったです。知識や技術はもちろんですが、それ以上に、この経験は財産となりました。	エステティックサロン (エステティシャン)	正社員

【資料4－1】

**「令和4年度大阪府地域職業訓練実施計画
(総合計画)」策定方針(案)**

令和3年10月26日(火)

大阪府地域訓練協議会

令和4年度大阪府地域職業訓練実施計画 (総合計画)の策定方針(案)

1 大阪働き方改革推進会議・基本方針を踏まえた計画

大阪における働き方改革については、“誰もが活躍できる大阪”を目指し、大阪の課題を踏まえた「大阪働き方改革推進会議・基本方針」を策定し、様々な取組みを実施しているところである。

本職業訓練実施計画を定めるに当たっては、上記基本方針を踏まえて、関係機関との連携のもと、就職氷河期世代等正規雇用を希望しながら非正規雇用で働き続けている者等に対する能力開発支援、女性の活躍促進に資する訓練の実施や公的職業訓練の認知度を向上するための広報の強化等について取り組んでいく。

○令和3年度大阪府地域職業訓練実施計画(総合計画)(抜粋)

就職氷河期世代の正社員就職を実現する訓練コース設定等

- ☆非正規労働者等について、国家資格の取得により正社員就職を目指す訓練コースの設定
- ☆短期間・短時間訓練コースの設定

女性・若者の活躍促進に資する訓練コース設定等

- ☆託児サービス付き訓練コースの設定
- ☆短時間訓練コースの設定
- ☆大阪市地域以外の地域の訓練コースの設定
- ☆女性向け訓練コースの設定(関西職業能力開発促進センター)
- ☆若者正社員育成コースの設定

第4次産業革命による技術革新に対応した訓練コース設定

- ☆第4次産業革命による技術革新に対応した訓練コースの設定
 - ・AIプログラマー基礎実践科、データサイエンス基礎実践科の設定
 - ・カリキュラムに「ITを使いこなす力」を含めた訓練コースの設定
(ITを活用した経理事務科、ITを活用した不動産ビジネス科)
 - ・ICTエンジニア科、ICTプログラミング科の設定

人材不足分野の人材確保に資する訓練コース設定等

- ☆人材不足分野の人材確保に資する訓練コースの設定
 - ・介護分野、保育分野、ものづくり分野の訓練コースの設定
 - ・インバウンド分野における人材確保に資する訓練コースの設定
(日本語教師養成科)

2 重点的に行う訓練設定について

- (1) 就職氷河期世代等の正社員就職を実現する訓練コースの設定 【継続】
 - ・短期間・短時間の訓練コースの設定
- (2) 女性・若者の活躍促進に資する訓練コースの設定 【継続】
 - ・託児付き訓練コース
 - ・若者正社員育成コース
- (3) 第4次産業革命による技術革新に対応した訓練コースの設定 【継続】
- (4) 人材不足分野の人材確保に資する訓練コース 【継続】
 - 介護分野・保育分野・ものづくり分野
- (5) コロナ禍における訓練コースの設定 【新規・継続】
 - オンラインを活用した訓練、短期・短時間特例訓練、eラーニングコースの設定

3 中小企業等の生産性向上に資する人材育成を支援

中小企業等の労働者一人一人の生産性向上を支援するための、民間機関等の教育資源を活用した「生産性向上支援訓練」の実施。

4 真に必要な人に情報を届けるための取組み

(1) ハロートレーニングの周知・広報の強化

全ハローワークにおいて、訓練コース説明会等を実施し、訓練に関する情報発信を強化する。

訓練コース説明会の実施に当たっては、訓練受講についてよりイメージしやすい体験会付き訓練コース説明会等についても積極的に実施する。

(2) 職業知識に関する啓発事業の強化

求職者自身の職業知識を醸成すし、職業選択の幅を広げるための職業理解セミナーを実施。

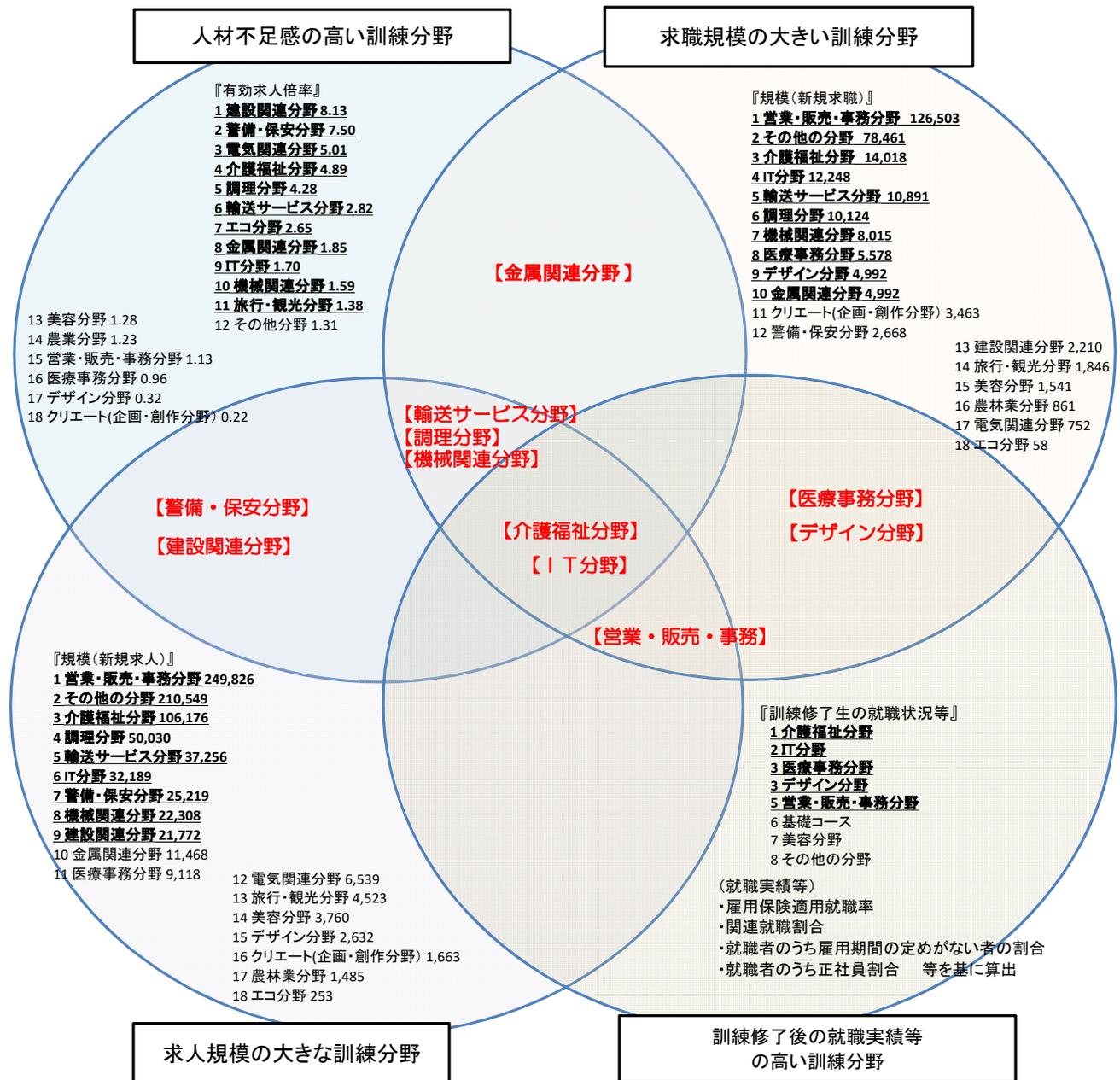
当該セミナーと併せて、職業訓練に関する情報発信を行うことで、より、効率的な就職活動の支援を行う。

(3) 生活保護受給者等に対する情報発信の強化

各市区町村と連携し、出張訓練相談会等を実施し、生活保護受給者等に必要な情報を伝えるための取組みを強化する。

令和4年度訓練計画(求職者支援訓練)・訓練設定にあたっての地域における訓練ニーズ等検討資料

【2020年度職業別情報求人求職統計】



●重点的に設定を行う分野(各分析項目についての上位を分析)

・人材不足感が高く、求人・求職規模が大きく、就職実績の高い分野	介護福祉分野、IT分野
・人材不足感が高く、求人・求職規模が大きい分野	調理分野、輸送サービス分野、機械関連分野
・求人・求職規模が大きい分野	営業・販売・事務分野
・人材不足感が高く、求人規模の大きな訓練分野	警備・保安分野、建設関連分野
・人材不足感が高く、求職規模の大きな訓練分野	金属関連分野
・求職規模が大きく、就職実績の高い分野	医療事務分野、デザイン分野

●具体的な設定について

- ※ 令和2年度に毎月開講実績のある分野については、認定上限値を分野毎に設定する
- ※ 分野毎に、認定上限値の設定を行わない分野についても、ニーズの高い訓練分野等について検討

【資料4－2】

**「令和4年度大阪府地域職業訓練実施計画
(総合計画)」策定方針(案)**

**独立行政法人高齢・障害・求職者
雇用支援機構大阪支部資料**

令和3年10月26日(火)

大阪府地域訓練協議会

PDCAサイクルによる訓練コースの見直し

○技術革新等に対応した職業訓練とするため、**PDCAサイクル**により訓練コース（離職者訓練、在職者訓練、学卒者訓練）の見直しを実施。

・問題点（足りない技術・技能部分等）踏まえ、追加・変更すべきコース及びカリキュラムの修正

訓練効果と問題点の把握、**ニーズ把握**

Checkの主な取組

- ①離職者訓練受講者の**習得度測定**
【電気設備配線工事における能力評価項目】
作業手順・時間、配線の誤り、各種規定に則った工事、仕様寸法、安全衛生・作業態度

(課題例)
第2種電気工事士相当の配線作業課題

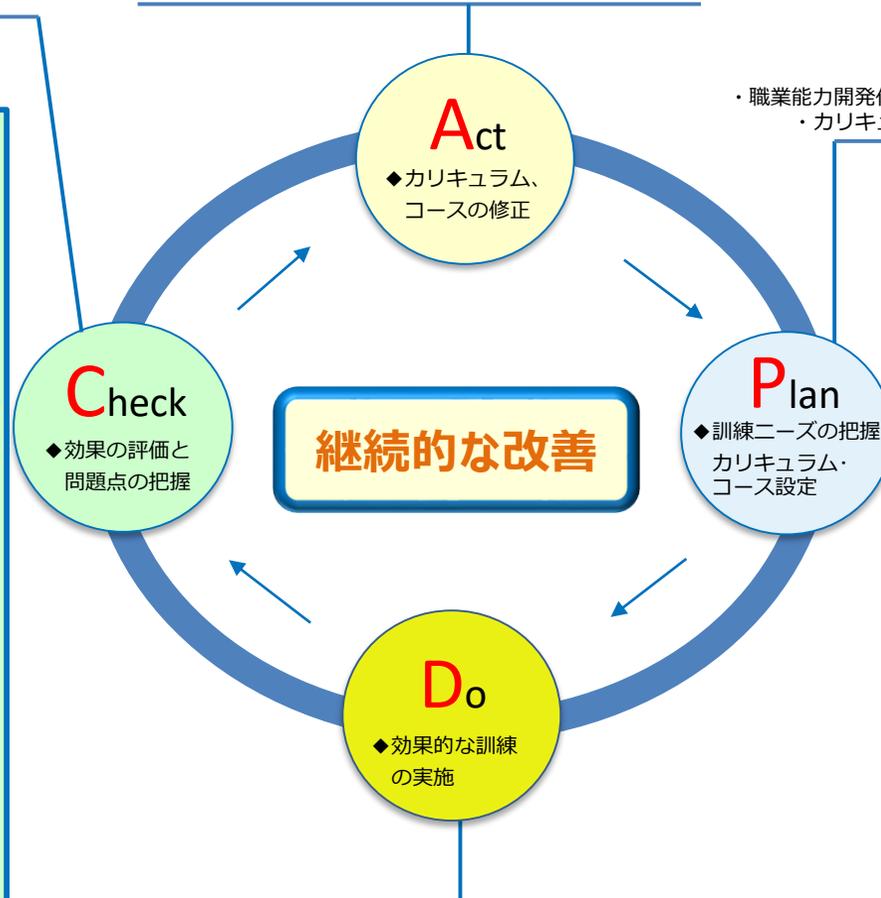


電気配線作業



配線作業課題

- ②離職者訓練の改善・見直しのための**フォローアップ調査**（修了者の就職先事業所へ訪問によるヒアリング等）
- ③在職者訓練の品質保証に向けた取組（**訓練カルテ方式**：応募状況及びアンケート結果からの満足度、意見・要望の分析）
- ④学卒者訓練の改善・見直しのための**フォローアップ調査**（修了者の就職先事業所へ訪問によるヒアリング等）



・カリキュラムのポイントを押さえた指導
・受講者の習得状況に応じた訓練を実施
・キャリアコンサルティングの実施

・アンケート調査、ヒアリング調査による**ニーズ把握**
・職業能力開発体系（仕事の体系と訓練の体系）を用いた**ニーズの分析**
・カリキュラムモデルをベースとしてニーズに応じた**コース設定**

ニーズ把握の主な取組

- 事業所に対するヒアリング調査
全国の職業能力開発施設の指導員等が事業所等を訪問し、企業が求める人材や職業能力に関する**ヒアリング調査**を実施（全国3,485社、うち大阪支部、ニーズ調査85事業所）
【調査対象業種】
機械関連、金属加工関連、電子・電子関連、環境関連、IT関連、居住関連、介護関連、医療関連、農業関連、観光関連）

- 離職者訓練の入所状況・就職状況
○離職者訓練受講者からの声
○在職者訓練の応募状況
○在職者訓練受講者、受講企業からの声
○求人・求職状況の調査
○事業所数、従業者数等地域の基礎データの調査
○都道府県及び職業安定機関に対するヒアリング調査
○運営協議会、訓練計画専門部会による意見

企業の求める職業能力・人材に関するニーズ調査結果について

事業所に対するヒアリング調査

大阪支部 85事業所、全国3,485事業所

調査対象分野

(1) ものづくり関連職務

機械関連、電気関連、設備工事関連、建築関連、環境関連

(2) 非ものづくり関連職務

介護関連、情報・通信関連、医療事務関連、野菜作農業、米作農業、酪農業、その他の農業・造園、ホテル・旅館関連、旅行バス関連、旅行業

調査結果

1 機械関連

①採用の際に求める職業能力

若年者（トレース、部品設計、溶接）

40歳以上（部品設計、溶接、トレース）

②従業員の育成にとって必要であるが自社内ではOJTが難しい職業能力

3次元CAD、CAD/CAM、3次元モデリング

2 電気・電子関連

①採用の際に求める職業能力

若年者（制御回路設計、制御盤組立、設計図面作成）

40歳以上（制御回路設計、制御盤組立、保全）

②従業員の育成にとって必要であるが自社内ではOJTが難しい職業能力

有接点シーケンス制御回路設計、PLC制御回路設計

3 設備工事関連

①採用の際に求める職業能力

若年者（施工、設計、積算・見積り）

40歳以上（施工、積算・見積り、工程管理）

②従業員の育成にとって必要であるが自社内ではOJTが難しい職業能力

ネットワーク設備設計、光通信設備設計、受変電・発電機設計

4 建築関連

①採用の際に求める職業能力

若年者（建築情報支援、建築製図・トレース、施工管理）

40歳以上（施工管理、建築情報支援、建築製図・トレース）

②従業員の育成にとって必要であるが自社内ではOJTが難しい職業能力

3次元CAD、建築施工管理と法規、品質管理

最近の傾向

- ・IoT化に伴い何もかもが繋がりがつあるが、セキュリティも考慮していく必要があるため、情報セキュリティに関する知識や技術を持った人材が必要となる。
- ・デジタル技術の普及に伴い、それをメンテナンスできる人材が必要となることが想定される。
- ・電力を無線で送る技術（非接触給電）が進展しており、注目している。
- ・産業用ロボットを扱える技術者が不足している。

【資料5】

地域における職業訓練の質の検証・改善 に係る取組みについて

令和3年10月26日(火)

大阪府地域訓練協議会

訓練分野の検証・改善に係る概要

検証・改善を行った訓練分野

保育人材養成科（3か月）【託児付】

検証・改善に係る考え方及び内容

令和元年度に実施した当該訓練コースにおける応募倍率は 81.6%、定員充足率は 71.6%（同年度離職者訓練の平均応募倍率 123.4%、定員充足率 77.3%）であり、他の分野と比べて定員充足率が若干低調な状況であった。一方、就職率については 97.6%（同年度離職者訓練の平均就職率 77.7%）であり、就職に向けた訓練効果が見受けられる。

そのため、当該訓練コースについて、定員充足率向上の観点から、検証を実施した。

当該訓練コースについては、一部のカリキュラムを修了することにより、子育て支援員の修了証(大阪府知事名)を受けることができ、保育所や児童福祉施設等において、保育士(要資格取得)または子育て支援員として活躍できる人材を育成するカリキュラムとなっている。

【当該訓練コースについては、以下の3つのカリキュラムで構成されている。】

- ① 保育関連の知識を習得するための学科 222 時間(内、子育て支援員研修(地域型保育)60 時間含む)
- ② PC操作等を習得する実技 60 時間
- ③ 就職支援 42 時間

訓練終了後に期待される就職先の職務・仕事として、訓練実施機関においては「子育て支援員、保育補助員」とされており、当該職種の種類・職業分類別、求人求職状況については以下のとおりとなっている。

- 保育補助者(職業分類 429) ※保育補助者の職業分類は「他に分類されないサービスの職業」となるため、他の職種も含む数字となる。

有効求人倍率	(全職種)
R2: 1.49 倍	(1.18 倍)
R1: 1.90 倍	(1.74 倍)
H30: 2.47 倍	(1.78 倍)

- 職業分類で見ると、コロナ禍の影響により減少傾向であるが、有効求人倍率は他業種と比べて高い。
- 当該職業分類の新規求人数の月別の推移については、3月・4月が多い傾向である。

当該訓練分野の改善案について2点提案する。

(改善案)

1点目は、当該訓練コースは保育補助者（子育て支援員等）の養成を目的とした訓練であるが、保育士になるための最初のステップとなる訓練であることも強調した制度周知を行う。

- ① 大阪府の巡回就職支援員及び訓練実施機関による府内ハローワークへの訪問説明及び大阪労働局との連携による訓練誘導の取組
- ② 潜在保育士（保育士の資格を持っていても、長期間保育士として働いていない方）に対する訓練制度及び内容（リカレント教育に資するものであること）の周知

2点目は、これまで以上に就職率を高めるため、訓練修了月を保育補助者（職業分類429）の新規求人数の多い時期に見直す。

(理由1) 訓練内容等の認知度向上の取組

- 保育士は業務に対する責任の重さや休暇等の待遇面などから、全国的に人材が不足している。

当該訓練コース名から、求職者は保育士養成の訓練であると思い込み、受講を希望しないケースも存在していると思われることから、保育士と保育補助者との違いをしっかりと周知する必要があるとともに、保育士を希望する方には、保育士試験科目の一部がカリキュラムに設定されており、最初のステップとなる訓練であることを周知する。

- 訓練実施機関との意見交換で出された意見
 - ・ 募集チラシや訓練実施機関の独自チラシだけでは、求職者に当該訓練コースの具体的な訓練内容や高い就職実績などの魅力や保育士のサポートをする業務であることなど就労環境等が伝わりづらい。
- 保育士業務の担当所管課との意見交換で出された意見
 - ・ 潜在保育士が保育士に復職するにあたって、ブランクの不安から再度、実技を学びたいというニーズが一定ある。

- 職業相談時にハローワーク担当者から求職者に訓練目的や子育て支援員の修了証書が交付されるメリット等を伝えていくことも効果的である。

(理由2) 訓練開講月の見直し

- 保育補助者（職業分類429）の当該職業分類の新規求人数の月別の推移については、年度末にかけて増加する傾向にあり、就職実績も1～3月実施分の方が高い結果となっている。

就職実績 H30年度:7～9月開講 85.7%、1～3月開講 94.4% R1年度:7～9月開講 96.2%、1～3月開講 100%
--

- 訓練修了月を保育補助者（職業分類429）の新規求人数の多い時期（3月頃）に見直す。

○ 変更概要

- ・ 大阪府の巡回就職支援員と訓練実施校が府内ハローワーク、マザーズハローワーク及びわかものハローワークを訪問し、保育補助者養成をメインとした訓練であるが保育士を目指す方も最初のステップとなる訓練であること等、訓練を受講するメリットや就労環境等の説明及び訓練受講者の誘導依頼を行う。
- ・ ハローワークにおいて的確な訓練誘導が図られるよう、大阪府から大阪労働局に対して、ハローワークへの働きかけ等の協力依頼を行う。
- ・ 潜在保育士の保育所等への就業を支援する大阪府保育士・保育所支援センターと連携し、訓練募集チラシの送付やHPのリンク依頼などの情報発信を強化する。
- ・ 訓練修了月を保育補助者（職業分類 429）の新規求人数の多い時期に見直すこととし、積極的に求人情報を提供する。

【参考資料 1】

第 26 回中央訓練協議会等資料 (抜粋)

令和3年10月26日(火)

大阪府地域訓練協議会

令和4年度ハロートレーニング(公的職業訓練)に係る概算要求について

※括弧内は令和3年度の予算額等

	要求額	訓練規模
公共職業訓練 (※1)	約968億円 (約1,018億円)	約34.5万人 (約35.7万人)
離職者訓練	—	15.5万人 (16.9万人)
施設内訓練	約623億円 (約635億円)	約3.4万人 (約3.4万人)
委託訓練	約345億円 (約384億円)	約12.1万人 (約13.5万人)
在職者訓練 (※2)	(※3)	約16.9万人 (約16.7万人)
学卒者訓練	(※3)	約2.1万人 (約2.1万人)
障害者訓練	約55億円 (約56億円)	約0.7万人 (約0.7万人)
離職者訓練	約55億円 (約56億円)	約0.6万人 (約0.6万人)
施設内訓練	約40億円 (約42億円)	約0.2万人 (約0.2万人)
委託訓練	約15億円 (約14億円)	約0.4万人 (約0.4万人)

在職者訓練	—	約0.1万人 (約0.1万人)
施設内訓練	(※4)	約0.1万人 (約0.1万人)
委託訓練	(※4)	約0.03万人 (約0.02万人)
求職者支援訓練	約117億円 (約115億円) 〔 求職者支援制度全体 約256億円 (252億円) 〕	約5.2万人 (約5.1万人)
公共職業訓練(離職者訓練) ＋ 求職者支援訓練	—	約20.7万人 (約22.0万人)

※1 障害者訓練を除く。

※2 在職者訓練は、生産性向上訓練を含む。

※3 公共職業訓練のうち、離職者訓練(施設内訓練)、在職者訓練及び学卒者訓練の予算は切り分けができないため、予算額については、離職者訓練(施設内訓練)に含んで記載。

※4 障害者訓練のうち、在職者訓練の施設内訓練及び委託訓練の予算は切り分けができないため、予算額については、離職者訓練に含んで記載。

IT分野における職業訓練コースの設定促進

- DXの進展が加速する中、高いスキルを持ったIT人材の確保が重要な課題となっているが、国内のIT人材は、2030年までに45万人が不足すると試算されており、そのスキルレベルも、「デジタル競争力ランキング」によると、63か国中62位と低迷している。また、IT人材は大都市圏に集中しており、地域偏在も課題となっている。
- このため、IT人材の質的・量的な確保を図る観点から、公共職業訓練（委託訓練）及び求職者支援訓練において、IT分野の資格取得をめざす訓練コースについて訓練実施機関に対する訓練委託費等の上乗せを行うとともに、地域偏在の解消のため、同コースが設定されていない地域の場合には、さらに訓練委託費等を上乗せし、IT分野のコース設定の促進を図る。【令和6年度末までの時限措置】

事業概要

- ◆ ITスキル標準（ITSS）レベル1以上（※1）に相当するIT関係の資格をめざす訓練コースについて、資格取得率及び就職率が一定割合以上の場合、訓練実施機関に対する訓練委託費等を1人当たり月1万円上乗せする。また、同コースが設定されていない地域（※2）において、さらに1人当たり月1万円上乗せする。

（※1）OCJP Silver、LPICレベル1、PHP初級など

（※2）令和4年度対象予定地域
公共職業訓練：20地域
求職者支援訓練：26地域



中小企業におけるDX人材育成の推進

- ・ 我が国におけるDXを推進するためには、ITを活用した業務改善やビジネス展開などに従事する人材の育成が不可欠。
- ・ 多くの中小企業では、大企業と比べDX化の取組みは進んでいない。
- ・ このため、全国の生産性向上人材育成支援センター(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構)に中小企業等DX人材育成推進員を配置し、中小企業等の人材育成計画の作成等を支援するとともに、DXに対応した訓練を拡充する等により中小企業等のDXに対応するための人材育成を総合的に推進する。

(1) 中小企業等DX人材育成支援窓口の設置

生産性向上人材育成支援センターに「中小企業等DX人材育成支援窓口」を設置し、中小企業等からの「デジタル対応に係る人材育成の悩み」等にかかる相談に対応。

(2) 中小企業等DX人材育成推進員の配置

生産性向上人材育成支援センターにDX人材育成推進員(非常勤)を配置(100人 主要都市のセンター13カ所×2人、74カ所×1人)し、中小企業等のDXに対応するための人材育成を総合的に推進。

① 中小企業等DX人材育成計画の作成支援

⇒(1)で相談等を受けた中小企業等のうち、希望する中小企業等に対して、DX人材育成計画(中長期)の作成を支援。
⇒経営・管理者層や従業員の役割・階層に応じて身に着けるべき知識や技術について整理。

② ニーズに応じた生産性向上支援訓練(DX関連)のカスタマイズ

⇒中小企業等DX人材育成支援窓口等で把握した個別企業のニーズ等を踏まえ、実際に個別企業での業務を想定した演習の追加など、受講希望企業と訓練実施機関との間に立ち調整。

③ 生産性向上支援訓練(DX関連)の実施機関の開拓

⇒(3)に対応するため、訓練実施機関の開拓を行う。

(3) 生産性向上支援訓練(DX関連)の拡充(2,000人分の訓練経費を計上)

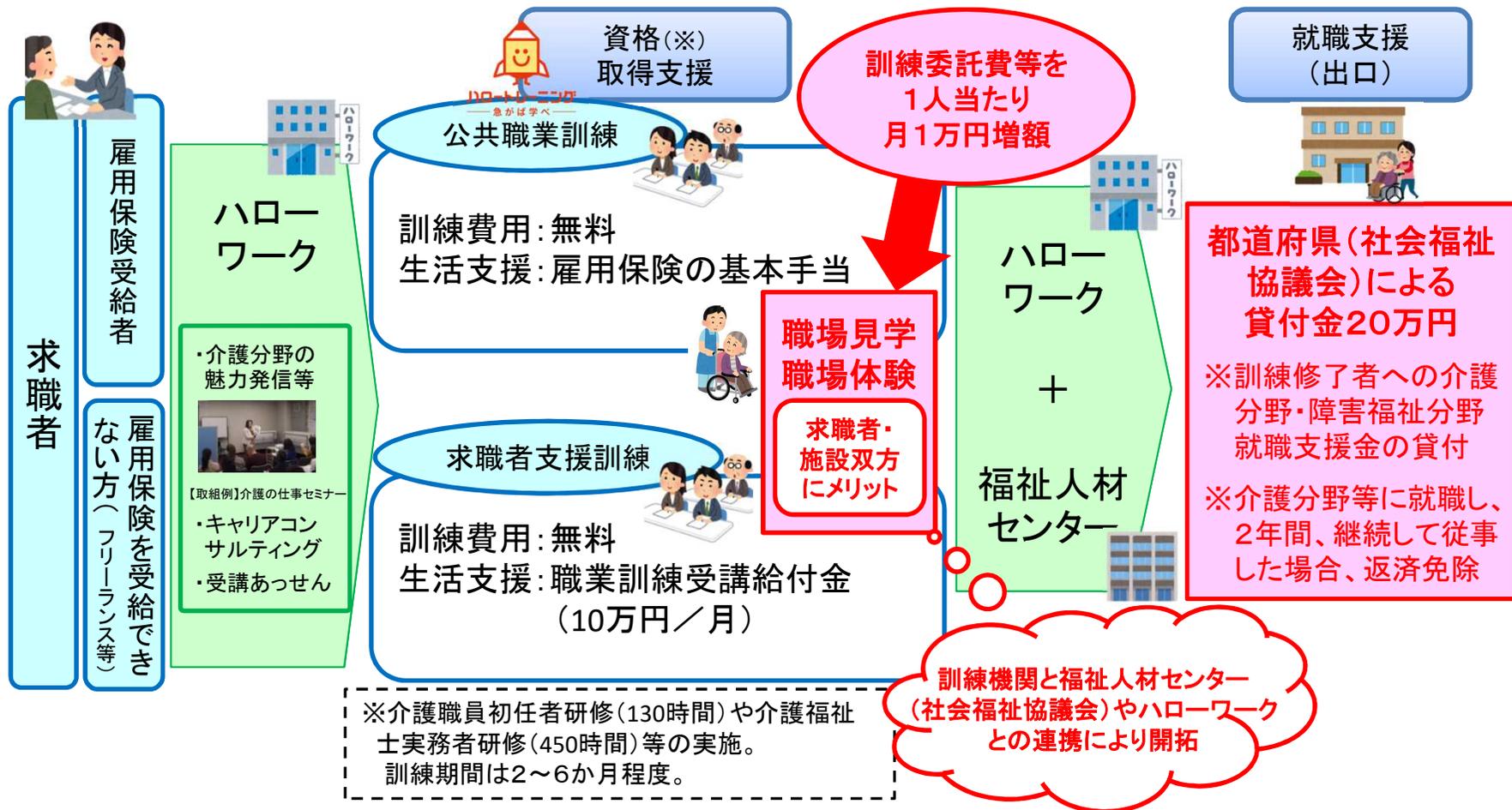
生産性向上支援訓練(DX関連)の訓練機会を拡充(2,000人)。

〔 訓練コースの例:クラウド活用入門、IoT活用によるビジネス展開、AI(人工知能)活用 等 〕

雇用と福祉の連携による離職者への介護・障害福祉分野への就職支援パッケージ

新型コロナウイルスの影響による離職者の再就職や、介護・障害福祉分野における人材確保を支援するため、

- ・ ハローワーク、訓練機関及び福祉人材センターの連携強化による就職支援
- ・ 介護・障害福祉分野向け職業訓練枠の拡充のため、訓練に職場見学・職場体験を組み込むことを要件に、訓練委託費等の上乗せ
- ・ 都道府県社会福祉協議会による介護分野、障害福祉分野に就職した訓練修了者への貸付金制度等を実施する。



ハロートレーニング(公的職業訓練)の実施状況 (平成29年度～令和3年度実績)

※令和2・3年度実績については速報値であり、今後変動の可能性がある。

令和3年度における実績

			入校者数(人)	受講者数(人) ^{※1}
公共職業訓練	離職者訓練 ^{※2}	計	34,655	51,061
		施設内訓練	10,803	16,707
		委託訓練	23,852	34,354
	在職者訓練		41,303	41,303
	学卒者訓練		—	—
障害者訓練	離職者訓練	計	1,576	1,834
		施設内訓練	892	1,135
		委託訓練	684	699
	在職者訓練	計	41	41
		施設内訓練	—	—
		委託訓練	41	41
求職者支援訓練	基礎コース		1,949 ^{※3}	
	実践コース		6,991 ^{※3}	

(注) 職業訓練及び求職者支援訓練は令和3年7月までに開始したコース、障害者訓練は令和3年6月までに開始したコースの実績。

※1 受講者数は当該年度在校生(入校者+年度繰越)。

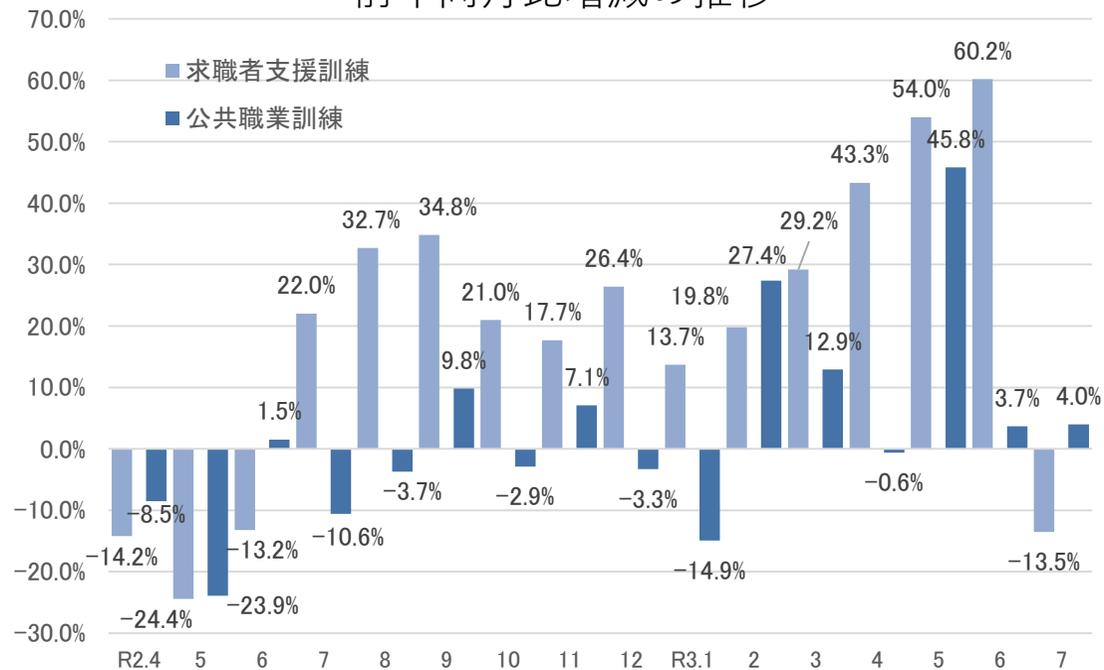
※2 都道府県が自治事務として行う施設内訓練及び都道府県費による委託訓練の実績を含む。

※3 求職者支援訓練においては年度繰越者をカウントしていないため入校者を「受講者」として整理。以下本資料において同じ。

足下の受講状況

	令和3年度 目標	令和2年度 実績		4月	5月	6月	7月	計
公共職業訓練 (離職者訓練)	150,000	86,429	受講者数	10,224	6,996	8,337	9,098	34,655
			前年同期比	-0.6%	45.8%	3.7%	4.0%	8.7%
求職者支援訓練	50,000	23,734	受講者数	2,444	2,190	2,634	1,672	8,940
			前年同期比	43.3%	54.0%	60.2%	-13.5%	33.4%

前年同月比増減の推移



受講状況

		訓練定員	受講者数	充足率
平成29年度	合計	118,115	112,306	80.0%
	施設内訓練	35,382	34,603	80.1%
	委託訓練	82,733	77,703	80.0%
平成30年度	合計	115,334	106,376	78.4%
	施設内訓練	34,249	33,230	79.1%
	委託訓練	81,085	73,146	78.1%
令和元年度	合計	111,082	104,255	79.4%
	施設内訓練	32,524	32,568	81.4%
	委託訓練	78,558	71,687	78.6%
令和2年度	合計	107,372	100,773	78.9%
	施設内訓練	31,168	31,388	81.0%
	委託訓練	76,204	69,385	78.0%
令和3年度	合計	44,777	51,061	77.4%
	施設内訓練	14,738	16,707	73.3%
	委託訓練	30,039	34,354	79.4%

※ 令和3年度は令和3年7月末までに開始したコースの実績。

※ 受講者数は前年度繰越者と当該年度入校者数の合計。

※ 充足率は受講者数のうち当該年度入校者数を訓練定員で除して算出。

※ 都道府県が自治事務として行う施設内訓練及び都道府県費による委託訓練の実績を含む。

公共職業訓練
(離職者訓練)

受講者数 (令和2年度都道府県別実績)

	合計			高齢・障害・求職者 雇用支援機構			都道府県		
	施設内	委託	計	施設内	委託	計	施設内	委託	
北海道	4,338	1,363	2,975	1,363	1,363	0	2,975	0	2,975
青森県	1,509	364	1,145	336	336	0	1,173	28	1,145
岩手県	1,552	406	1,146	406	406	0	1,146	0	1,146
宮城県	1,773	731	1,042	716	716	0	1,057	15	1,042
秋田県	1,241	400	841	375	375	0	866	25	841
山形県	867	263	604	254	254	0	613	9	604
福島県	2,100	755	1,345	755	755	0	1,345	0	1,345
茨城県	1,476	462	1,014	424	424	0	1,052	38	1,014
栃木県	1,696	743	953	666	666	0	1,030	77	953
群馬県	1,200	467	733	460	460	0	740	7	733
埼玉県	6,069	848	5,221	667	667	0	5,402	181	5,221
千葉県	4,240	1,160	3,080	1,059	1,059	0	3,181	101	3,080
東京都	7,470	1,914	5,556	0	0	0	7,470	1,914	5,556
神奈川県	3,143	1,321	1,822	738	738	0	2,405	583	1,822
新潟県	2,480	594	1,886	355	355	0	2,125	239	1,886
富山県	1,028	579	449	337	337	0	691	242	449
石川県	1,780	459	1,321	332	332	0	1,448	127	1,321
福井県	741	315	426	255	255	0	486	60	426
山梨県	791	409	382	362	362	0	429	47	382
長野県	1,658	633	1,025	588	588	0	1,070	45	1,025
岐阜県	1,213	279	934	261	261	0	952	18	934
静岡県	1,771	642	1,129	555	555	0	1,216	87	1,129
愛知県	5,092	1,093	3,999	757	757	0	4,335	336	3,999
三重県	1,515	802	713	656	656	0	859	146	713
滋賀県	1,595	552	1,043	410	410	0	1,185	142	1,043

	合計			高齢・障害・求職者 雇用支援機構			都道府県		
	施設内	委託	計	施設内	委託	計	施設内	委託	
京都府	2,130	777	1,353	752	752	0	1,378	25	1,353
大阪府	4,888	781	4,107	567	567	0	4,321	214	4,107
兵庫県	3,891	1,306	2,585	1,073	1,073	0	2,818	233	2,585
奈良県	1,368	526	842	434	434	0	934	92	842
和歌山県	921	344	577	344	344	0	577	0	577
鳥取県	1,186	600	586	591	591	0	595	9	586
島根県	890	454	436	415	415	0	475	39	436
岡山県	1,451	552	899	467	467	0	984	85	899
広島県	2,016	781	1,235	685	685	0	1,331	96	1,235
山口県	1,423	403	1,020	261	261	0	1,162	142	1,020
徳島県	884	397	487	328	328	0	556	69	487
香川県	986	567	419	330	330	0	656	237	419
愛媛県	1,073	444	629	398	398	0	675	46	629
高知県	930	330	600	310	310	0	620	20	600
福岡県	6,121	1,482	4,639	896	896	0	5,225	586	4,639
佐賀県	1,057	372	685	372	372	0	685	0	685
長崎県	2,166	603	1,563	597	597	0	1,569	6	1,563
熊本県	2,230	872	1,358	872	872	0	1,358	0	1,358
大分県	1,497	445	1,052	411	411	0	1,086	34	1,052
宮崎県	1,608	769	839	763	763	0	845	6	839
鹿児島県	2,104	409	1,695	409	409	0	1,695	0	1,695
沖縄県	1,615	620	995	493	493	0	1,122	127	995
合計	100,773	31,388	69,385	24,855	24,855	0	75,918	6,533	69,385

H30合計	106,376	33,230	73,146	26,350	26,350	0	80,026	6,880	73,146
R1合計	104,255	32,568	71,687	25,933	25,933	0	78,322	6,635	71,687

※ 都道府県が自治事務として行う施設内訓練及び都道府県費による委託訓練の実績を含む。

就職状況

		コース数	受講者数	就職理由以外 の中退者数	① 就職理由 中退者数	② 修了者数	③ 就職者数	就職率 (①+③) / (①+②)
平成29年度	施設内訓練	2,776	34,603	1,614	3,890	20,643	17,488	87.1%
	委託訓練	5,329	77,703	3,276	4,220	60,461	44,216	74.9%
平成30年度	施設内訓練	2,756	33,230	1,481	3,421	19,775	16,713	86.8%
	委託訓練	5,234	73,146	3,172	3,829	56,232	41,254	75.1%
令和元年度	施設内訓練	2,715	32,568	1,422	2,954	19,437	15,906	84.2%
	委託訓練	5,277	76,149	2,963	3,408	54,944	38,756	72.3%
令和2年度	施設内訓練	2,632	31,388	1,444	3,190	17,766	14,282	83.4%
	委託訓練	5,341	69,385	3,225	3,452	52,181	36,565	71.9%
令和3年度	施設内訓練	—	—	—	—	—	—	—
	委託訓練	—	—	—	—	—	—	—

※ 当該年度に訓練を修了した者の3か月後の就職状況。

※ 都道府県が自治事務として行う施設内訓練及び都道府県費による委託訓練の実績を含む。

(参考) 平成28年度までの事業目標：就職率 [施設内訓練] 80% [委託訓練] 70%

平成29年度以降の事業目標：就職率 [施設内訓練] 80% [委託訓練] 75%

就職率 (令和2年度都道府県別)

	施設内訓練			委託訓練		
	合計	機構	都道府県	合計	機構	都道府県
北海道	87.1%	87.1%	-	68.6%	-	68.6%
青森県	85.1%	83.6%	96.4%	79.2%	-	79.2%
岩手県	87.8%	87.8%	-	74.2%	-	74.2%
宮城県	81.6%	81.7%	78.6%	76.6%	-	76.6%
秋田県	83.3%	83.3%	83.3%	70.1%	-	70.1%
山形県	84.5%	83.6%	100.0%	68.6%	-	68.6%
福島県	83.6%	83.6%	-	76.6%	-	76.6%
茨城県	76.1%	73.5%	100.0%	64.7%	-	64.7%
栃木県	78.6%	82.2%	57.5%	73.0%	-	73.0%
群馬県	83.4%	83.3%	85.7%	78.3%	-	78.3%
埼玉県	83.0%	84.0%	80.2%	68.7%	-	68.7%
千葉県	83.6%	83.2%	86.3%	70.7%	-	70.7%
東京都	76.5%	-	76.5%	50.4%	-	50.4%
神奈川県	78.9%	79.5%	78.4%	70.6%	-	70.6%
新潟県	80.7%	80.1%	81.6%	74.9%	-	74.9%
富山県	79.2%	83.6%	75.2%	78.1%	-	78.1%
石川県	75.8%	78.1%	71.8%	75.3%	-	75.3%
福井県	81.3%	85.0%	73.3%	80.6%	-	80.6%
山梨県	81.7%	83.5%	71.7%	74.6%	-	74.6%
長野県	87.1%	87.3%	86.0%	74.2%	-	74.2%
岐阜県	85.0%	84.6%	90.9%	78.0%	-	78.0%
静岡県	87.0%	87.7%	83.8%	71.8%	-	71.8%
愛知県	85.2%	86.6%	83.2%	73.8%	-	73.8%
三重県	79.6%	85.3%	57.5%	77.2%	-	77.2%
滋賀県	75.2%	74.7%	76.5%	71.7%	-	71.7%

	施設内訓練			委託訓練		
	合計	機構	都道府県	合計	機構	都道府県
京都府	81.7%	81.0%	100.0%	75.8%	-	75.8%
大阪府	86.8%	83.2%	92.1%	78.5%	-	78.5%
兵庫県	84.6%	85.2%	83.0%	76.2%	-	76.2%
奈良県	81.7%	79.9%	86.9%	83.2%	-	83.2%
和歌山県	80.9%	80.9%	-	61.8%	-	61.8%
鳥取県	88.1%	88.3%	77.8%	78.8%	-	78.8%
島根県	83.9%	83.9%	83.9%	76.4%	-	76.4%
岡山県	85.3%	83.6%	91.1%	64.5%	-	64.5%
広島県	87.8%	91.4%	73.3%	73.8%	-	73.8%
山口県	88.9%	91.0%	86.0%	65.9%	-	65.9%
徳島県	86.0%	87.1%	82.8%	80.8%	-	80.8%
香川県	80.1%	83.0%	77.5%	70.3%	-	70.3%
愛媛県	84.8%	85.7%	79.1%	79.3%	-	79.3%
高知県	84.1%	85.3%	68.4%	77.9%	-	77.9%
福岡県	81.7%	80.3%	83.3%	71.7%	-	71.7%
佐賀県	85.8%	85.8%	-	79.9%	-	79.9%
長崎県	88.1%	87.9%	100.0%	77.8%	-	77.8%
熊本県	92.8%	92.8%	-	72.7%	-	72.7%
大分県	89.7%	89.1%	93.9%	82.9%	-	82.9%
宮崎県	88.9%	89.0%	83.3%	82.2%	-	82.2%
鹿児島県	89.1%	89.1%	-	79.0%	-	79.0%
沖縄県	88.8%	86.7%	95.4%	81.5%	-	81.5%
合計	83.4%	84.7%	79.7%	71.9%	-	71.9%

H30合計	86.8%	87.5%	84.7%	75.1%	-	75.1%
R1合計	84.2%	85.5%	80.3%	72.3%	-	72.3%

※ 都道府県が自治事務として行う施設内訓練及び都道府県費による委託訓練の実績を含む。

受講者数・就職率（令和2年度分野別）

分野	受講者数 (合計)	施設内訓練						委託訓練					
		合計		高齢・障害・求職者 雇用支援機構		都道府県		合計		高齢・障害・求職者 雇用支援機構		都道府県	
		受講者数	就職率	受講者数	就職率	受講者数	就職率	受講者数	就職率	受講者数	就職率	受講者数	就職率
農業・林業系	918人	561人	88.2%	-	-	561人	88.2%	357人	75.0%	-	-	357人	75.0%
建設系	5,799人	5,420人	83.5%	4,418人	86.0%	1,002人	74.2%	379人	62.5%	-	-	379人	62.5%
製造系	11,242人	11,106人	82.9%	9,729人	83.4%	1,377人	80.1%	136人	63.3%	-	-	136人	63.3%
事務系	28,914人	657人	89.9%	467人	91.9%	190人	85.9%	28,257人	72.1%	-	-	28,257人	72.1%
情報系	22,347人	305人	77.5%	-	-	305人	77.5%	22,042人	68.0%	-	-	22,042人	68.0%
サービス系	13,317人	9,127人	84.1%	7,263人	85.1%	1,864人	80.8%	4,190人	61.9%	-	-	4,190人	61.9%
介護系	13,915人	891人	83.8%	-	-	891人	83.8%	13,024人	83.6%	-	-	13,024人	83.6%
その他	4,321人	3,321人	60.8%	2,978人	-	343人	60.8%	1,000人	67.6%	-	-	1,000人	67.6%
総計	100,773人	31,388人	83.4%	24,855人	84.7%	6,533人	79.7%	69,385人	71.9%	-	-	69,385人	71.9%

※ 就職率は、令和3年3月末までに訓練を修了した者の3か月後の就職状況。

※ 高齢・障害・求職者雇用支援機構の実施する施設内訓練のうち、「その他」分野の橋渡し訓練については、他の職業訓練を連続して受講するため、受講者数のみ計上。

※ 都道府県が自治事務として行う施設内訓練及び都道府県費による委託訓練の実績を含む。

※ 「雇用期間の定めのない就職者数」とは、正社員就職者数並びにパート・アルバイト及び派遣社員で雇用期間の定めのない就職者数を計上。

長期高度人材育成コース 実施状況

	コース数	受講者数	就職率
平成29年度	583	4,123	90.7%
平成30年度	716	4,278	90.1%
令和元年度	874	4,550	86.3%
令和2年度	1,000	5,198	88.7%
令和3年度	972	5,218	—

※ 令和3年度は令和3年7月末までに開始したコースの実績。

※ 受講者数は前年度繰越者と当該年度入校者数の合計。

※ 都道府県が自治事務として行う施設内訓練及び都道府県費による委託訓練の実績を含む。

※ 平成29年度は資格取得コースの実績。平成30年度に長期高度人材育成コースへ制度変更。

長期高度人材育成コース 実施状況（令和2年度分野別）

分野	コース数	受講者数	就職率
製造系	10	18	85.7%
建設系	8	14	87.5%
事務系	47	175	78.9%
介護系	322	1,413	90.3%
保育系	273	1,937	92.1%
その他社会福祉系	59	410	90.8%
サービス系	80	231	88.8%
調理系	82	419	81.6%
保健医療系	15	74	88.9%
情報系	72	419	75.9%
その他	32	88	78.4%
合計	1,000	5,198	88.7%
令和元年度合計	874	4,550	86.3%

オンライン訓練の実施状況

		設定コース数	受講者数
令和2年度	同時双方向型	668	4,582
	施設内訓練	29	356
	委託訓練	639	4,226
	オンデマンド型	21	95
令和3年度	同時双方向型	134	1,594
	施設内訓練	107	1,190
	委託訓練	27	404
	オンデマンド型	8	27

(注1) 令和2年5月から同時双方向型の実施を可能とした。

令和2年度は、当該年度中にオンライン訓練を実施した訓練コースの実績。

令和3年度は、令和3年4月から7月末までに終了した訓練コースのうち、オンライン訓練を実施した訓練コースの実績。

(参考) 令和3年4月に開始した長期人材育成コースにおけるオンライン訓練の実績(見込み含む)は、348コース、1,749人。

(注2) オンデマンド型(eラーニングコース)については、委託訓練において、育児・介護等で外出が制限される者や、離島居住者等の通所可能範囲に訓練実施機関が存在しない者を対象に実施してきたが、令和3年4月から対象者にシフト制労働者等を追加した。

令和2年度は、当該年度中に開始したeラーニングコースの実績。

令和3年度は、令和3年4月から7月末までに開始したeラーニングコースの実績。

(コース例)

Webクラウドエンジニア科、Webサイト制作科、

経理実務科、医療事務・医事コンピュータ・調剤事務科 等

特例措置の実施状況（令和3年度）

	設定コース数		設定定員数		受講者数	
介護コース	225	100.0%	4,109	100.0%	2,583	100.0%
うち介護パッケージ	38	16.9%	656	16.0%	427	16.5%
短期間・短時間コース	162	100.0%	2,557	100.0%	1,588	100.0%
短期間・短時間	20	12.3%	200	7.8%	89	5.6%
短期間	86	53.1%	1,362	53.3%	902	56.8%
短時間	56	34.6%	995	38.9%	597	37.6%
短期間コース内訳	106	100.0%	1,562	100.0%	991	100.0%
2週間以上1か月未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1か月以上2か月未満	13	12.3%	158	10.1%	90	9.1%
2か月以上3か月未満	93	87.7%	1,404	89.9%	901	90.9%
短時間コース内訳	76	100.0%	1,195	100.0%	686	100.0%
60時間以上80時間未満	35	46.1%	579	48.5%	175	25.5%
80時間以上100時間未満	41	53.9%	616	51.5%	511	74.5%

※ 令和3年7月末までに開始したコースの実績。

実施状況

	合計	機構		都道府県	
	受講者数	訓練定員	受講者数	訓練定員	受講者数
平成29年度	116,938	93,391	65,309	69,037	51,629
平成30年度	121,406	98,538	70,085	67,419	51,321
令和元年度	120,604	97,614	70,460	64,778	50,144
令和2年度	70,860	69,268	41,409	42,577	29,451
令和3年度	41,303	35,748	24,541	21,856	16,762

※ 令和3年度は、令和3年7月末までの実績。

実施状況

		合計		機構		都道府県	
		訓練定員	在学者数	訓練定員	在学者数	訓練定員	在学者数
平成29年度	合計	13,226	17,418	2,868	5,687	10,358	11,731
	専門課程	3,423	5,955	1,963	3,875	1,460	2,080
	応用課程	855	1,754	845	1,751	10	3
	普通課程(高卒)	8,563	9,297	60	61	8,503	9,236
	普通課程(中卒)	385	412	-	-	385	412
平成30年度	合計	12,541	16,934	2,868	5,723	9,673	11,211
	専門課程	3,253	5,975	1,963	3,900	1,290	2,075
	応用課程	855	1,766	845	1,762	10	4
	普通課程(高卒)	8,083	8,828	60	61	8,023	8,767
	普通課程(中卒)	350	365	-	-	350	365
令和元年度	合計	13,307	16,403	2,865	5,692	10,442	10,711
	専門課程	3,300	5,920	1,960	3,895	1,340	2,025
	応用課程	855	1,742	845	1,740	10	2
	普通課程(高卒)	8,667	8,404	60	57	8,607	8,347
	普通課程(中卒)	485	337	-	-	485	337
令和2年度	合計	13,402	15,862	2,875	5,655	10,527	10,207
	専門課程	3,380	5,893	1,965	3,851	1,415	2,042
	応用課程	860	1,755	850	1,751	10	4
	普通課程(高卒)	8,516	7,722	60	53	8,456	7,669
	普通課程(中卒)	646	492	-	-	646	492
令和3年度	合計	-	-	-	-	-	-
	専門課程	-	-	-	-	-	-
	応用課程	-	-	-	-	-	-
	普通課程(高卒)	-	-	-	-	-	-
	普通課程(中卒)	-	-	-	-	-	-

	合計	機構	都道府県
	就職率	就職率	就職率
	96.8%	99.6%	96.0%
	99.4%	99.4%	99.3%
	99.8%	99.8%	100.0%
	95.3%	100.0%	95.2%
	99.4%	-	99.4%
	97.4%	99.7%	96.7%
	99.5%	99.4%	99.6%
	100.0%	100.0%	100.0%
	96.1%	98.2%	96.1%
	96.9%	-	96.9%
	96.3%	99.1%	95.4%
	98.5%	98.8%	98.1%
	99.5%	99.5%	100.0%
	94.8%	98.2%	94.8%
	96.4%	-	96.4%
	95.5%	99.2%	94.4%
	98.1%	99.0%	97.2%
	99.4%	99.4%	100.0%
	93.7%	100.0%	93.6%
	98.0%	-	98.0%
	-	-	-
	-	-	-
	-	-	-
	-	-	-
	-	-	-

※ 在学者数には前年度繰越者を含む。

※ 就職率は、当年度中に訓練を修了した者の1か月後の就職状況。

(単位：人)

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	受講者数	就職率	受講者数	就職率	受講者数	就職率	受講者数	就職率	受講者数	就職率
障害者職業能力開発校 における職業訓練	1,856	—	1,740	—	1,734	—	1,536	—	1,135	—
離職者訓練	1,599	69.2%	1,456	71.1%	1,385	65.8%	1,338	62.4%	1,135	—
在職者訓練	257	—	284	—	349	—	198	—	—	—
一般校における 障害者職業訓練	651 [322]	78.2%	653 [307]	75.8%	628 [276]	73.5%	835 [282]	70.3%	—	—
障害者の多様なニーズに 対応した委託訓練	3,704	—	3,283	—	3,063	—	2,536	—	740	—
離職者訓練	3,503	49.7%	3,073	52.2%	2,863	48.8%	2,346	48.1%	699	—
在職者訓練	201	—	210	—	200	—	190	—	41	—
合 計	6,211	—	5,676	—	5,425	—	4,907	—	1,875	—

(資料：定例業務統計報告、障害者委託訓練実施状況報告)

注1 就職率は、訓練修了3ヶ月後の就職状況を元に算出。

注2 一般校における障害者職業訓練の就職率は、一般校で設定している障害者対象訓練科の受講者数[カッコ内]の就職率を算出。

注3 令和3年度の受講者数は、令和3年6月末までに開始したコースの実績。「—」の部分については、現時点では集計していない。

注4 令和2・3年度実績については速報値であり、今後変動の可能性がある。

実施状況

	認定コース数 ①	認定定員 ②	開講コース数 ③	開講定員 ④	受講者数 ⑤	開講率 (③/①)	開講コースの 充足率 (⑤/④)
平成29年度	3,793	61,594	2,916	47,863	26,822	76.9%	56.0%
平成30年度	3,225	51,336	2,557	41,093	23,384	79.3%	56.9%
令和元年度	2,881	45,489	2,263	36,127	21,020	78.5%	58.2%
令和2年度	2,862	44,921	2,300	36,479	23,734	80.4%	65.1%
令和3年度	1,070	17,207	845	13,723	8,940	79.0%	65.1%

※ 当該年度中に開始したコースについて集計。

※ 令和3年度実績は令和3年7月開講分までの実績。

受講者数（令和2年度都道府県別）

	合計	基礎コース	実践コース
北海道	1,367	308	1,059
青森県	234	125	109
岩手県	299	48	251
宮城県	391	99	292
秋田県	195	64	131
山形県	255	128	127
福島県	413	117	296
茨城県	464	168	296
栃木県	326	110	216
群馬県	375	89	286
埼玉県	337	40	297
千葉県	907	227	680
東京都	3,420	389	3,031
神奈川県	831	301	530
新潟県	272	34	238
富山県	137	23	114
石川県	65	17	48
福井県	169	23	146
山梨県	177	3	174
長野県	632	304	328
岐阜県	258	77	181
静岡県	358	70	288
愛知県	630	28	602
三重県	124	14	110
滋賀県	106	49	57

	合計	基礎コース	実践コース
京都府	575	185	390
大阪府	4,296	810	3,486
兵庫県	398	54	344
奈良県	301	71	230
和歌山県	320	135	185
鳥取県	173	60	113
島根県	112	26	86
岡山県	171	38	133
広島県	283	119	164
山口県	174	54	120
徳島県	263	108	155
香川県	276	168	108
愛媛県	231	82	149
高知県	121	25	96
福岡県	1,225	229	996
佐賀県	105	57	48
長崎県	223	100	123
熊本県	298	84	214
大分県	176	96	80
宮崎県	512	186	326
鹿児島県	391	109	282
沖縄県	368	187	181
合計	23,734	5,838	17,896

H30合計	23,384	6,739	16,645
R1合計	21,020	5,753	15,267

就職状況

		コース数	受講者数	就職理由以外 の中退者数	① 就職理由 中退者数	② 修了者数	③ 訓練連続 受講者数	④ 修了者等数 (①+②-③)	⑤ 就職者数	就職率 (⑤/④)
平成29年度	基礎コース	1,034	8,626	678	587	7,361	429	7,519 (7,311)	4,308 (4,244)	58.0%
	実践コース	2,031	20,146	2,338	1,800	16,008	—	17,808 (17,549)	11,511 (11,418)	65.0%
平成30年度	基礎コース	879	7,163	572	461	6,130	343	6,248 (6,058)	3,672 (3,615)	59.6%
	実践コース	1,795	17,110	2,076	1,531	13,503	—	15,034 (14,807)	9,567 (9,475)	63.9%
令和元年度	基礎コース	734	5,913	515	345	5,053	248	5,150 (4,972)	2,853 (2,811)	56.5%
	実践コース	1,623	15,691	2,011	1,325	12,355	—	13,680 (13,454)	8,474 (8,407)	62.4%
令和2年度	基礎コース	508	4,127	443	248	3,436	179	3,505 (3,369)	1,766 (1,724)	51.2%
	実践コース	1,176	12,054	1,681	902	9,429	—	10,331 (10,140)	6,025 (5,968)	58.9%
令和3年度	基礎コース	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	実践コース	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 当年度中に終了したコース(令和2年度については令和2年12月末までに終了したコース)について集計。

※ 就職率については、以下の算定式(ただし、式の分母分子から訓練終了日において65歳以上の者を除く。)により算出。

⑤就職者数(雇用保険適用) ÷ ④修了者等数 (①就職理由中退者+②訓練修了者-③次の訓練を受講する者(基礎コースのみ))
(表中の()内の数値は、訓練終了日において65歳以上の者を除いた数であり、これに基づき就職率を算出。)

(参考) 平成29年度から令和元年度の事業目標：雇用保険適用就職率 [基礎コース] 55% [実践コース] 60%

令和2年度の事業目標：雇用保険適用就職率 [基礎コース] 58% [実践コース] 63%

就職率（令和2年度都道府県別実績）

	基礎コース	実践コース
北海道	50.8%	58.8%
青森	43.1%	61.5%
岩手	43.9%	58.9%
宮城	63.6%	67.7%
秋田	48.9%	52.4%
山形	54.2%	59.8%
福島	52.6%	58.0%
茨城	59.5%	62.0%
栃木	60.0%	58.4%
群馬	46.7%	62.4%
埼玉	45.5%	42.3%
千葉	51.8%	58.5%
東京	48.8%	59.1%
神奈川	53.2%	55.2%
新潟	52.9%	61.2%
富山	59.1%	42.7%
石川	66.7%	39.5%
福井	40.0%	67.9%
山梨	38.5%	51.3%
長野	41.1%	60.7%
岐阜	44.8%	65.0%
静岡	50.0%	55.0%
愛知	11.1%	51.1%
三重	68.8%	62.5%
滋賀	46.7%	55.6%

	基礎コース	実践コース
京都	52.3%	52.9%
大阪	46.4%	62.4%
兵庫	42.3%	59.6%
奈良	56.5%	49.5%
和歌山	38.6%	51.4%
鳥取	70.4%	65.8%
島根	53.8%	62.1%
岡山	64.7%	69.8%
広島	44.4%	56.6%
山口	61.8%	58.9%
徳島	59.7%	61.9%
香川	59.7%	41.9%
愛媛	44.1%	69.9%
高知	62.5%	46.7%
福岡	48.0%	54.9%
佐賀	43.4%	57.1%
長崎	40.4%	58.4%
熊本	50.0%	49.6%
大分	51.0%	75.3%
宮崎	65.4%	65.8%
鹿児島	48.6%	60.5%
沖縄	62.6%	58.8%
合計	51.2%	58.9%

H30合計	59.6%	63.9%
R1合計	56.5%	62.4%

※ 令和2年12月末までに終了したコースについて集計。

申請・認定状況（令和2年度都道府県別）

	基礎コース			実践コース			基礎コース 比率
	認定 上限値	申請数	認定数	認定 上限値	申請数	認定数	
北海道	1,100	689	689	2,535	1,763	1,763	28%
青森	467	294	294	503	310	310	49%
岩手	371	130	130	557	493	493	21%
宮城	360	210	210	582	398	373	36%
秋田	300	223	201	321	305	281	42%
山形	157	235	220	680	388	388	36%
福島	600	267	252	705	508	508	33%
茨城	435	309	309	751	538	538	36%
栃木	405	286	247	481	574	461	35%
群馬	583	229	229	596	516	493	32%
埼玉	514	223	223	770	561	516	30%
千葉	1,000	440	410	2,328	1,400	1,325	24%
東京	1,994	704	685	7,976	5,286	4,493	13%
神奈川	947	552	511	1,760	1,151	1,052	33%
新潟	202	105	92	810	555	555	14%
富山	137	111	111	240	319	319	26%
石川	110	80	80	190	102	102	44%
福井	195	117	117	301	249	249	32%
山梨	164	47	47	380	363	333	12%
長野	760	615	567	921	750	670	46%
岐阜	300	130	130	460	289	289	31%
静岡	190	134	134	738	631	631	18%
愛知	425	154	154	991	871	871	15%
三重	95	33	33	226	189	189	15%
滋賀	120	123	123	180	149	149	45%

	基礎コース			実践コース			基礎コース 比率
	認定 上限値	申請数	認定数	認定 上限値	申請数	認定数	
京都	696	369	369	875	707	677	35%
大阪	2,284	1,836	1,760	9,130	5,564	5,315	25%
兵庫	407	198	198	980	866	821	19%
奈良	330	285	195	493	612	507	28%
和歌山	429	318	306	429	400	399	43%
鳥取	144	137	137	233	295	295	32%
島根	176	132	132	333	192	192	41%
岡山	143	143	128	345	265	265	33%
広島	375	244	234	455	408	363	39%
山口	207	120	120	400	220	220	35%
徳島	278	201	201	482	266	256	44%
香川	435	285	285	444	318	318	47%
愛媛	280	135	135	418	357	357	27%
高知	110	92	92	246	282	282	25%
福岡	1,168	453	440	2,725	1,815	1,711	20%
佐賀	240	79	79	270	160	160	33%
長崎	365	320	290	382	343	302	49%
熊本	224	260	260	524	528	513	34%
大分	270	195	190	316	280	250	43%
宮崎	726	469	440	1,088	783	705	38%
鹿児島	485	235	235	729	519	504	32%
沖縄	565	375	375	565	394	359	51%
合計	22,268	13,321	12,799	47,844	34,232	32,122	28%
R1年度	16,468	14,766	13,670	28,836	36,049	31,819	30%
H30年度	19,369	17,784	15,827	32,741	41,258	35,509	31%

※ 基礎コース比率…認定数に占める基礎コースの割合

※ ある認定期間において認定されなかった定員及び開講されずに中止となった訓練の定員は、次の認定期間に繰り越すことが可能であり、認定数が認定上限値を上回る場合がある。

申請・認定状況

(令和2年度都道府県別・コース別／重点3分野)

	基礎コース			実践コース											
				計			うち介護系			うち医療事務系			うち情報系		
	申請数	認定数	うち、新規枠	申請数	認定数	うち、新規枠	申請数	認定数	うち、新規枠	申請数	認定数	うち、新規枠	申請数	認定数	うち、新規枠
北海道	689	689	60	1,763	1,763	50	367	367	0	200	200	0	180	180	0
青森	294	294	89	310	310	105	30	30	30	45	45	30	0	0	0
岩手	130	130	39	493	493	36	45	45	0	52	52	0	13	13	0
宮城	210	210	15	398	373	48	132	132	0	14	14	14	0	0	0
秋田	223	201	42	305	281	47	74	74	47	0	0	0	60	60	0
山形	235	220	53	388	388	115	60	60	60	102	102	0	0	0	0
福島	267	252	47	508	508	34	0	0	0	89	89	0	0	0	0
茨城	309	309	0	538	538	125	71	71	0	0	0	0	0	0	0
栃木	286	247	80	574	461	181	112	112	112	125	93	13	28	28	14
群馬	229	229	27	516	493	59	179	179	44	96	96	0	0	0	0
埼玉	223	223	112	561	516	255	0	0	0	15	15	15	30	30	0
千葉	440	410	123	1,400	1,325	114	264	244	20	0	0	0	78	78	0
東京	704	685	139	5,286	4,493	815	262	252	12	391	362	45	1,054	867	55
神奈川	552	511	50	1,151	1,052	117	118	118	0	84	84	0	45	45	0
新潟	105	92	0	555	555	129	24	24	0	124	124	0	28	28	13
富山	111	111	23	319	319	106	20	20	20	0	0	0	40	40	10
石川	80	80	50	102	102	12	12	12	12	34	34	0	0	0	0
福井	117	117	87	249	249	30	15	15	15	15	15	15	0	0	0
山梨	47	47	35	363	333	80	42	12	0	0	0	0	15	15	15
長野	615	567	113	750	670	132	203	176	97	0	0	0	52	52	0
岐阜	130	130	15	289	289	89	29	29	29	45	45	0	0	0	0
静岡	134	134	12	631	631	92	60	60	0	145	145	0	24	24	24
愛知	154	154	95	871	871	370	120	120	120	15	15	15	42	42	42
三重	33	33	0	189	189	72	57	57	0	30	30	30	0	0	0
滋賀	123	123	48	149	149	48	51	51	36	14	14	0	0	0	0

	基礎コース			実践コース											
				計			うち介護系			うち医療事務系			うち情報系		
	申請数	認定数	うち、新規枠	申請数	認定数	うち、新規枠	申請数	認定数	うち、新規枠	申請数	認定数	うち、新規枠	申請数	認定数	うち、新規枠
京都	369	369	24	707	677	240	90	90	40	15	15	15	35	35	0
大阪	1,836	1,760	467	5,564	5,315	1,201	1,363	1,341	217	73	73	15	822	773	235
兵庫	198	198	45	866	821	344	135	135	45	116	116	56	75	75	45
奈良	285	195	150	612	507	105	150	90	45	75	75	15	0	0	0
和歌山	318	306	39	400	399	147	117	117	39	52	51	12	38	38	38
鳥取	137	137	42	295	295	69	54	54	0	72	72	0	0	0	0
島根	132	132	30	192	192	0	87	87	0	0	0	0	0	0	0
岡山	143	128	30	265	265	45	60	60	15	15	15	0	0	0	0
広島	244	234	0	408	363	125	60	30	30	65	65	0	0	0	0
山口	120	120	15	220	220	15	40	40	15	45	45	0	0	0	0
徳島	201	201	15	266	256	96	51	51	16	15	15	0	70	70	0
香川	285	285	0	318	318	63	85	85	10	45	45	15	30	30	15
愛媛	135	135	15	357	357	117	90	90	15	60	60	0	0	0	0
高知	92	92	0	282	282	8	125	125	0	0	0	0	0	0	0
福岡	453	440	0	1,815	1,711	377	259	185	15	90	90	30	242	242	0
佐賀	79	79	15	160	160	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0
長崎	320	290	30	343	302	88	10	10	0	15	15	0	60	45	0
熊本	260	260	110	528	513	159	45	45	30	75	75	15	0	0	0
大分	195	190	15	280	250	60	180	150	30	60	60	30	0	0	0
宮崎	469	440	128	783	705	113	147	144	10	118	103	13	60	60	0
鹿児島	235	235	47	519	504	39	52	52	0	123	123	24	0	0	0
沖縄	375	375	67	394	359	112	0	0	0	20	20	0	0	0	0
合計	13,321	12,799	2,638	34,232	32,122	6,784	5,557	5,251	1,226	2,784	2,707	417	3,121	2,870	506

R1年度	14,766	13,670	2,059	36,049	31,819	5,885	5,547	5,092	856	2,982	2,717	281	3,192	2,774	497
H30年度	17,784	15,827	2,592	41,258	35,509	7,365	6,810	6,227	829	3,717	3,249	573	3,928	3,180	832

認定・開講状況 (令和2年度コース別／分野別（実践コース）)

	全体	基礎コース	実践コース			
			IT	営業・販売・事務	医療事務	
認定コース数	2,862	863	1,999	172	709	172
認定定員	44,921	12,799	32,122	2,870	10,879	2,707
開講コース数	2,300	683	1,617	162	552	114
中止率	19.6%	20.9%	19.1%	5.8%	22.1%	33.7%
開講定員	36,479	10,203	26,276	2,738	8,556	1,780
受講申込者数	33,127	7,094	26,033	3,330	6,815	1,188
応募倍率	0.91	0.70	0.99	1.22	0.80	0.67
受講者数	23,734	5,838	17,896	2,154	5,318	995
定員充足率	65.1%	57.2%	68.1%	78.7%	62.2%	55.9%

	実践コース					
	介護福祉	農林業	旅行・観光	デザイン	理美容	その他
認定コース数	324	8	4	260	180	170
認定定員	5,251	96	73	4,770	2,888	2,588
開講コース数	227	7	3	249	155	148
中止率	29.9%	12.5%	25.0%	4.2%	13.9%	12.9%
開講定員	3,677	87	51	4,568	2,514	2,305
受講申込者数	2,745	60	18	7,300	2,187	2,390
応募倍率	0.75	0.69	0.35	1.60	0.87	1.04
受講者数	2,202	55	15	3,873	1,712	1,572
定員充足率	59.9%	63.2%	29.4%	84.8%	68.1%	68.2%

就職状況 (令和2年度コース別／分野別 (実践コース))

	コース数	受講者数	就職理由以外 の中退者数	①就職理由 中退者数	②修了者数	③訓練連続 受講者数	④ 修了者等数 (①+②-③)	⑤就職者数	就職率 (⑤/④)	(参考) 従前の 就職率
基礎コース	508	4,127	443	248	3,436	179	3,505 (3,369)	1,766 (1,724)	51.2%	69.2%
実践コース	1,176	12,054	1,681	902	9,429	-	10,331 (10,140)	6,025 (5,968)	58.9%	74.3%
IT	120	1,403	254	141	990	-	1,131 (1,124)	620 (620)	55.2%	69.1%
営業・販売 ・事務	413	3,762	411	347	3,004	-	3,351 (3,287)	1,822 (1,810)	55.1%	69.7%
医療事務	85	754	65	45	644	-	689 (685)	457 (457)	66.7%	78.7%
介護福祉	158	1,373	122	11	1,240	-	1,251 (1,177)	907 (868)	73.7%	85.0%
デザイン	180	2,485	458	210	1,817	-	2,027 (2,016)	1,132 (1,129)	56.0%	73.9%
理容・美容	107	1,107	182	46	855	-	901 (898)	542 (542)	60.4%	82.0%
その他	113	1,170	189	102	879	-	981 (953)	545 (542)	56.9%	73.5%

令和元年度	
就職率	従前の 就職率
56.5%	72.9%
62.4%	78.4%
62.3%	74.6%
59.8%	74.5%
64.8%	81.5%
73.3%	87.2%
60.2%	78.0%
64.3%	84.9%
62.3%	79.5%

※ 令和2年12月末までに終了したコースについて集計。

※ 就職率については、以下の算定式(ただし、式の分母分子から訓練終了日において65歳以上の者を除く。)により算出。

⑤就職者数(雇用保険適用) ÷ ④修了者等数 (①就職理由中退者+②訓練修了者-③次の訓練を受講する者(基礎コースのみ))

(表中の()内の数値は、訓練終了日において65歳以上の者を除いた数であり、これに基づき就職率を算出。)

※ 「従前の就職率」とは、雇用保険適用でない就職者を含む就職率をいう。

年齢階層及び男女比率 (令和2年度コース別／分野別 (実践コース))

	年齢階層	20歳未満	20歳 ～24歳	25歳 ～29歳	30歳 ～34歳	35歳 ～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳以上	合計	男性	女性
合計	受講者数	487人	2,819人	3,584人	3,240人	2,678人	2,625人	2,818人	2,357人	1,620人	1,064人	442人	23,734人	6,584人	17,150人
	割合	2.1%	11.9%	15.1%	13.7%	11.3%	11.1%	11.9%	9.9%	6.8%	4.5%	1.9%	100.0%	27.7%	72.3%
基礎コース	受講者数	152人	565人	527人	559人	560人	666人	815人	750人	617人	443人	184人	5,838人	1,462人	4,376人
	割合	2.6%	9.7%	9.0%	9.6%	9.6%	11.4%	14.0%	12.8%	10.6%	7.6%	3.2%	100.0%	25.0%	75.0%
実践コース	受講者数	335人	2,254人	3,057人	2,681人	2,118人	1,959人	2,003人	1,607人	1,003人	621人	258人	17,896人	5,122人	12,774人
	割合	1.9%	12.6%	17.1%	15.0%	11.8%	10.9%	11.2%	9.0%	5.6%	3.5%	1.4%	100.0%	28.6%	71.4%
IT	受講者数	37人	367人	538人	480人	277人	162人	143人	76人	43人	26人	5人	2,154人	1,389人	765人
	割合	1.7%	17.0%	25.0%	22.3%	12.9%	7.5%	6.6%	3.5%	2.0%	1.2%	0.2%	100.0%	64.5%	35.5%
営業・販売 ・事務	受講者数	73人	420人	631人	669人	629人	714人	758人	654人	421人	243人	106人	5,318人	1,226人	4,092人
	割合	1.4%	7.9%	11.9%	12.6%	11.8%	13.4%	14.3%	12.3%	7.9%	4.6%	2.0%	100.0%	23.1%	76.9%
医療事務	受講者数	30人	140人	146人	135人	125人	152人	132人	87人	35人	10人	3人	995人	29人	966人
	割合	3.0%	14.1%	14.7%	13.6%	12.6%	15.3%	13.3%	8.7%	3.5%	1.0%	0.3%	100.0%	2.9%	97.1%
介護福祉	受講者数	45人	146人	143人	192人	204人	256人	356人	332人	250人	195人	83人	2,202人	812人	1,390人
	割合	2.0%	6.6%	6.5%	8.7%	9.3%	11.6%	16.2%	15.1%	11.4%	8.9%	3.8%	100.0%	36.9%	63.1%
デザイン	受講者数	41人	662人	1,029人	750人	516人	320人	249人	168人	94人	32人	12人	3,873人	1,112人	2,761人
	割合	1.1%	17.1%	26.6%	19.4%	13.3%	8.3%	6.4%	4.3%	2.4%	0.8%	0.3%	100.0%	28.7%	71.3%
理美容	受講者数	100人	361人	355人	257人	167人	167人	134人	100人	43人	22人	6人	1,712人	8人	1,704人
	割合	5.8%	21.1%	20.7%	15.0%	9.8%	9.8%	7.8%	5.8%	2.5%	1.3%	0.4%	100.0%	0.5%	99.5%
その他	受講者数	9人	158人	215人	198人	200人	188人	231人	190人	117人	93人	43人	1,642人	546人	1,096人
	割合	0.5%	9.6%	13.1%	12.1%	12.2%	11.4%	14.1%	11.6%	7.1%	5.7%	2.6%	100.0%	33.3%	66.7%

オンライン訓練の実施状況

	設定コース数	受講者数
令和2年度	1	9
令和3年度	27	228

(注1) 令和3年度は令和3年7月末までに開始したコースの実績。

(注2) 令和3年2月から、同時双方向型の実施を可能とした。

(コース例)

Webプログラマー養成科、グラフィックデザイン科、ビジネスパソコン応用科、
パソコン・簿記経理科、Webマーケティング科 等

特例措置の実施状況（令和3年度）

	設定コース数		設定定員数		受講者数	
介護コース	116	100.0%	1,943	100.0%	761	100.0%
うち介護パッケージ	49	42.2%	874	45.0%	424	55.7%
短期間・短時間コース	165	100.0%	2,589	100.0%	789	100.0%
短期間・短時間	84	50.9%	1,266	48.9%	320	40.6%
短期間	40	24.2%	594	22.9%	218	27.6%
短時間	41	24.8%	729	28.2%	251	31.8%
短期間コース内訳	124	100.0%	1,860	100.0%	538	100.0%
2週間以上1か月未満	25	20.2%	340	18.3%	79	14.7%
1か月以上2か月未満	29	23.4%	413	22.2%	92	17.1%
2か月以上3か月未満	70	56.5%	1,107	59.5%	367	68.2%
短時間コース内訳	125	100.0%	1,995	100.0%	571	100.0%
60時間以上80時間未満	99	79.2%	1,594	79.9%	468	82.0%
80時間以上100時間未満	26	20.8%	401	20.1%	103	18.0%

※ 令和3年7月末までに開始したコースの実績。

令和 4 年度全国職業訓練実施計画の策定に当たっての方針（案）

	令和 3 年度全国職業訓練計画	令和 4 年度計画に向けた議論のためのたたき台
1 公共職業訓練（離職者訓練）		
① 対象者数・就職率目標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内訓練：24,000 人（うち日本版デュアルシステム 2,000 人） ・委託訓練：135,287 人（うち長期高度人材育成コース 9,000 人、日本版デュアルシステム 4,000 人） ・就職率目標：施設内訓練 80%、委託訓練 75% 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内訓練：24,000 人（うち日本版デュアルシステム 2,000 人） ・委託訓練：<u>121,169 人</u>（うち長期高度人材育成コース <u>6,800 人</u>、日本版デュアルシステム 4,000 人） ・就職率目標：施設内訓練 80%、委託訓練 75%
② 訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・離職者訓練については、地域における離職者等の多様な就業ニーズ及び企業の人材ニーズに応じた支援を実施。 ・施設内訓練として実施する職業訓練については、民間教育訓練機関では実施できない「ものづくり分野」において実施。 ・ものづくり分野の IoT 技術等第 4 次産業革命の進展に対応した職業訓練を実施。 ・雇用のセーフティーネットとして、母子家庭の母等のひとり親、刑務所出所者、定住外国人等特別な配慮や支援を必要とする求職者に対して、それぞれの特性に応じた職業訓練を実施。 ・出産・育児を理由とする離職者については、育児と職業訓練の両立を支援するため、短時間の訓練コース及び託児サービス付き訓練コースの設定を推進。 ・多様な民間教育訓練機関を活用し、育児中の女性等のリカレント教育に資する職業訓練を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・同左 ・同左 ・同左 ・同左 ・同左

	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで能力開発機会に恵まれなかった非正規雇用労働者を対象として、国家資格の取得等により、正社員就職に導くことができる長期の訓練コースの実施を推進。 ・社会人が標準的に装備しておくべき IT 理解・活用力を習得する訓練コースの実施を推進。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により人材確保がより困難となっている介護分野の訓練コースや、シフトが減少したシフト制で働く方などが、仕事と訓練の受講を両立しやすいよう、短期間・短時間の訓練コースの実施を推進。 ・このほか、地域レベルのコンソーシアムにより開発したコースの設定を促進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・<u>デジタル化の進展に対応するため、IT 分野の訓練コースの実施を推進。</u> ・同左 ・同左 ・同左
<p>③ 効果的な訓練実施のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業界及び地域の人材ニーズを把握し、訓練科を見直す。 ・訓練科の定員の充足状況や修了者の就職実績が低調なものについては、原因の把握及び分析を行った上で、訓練内容等の見直しを図る。 ・公共職業安定所との連携強化の下、ジョブ・カードを活用したキャリア・コンサルティング、求人情報の提供等の計画的な就職支援を実施。 ・訓練修了時点で就職が決まらない可能性のある受講生に対しては、訓練修了前から公共職業安定所に誘導するなど就職支援の徹底を図る。 ・委託訓練については、就職実績に応じた委託費を支給するほか、都道府県労働局、地方公共団体、労使団体等関係機関の協働により、産業界や地域の人材ニーズに即し 	<p>同左</p>

	た訓練カリキュラムの開発・検証等を推進することにより、就職率の向上を図る。	
2 公共職業訓練（在職者訓練）		
① 対象者数	<ul style="list-style-type: none"> ・在職者訓練：64,000人 ・生産性向上訓練：39,500人 	<ul style="list-style-type: none"> ・在職者訓練：64,000人 ・生産性向上訓練：<u>41,500人</u>
② 訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・産業構造の変化、技術進歩等による業務の変化に対応する高度な技能及びこれに関する知識を習得させるに真に高度な訓練であって、都道府県等又は民間教育訓練機関において実施することが困難なものを実施。 ・IoT技術等第4次産業革命に対応した職業訓練を実施。 ・全国の能開法第15条の7第1項第4号に基づく職業能力開発促進センター等に設置した「生産性向上人材育成支援センター」による在職者訓練のコーディネートや生産性向上に必要な生産管理、ネットワークやデータ処理等のIT利活用による業務改善や情報セキュリティ対策等を習得するための事業主支援等を行い、民間人材等を活用した在職者向けの訓練を拡充することにより、中小企業等の労働生産性向上に向けた人材育成を支援。 ・70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢者に対する訓練を実施。 	同左
③ 効果的な訓練実施のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中小企業事業主等の人材ニーズ等を把握した上で、ニーズに即した訓練科、実施方法により、訓練を実施。 	同左

3 公共職業訓練（学卒者訓練）		
① 対象者数	・ 5,800 人（うち専門課程 4,000 人（うち日本版デュアルシステム 200 人）、応用課程 1,700 人、普通課程 100 人）	・ 5,800 人（うち専門課程 4,000 人（うち日本版デュアルシステム 200 人）、応用課程 1,700 人、普通課程 100 人）
② 訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり現場の戦力となる高度な実践技能者を育成するための訓練を実施。 ・第4次産業革命の進展に対応するため、特に、ロボット技術を活用した生産システムの構築、運用管理等ができる人材を養成するための職業訓練を実施。 	同左
③ 効果的な訓練実施のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・産業界及び地域の人材ニーズを把握し、訓練科を見直す。 ・訓練科の定員の充足状況や修了者の就職実績が低調なものについては、原因の把握及び分析を行った上で、訓練内容等の見直しを図る。 ・低所得世帯の者に対し、経済的負担を軽減することにより、職業に必要な技能・技術・知識を習得する機会の強化を図るため、支援措置を実施。 	同左
4 公共職業訓練（障害者訓練）		
① 対象者数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6,730 人（うち委託訓練 3,800 人） ・ 就職率目標：施設内訓練 70%、委託訓練 55% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6,730 人（うち委託訓練 3,800 人） ・ 就職率目標：施設内訓練 70%、委託訓練 55%
② 訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者を始めとする職業訓練上特別な支援を要する障害者を障害者職業能力開発校において重点的に受け入れる。 ・民間企業等に対して委託する障害者委託訓練の設定については、就職に結びつきやすい実践能力習得訓練コースに重点を置き、精神障害者向けの訓練コース設定を促進しつつ、委託元である都道府県が関係機関と連携を図 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同左 ・ 民間企業等に対して委託する障害者委託訓練の設定については、就職に結びつきやすい実践能力習得訓練コースの訓練期間の柔軟化や委託先開拓業務等の外部委託の活用等により、精神障害者向けの訓練コース設定を促進し

	<p>り、対象となる障害者の確保、法定雇用率が未達成である企業や障害者の雇用の経験の乏しい企業を含めた委託先の新規開拓に取り組む。また、障害者委託訓練のうち知識・技能習得訓練コースにおいて就職した場合の経費の追加支給を実施するなど、訓練内容や就職支援の充実を図りながら、引き続き推進するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の職業能力開発校において、精神保健福祉士等の配置、精神障害者等の受入れに係るノウハウ普及・対応力強化に取り組むことにより、精神障害者等を受け入れるための体制整備に努める。 	<p>つつ、委託元である都道府県が関係機関と連携を図り、対象となる障害者の確保、法定雇用率が未達成である企業や障害者の雇用の経験の乏しい企業を含めた委託先の新規開拓に取り組む。また、障害者委託訓練のうち知識・技能習得訓練コースにおいて、<u>職場実習機会を付与した場合</u>や就職した場合の経費の追加支給を実施するなど、訓練内容や就職支援の充実を図りながら、引き続き推進するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同左
<p>③ 効果的な訓練実施のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就業ニーズ及び企業の人材ニーズを踏まえ、訓練科を見直す。 ・訓練科の定員の充足状況や修了者の就職実績が低調なものについては、原因の把握及び分析を行った上で、訓練内容等の見直しを図る。 ・「職業能力開発施設における障害者職業訓練の在り方について」（障害者職業能力開発校の在り方に関する検討会報告書）の実現に向けた取組を推進する。 	<p>同左</p>
<p>5 求職者支援訓練</p>		
<p>① 訓練規模・就職率目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・50,582人に訓練機会を提供するため、訓練認定規模87,210人を上限とする。 ・認定定員のうち、5,000人については、デジタル分野において設定する。 ・雇用保険適用就職率目標：基礎コース58%、実践コース63% 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>52,400人</u>に訓練機会を提供するため、訓練認定規模<u>87,333人</u>を上限とする。 ・同左 ・同左

	※平成 26 年 4 月に開講した職業訓練コースから雇用保険適用就職率を目標設定に用いている。			
② 基礎と実践の割合	基礎コース 50%程度 ・ 実践コース 50%程度	基礎コース 40%程度 ・ 実践コース 60%程度		
③ 実践コースの重点（全国共通分野）	<p>実践コース 訓練認定規模の 50%</p> <p>うち全国共通分野</p> <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: none;"> <p>介護系</p> <p>医療事務系</p> <p>情報系</p> </td> <td style="border: none; padding-left: 10px;"> <p>3 分野の割合は、地域の実情に応じて次の範囲で設定。</p> <p>【下限】 介護： 20%程度、医療事務：5%程度、情報：10%程度</p> </td> </tr> </table>	<p>介護系</p> <p>医療事務系</p> <p>情報系</p>	<p>3 分野の割合は、地域の実情に応じて次の範囲で設定。</p> <p>【下限】 介護： 20%程度、医療事務：5%程度、情報：10%程度</p>	同左
<p>介護系</p> <p>医療事務系</p> <p>情報系</p>	<p>3 分野の割合は、地域の実情に応じて次の範囲で設定。</p> <p>【下限】 介護： 20%程度、医療事務：5%程度、情報：10%程度</p>			
④ 新規参入の上限	<p>基礎コース 上限値 30%</p> <p>実践コース 上限値 30%</p> <p>※新規枠は必ず設定し、かつ、上に掲げた値を超えてはならないが、ある認定単位期間で実績枠に余剰定員が発生した場合は、枠の活用のために同一認定単位期間内で、新規枠へ振り替えることも可能とする。</p>	同左		
⑤ 地域ニーズ枠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎又は実践コースで少なくとも 1 訓練コース分を設定 ・ 特定の訓練分野、特定の対象者又は特定の地域について設定 ・ 都道府県の訓練認定規模の 20%以内 	同左		
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル分野等の成長分野や新型コロナウイルス感染症の影響等により人材確保がより困難となっている介護等の分野・職種に重点を置くとともに、地域における産業の動向及び求人ニーズを踏まえる。 ・ 育児中の女性等で再就職を目指す者、東日本大震災の 	同左		

	<p>被災者、未就職のまま卒業することとなった新規学卒者、コミュニケーション能力等の課題を有する生活困窮者、さらには短時間労働者等の不安定就労者、就職氷河期世代の者のうち不安定な就労に就いている者や無業状態の者など、対象者の特性・訓練ニーズに応じた職業訓練の設定にも努める。</p> <ul style="list-style-type: none">・特に出産・育児を理由とする離職者については、育児と職業訓練の両立を支援するため、短時間の訓練コース及び託児サービス付き訓練コースの設定を推進する。	
--	--	--

職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律施行規則の一部を改正する省令の概要

育児や就業等の事情により決まった日時に職業訓練を受講することが困難な者が職業訓練を受けやすくするため、認定職業訓練の実践コースにおいて、eラーニングコース(実施日が特定されていない科目を含む職業訓練をいう。以下同じ。)を実施すること等を可能とする。

eラーニングコース以外の実践コース

訓練の認定基準

- (1) 訓練の対象者
特定求職者であって公共職業安定所長の指示をうけたもの等(特定求職者等)であること。
- (2) 訓練期間及び訓練時間
訓練期間は原則として3月以上6月以下、訓練時間は原則として月100時間以上かつ1日当たり5時間以上6時間以下であること。
- (3) 欠格の基準となる就職率 35%

認定職業訓練実施奨励金の支給基準

- (1) 受講要件
訓練実施日の8割以上とする。
- (2) 28日未満の支給単位期間
訓練実施日数に日額単価を乗じた額等の奨励金を支給する。
- (3) 付加奨励金の支給基準
就職率が35%以上60%未満 修了者1人当たり月1万円
就職率が60%以上 修了者1人当たり月2万円

eラーニングコース

育児中など特に配慮を必要とする特定求職者等であって、厚生労働省人材開発統括官が定めるもの(※)であること。

(※)①育児・介護中の者、②通所可能な範囲に訓練実施機関がない者、③在職中の者等、特に配慮を必要とする者(対象者については、業務取扱要領において規定。③は令和4年度末までの暫定措置)。

訓練期間は2月以上6月以下、訓練時間は月80時間以上(令和4年度末までは月60時間以上)であること。

(注)eラーニングコースではない実践コースについても、育児・介護中等の特定求職者等については、訓練期間を2月以上6月以下とする。

訓練期間が2月以上3月未満又は訓練時間が月60時間以上80時間未満であるものに限り、
欠格の基準となる就職率 30%

(注)令和4年度末までの暫定措置。

訓練実施機関が定める時間数の8割以上とする。

土日祝日を除いた支給単位期間の日数に日額単価を乗じた額等の奨励金を支給する。

訓練期間が2月以上3月未満又は訓練時間が月60時間以上80時間未満であるものに限り、
就職率が30%以上55%未満 修了者1人当たり月1万円
就職率が55%以上 修了者1人当たり月2万円

(注)付加奨励金の支給基準については、令和4年度末までの暫定措置。

(利用者目線に立った積極的な周知・広報)

- 厚生労働省ホームページのリニューアル
- 求職者支援制度のわかりやすいリーフレットの作成、周知
- 各分野の訓練コースについて、訓練内容のほか、訓練修了生の声・就職先・就職率等を盛り込んだリーフレットの作成、周知
- 上記のリーフレットを活用したハローワークでの制度活用の働きかけ

(政府広報を活用した周知・広報)

- バナー広告などを活用した周知、広報
- 動画を活用した制度の分かりやすい解説による周知、広報

(生活困窮者の支援機関等と連携した周知・広報)

- 社会福祉協議会、自立相談支援機関での、ハローワーク職員による出張相談、説明会などの実施
- 社会福祉協議会、自立相談支援機関のホームページへの周知用バナーの掲載（協力依頼）
- 地域若者サポートステーションのホームページへの周知用バナーの掲載や制度情報のSNSによる発信（協力依頼）

(SNSを活用したプッシュ型広報の強化)

- 厚生労働省のSNS、首相官邸メルマガなどによる制度情報の定期的な発信
- 厚生労働省、労働局、ハローワークのSNSによる、訓練コースの募集開始情報などの発信

(民間サイト、雑誌などによる周知、広報)

- 民間求人サイト、求人情報誌などに周知用バナーや制度情報などを掲載（協力依頼）

(各種バナー)

(厚生労働省ホームページ)

スマートフォンで見やすいようにリニューアル



(求職者支援制度リーフレット)

再就職や転職を目指す皆さまへ

求職者支援制度のご案内

月10万円
給付金

+

無料の
職業訓練

+

就職
サポート

■ 求職者支援制度とは？

- 求職者支援制度は、再就職や転職を目指す求職者の方が、月10万円の生活支援の給付金を受給しながら、無料の職業訓練を受講する制度です。
- 訓練開始前から、訓練期間中、訓練終了後まで、ハローワークが求職活動をサポートします。
- 離職して雇用保険を受給できない方、収入が一定額以下の在職者の方などが、給付金を受給しながら訓練を受講できます。
- 給付金の支給要件を満たさない場合であっても、無料の職業訓練を受講できます。(テキスト代などは自己負担)

■ 主な対象者の方は？

給付金を受けて訓練を受講する方	
離職者	雇用保険の適用がなかった離職者の方 フリーランス・自営業を職業とした方 雇用保険の受給が終了した方など
在職者	一定額以下の収入のパートタイムで働きながら、正社員への転職を目指す方など
給付金を受給せずに訓練を受講する方（無料の訓練のみ受講する方）	
離職者	親や配偶者と同居していて一定の世帯収入がある方など (親と同居している学卒未就職の方など)
在職者	働いていて一定の収入のある方など（フリーランスで働きながら、正社員への転職を目指す方など）

厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク

(デジタル分野の訓練リーフレット)

就職につながる

「デジタル分野の職業訓練（求職者支援訓練）」を受講しませんか

事務、WEBデザイン、プログラミングなど
就職活動に生かせる様々な訓練コースがあります

受講料無料

初期 Yok
就職支援充実

受講後、活躍する女性が増えています！



未経験者でも大丈夫

他業種からの転職も

託児サービス付のコースも

女性受講率 (前) 令和元年度 **72.9%**

女性就職率 (前) 令和元年度 **79.2%**

※デジタル分野を含む全てのコースの実績

訓練修了生の声

- 自宅にパソコンがなく、訓練を受けるまでほとんどパソコンを触ったことがありませんでしたが、訓練で学んだ書類の作成方法やデータの入り方などを活かして、OA事務員として就業しています。(パソコン基礎系 訓練修了生)
- 以前は飲食店で接客業をしていましたが、パソコンのスキルを身につけてIT関係の仕事をしたかったため、求職者支援訓練を受講しました。訓練で実務に必要な知識を学び、通級生へ就職することができました。今はホームページのデザインなどの業務を行っています。(WEBデザイン系 訓練修了生)
- 子供を安心して施設に預けられて、訓練に集中することができました。(託児サービス利用 訓練修了生)

■ 受講の申し込みはハローワークへ！

- 要件を満たした場合、求職者支援制度の生活支援の給付金（月10万円）を受けながら、訓練を受講することができます。
- 訓練開始前から、訓練期間中、訓練終了後まで、ハローワークが求職活動をサポートします。
- 受講料はテキスト代などの実費を除き無料です。
- 受講者の方、お一人につき一台、パソコンを貸出しています。
- デジタル分野等の雇用資格等の取得を目指すひとり親の方には、要件を満たした場合、高等職業訓練促進給付金を支給します。詳しくは、お住まいの都道府県・市区町村にご相談ください。

LL030414開創10

(介護分野の訓練リーフレット)

就職につながる

「介護分野の職業訓練（求職者支援訓練）」を受講しませんか

介護・生活援助など就職活動に生かせる様々な訓練コースがあります

受講料無料

初期 Yok
就職支援充実
就職に役立つ資格取得

就業率 **73.3%**

男女別受講割合 **男性 39%**
女性 61%

年齢別受講割合 **10～20歳代 14%**
30～40歳代 46%
50～60歳代 40%

訓練修了生の声

- 通常より短い期間での訓練でしたが、知識・技術に関する基礎、基本を工夫して教えていただきました。新型コロナウイルスの影響で、訓練が中断してしまいましたが、10代～50代の幅広い年齢層の受講生仲間と恵まれてお蔭で、相互の励ましあいにより乗り越えることができました。(介護職員養成科 訓練期間3か月) 修了生)
- 新型コロナウイルスの影響で予定していた転職が白紙となり、困っていた時に求職者支援訓練を知りました。6か月も期から働けなくて困っていたけれど訓練で学んだ仕事内容ややり方を活かして、新しい仕事に就くことができました。また、訓練で学んでいく中で、要件を満たす場合、高等職業訓練促進給付金を支給しますが、お住まいの都道府県・市区町村にご相談ください。
- 介護福祉士人材育成短期就労制 (訓練期間2か月) 修了生)

■ 受講の申し込みはハローワークへ！

- 要件を満たした場合、求職者支援制度の生活支援の給付金（月10万円）を受けながら、訓練を受講することができます。
- 訓練開始前から、訓練期間中、訓練終了後まで、ハローワークが求職活動をサポートします。
- ※ 訓練コース例などは裏面をご覧ください。
- 受講料はテキスト代などの実費を除き無料です。
- 介護分野等の資格の取得を目指すひとり親の方には、要件を満たした場合、高等職業訓練促進給付金を支給します。
- 介護福祉士人材育成短期就労制 (訓練期間2か月) 修了生)
- 介護福祉士人材育成短期就労制 (訓練期間2か月) 修了生)

LL030414開創10

■ 制度活用の主な要件

(訓練受講の要件)

- ハローワークに求職の申込みをしていること
- 雇用保険被保険者や雇用保険受給資格者でないこと
- 労働の意思と能力があること
- 職業訓練などの受講を行う必要があるとハローワークが認めたこと

(給付金の支給要件)

- 本人収入が毎月8万円以下 (パート制で働く方は月12万円以下 (令和4年3月までの特例))
- 世帯全体の収入が月25万円以下
- 世帯全体の金融資産が300万円以下
- 現在住んでいるところ以外に土地・建物を所有していない
- 全ての訓練実施日に出席する (やむを得ない理由がある場合も、8割以上出席する)
- 世帯の中で同時にこの給付金を受給して訓練を受けている者がいない
- 過去3年以内に、偽りその他の不正の行為により、特定の給付金の支給を受けていない

■ 主な訓練コース（求職者支援訓練）

名称	ビジネスパソコン科、オフィスワーク科など
IT	WEBアプリ開発科、Android/JAVAプログラマー育成科など
営業・販売・事務	OA総務事務科、営業販売科など
医療事務	医療・介護事務科、調剤事務科など
IT関連	IT関連業務研修科、保育スタッフ養成科など
デザイナー	広告・DTPクリエイター科一級、WEBデザイナー科など
その他	3次元CAD活用科、ネイル士養成科など

- 訓練期間は2か月から6か月 (※)
- ※ パート制で働く方を対象とした訓練コースは2週間から (令和3年度までの特例)
- 上記の訓練のほか、訓練期間がより長い公共職業訓練 (最長2年) も受講できます

【修了者の声】

介護職が初めての不安もありましたが、経験豊富な講師の授業や理解が深まり、介護職に挑戦を覚悟が高まりました

簿記の資格を取得することができました。面接や書類審査の準備のおかげで就職活動に意欲的に取り組めました

給付金ももらえるための生活を心掛けて訓練を受けてきました

求職者支援制度の申し込みは、ハローワークで受け付けています。まずは、住所の近くのハローワークにご相談ください。

【所在地・連絡先】



【制度の詳細】



【制度の紹介動画】



(デジタル分野の訓練リーフレット)

デジタル分野 訓練コース例

- デジタル分野以外にも、接客・美容関連分野や介護・医療福祉分野など、希望職種に応じた様々な訓練コースがあります。
- 育児等と両立しやすい、訓練期間が1か月未満や、1日の訓練時間が3時間程度の短期・短時間特別訓練コースもあります。
- 託児サービスの利用可能なコースもあります。
- オンラインによる受講が可能なコースもあります。

コース	事務系コース
内容	・オフィスワーク基礎科 ・ビジネスアプリケーション基礎科 ・OA事務 (表計算ソフト) 科 など
取得できる資格	日経IT検定 MOG コンピュータサービス技能評価試験 など
就職先	調剤薬局の事務、情報処理企業の秘書、法律事務所や税理士事務所の受付 など
コース	WEBデザイン系コース
内容	・WEBデザイナー養成科 ・WEBクリエイター養成科 など
取得できる資格	HTMLコーディング、CSSコーディング、JavaScriptプログラミングなど、WEBデザインの制作に必要な知識や技術を習得し、WEBの企画、制作、デザインの基本作業ができることを目指します。
就職先	Illustratorクリエイター能力認定試験スタンダード WEBクリエイター能力認定試験レポート など オンラインショップ運営会社、スマートフォンアプリ開発会社、WEB制作会社 など
コース	プログラミング系コース
内容	・WEBアプリケーションプログラマー養成科 ・スマートフォンアプリケーションプログラマー養成 (Java言語) 科 ・ウェブプログラマー養成 (Python言語) 科 ・ネットワークエンジニア科 など
取得できる資格	ハードウェア、ソフトウェア、プログラミング言語などの知識を学びます。ソフトウェアの構造設計や、基本設計に基づいたソフトウェアの開発ができることを目指します。
就職先	Javaプログラミング能力認定 Oracle Certified Java Programmer 基本情報技術者試験 など WEB開発会社、ソフトウェア開発会社、ソーシャルゲーム会社 など

介護の仕事に資格は必要？

特別な資格をもっていないでも、介護分野で働くことはできますが、より良い介護サービスを提供するため、介護の知識や技術を身に付けた人へ希望する介護施設や事業所が増えています。介護施設や事業所によっては、給与面プラスになる場合もあります。

訓練コース例

- **介護職員初任者養成科 (介護職員初任者研修コース)**
「介護職員初任者研修」とは、介護の仕事をするうえで、必要となる知識や技術を身に付けるための研修です。なお、介護職員初任者研修修了者は、介護福祉士業務研修を受ける際に、一部科目が免除となります。
- **介護実務者養成科 (介護福祉士実務者研修コース)**
「介護福祉士実務者研修」とは、介護職員初任者研修修了者に対して、より実践的な知識・技術を学ぶ研修です。なお、介護福祉士実務者研修修了者には、介護福祉士国家資格の受験資格が得られます。
- **生活援助従事者養成科 (生活援助従事者研修コース)**
「生活援助従事者研修」とは、訪問介護員の職務のうち、生活援助サービス (掃除・洗濯・調理など) について学ぶ研修です。
※ 「介護職員初任者・実務者研修」が、身体介護 (移動・排泄・食事などの介助) や生活援助 (掃除・洗濯・調理など) など、介護分野で働く方全般に向けた内容であるのに対し、「生活援助従事者研修」は、訪問介護職の業務のうち、生活援助 (掃除・洗濯・調理など) について学びます。

内容

施設介護員として 医療施設、福祉施設、老人福祉施設等において入浴者と通所者に対する入浴、排泄、食事等の介護 (必要な知識・技術に加えて、訪問介護による食事・洗濯・炊事、買い物などの日常生活の自立支援に必要な知識、技術を学びます。

取得できる資格

介護職員初任者研修
介護福祉士実務者研修
生活援助従事者研修

就職先

医療施設、福祉施設、老人福祉施設

就職先での主な職務・仕事内容

訪問介護職	施設介護員
介護認定を受けている個人の家庭を訪問し、入浴・排泄・食事などの身の世話を、食事・洗濯、炊事・買い物などの日常生活の自立支援をする仕事に従事します。	医療施設、福祉施設、老人福祉施設等において、入浴者及び通所者に対する入浴、排泄、食事等の介護をする仕事に従事します。

● 介護分野以外にも、デジタル分野や医療福祉分野など、希望職種に応じた様々な訓練コースがあります。

● 育児等と両立しやすい、訓練期間が1か月未満や、1日の訓練時間が3時間程度の短期・短時間特別訓練コースもあります。

● 託児サービスの利用可能なコースもあります。

● 訓練実施施設の見学可能なコースもあります。

● 受講者の方の職業希望 (特別訓練コース)、グループワーク、ディサービス、ショートステイ、訪問介護など) に沿った、職場見学、職場体験、企業実習可能な訓練コースもあります。

【参考資料2】

大阪労働市場ニュース（令和3年8月分）

令和3年10月26日（火）

大阪府地域訓練協議会

大阪労働局発表
令和3年9月30日(木)

【照会先】
大阪労働局職業安定部職業安定課
(電話) 06-4790-6300

大阪労働市場ニュース(令和3年8月分)

「現下の雇用失業情勢は、求人が底堅く推移する中、求職者が引き続き高水準にあり、厳しさがみられる。」

○有効求人倍率(季節調整値)の状況

- 有効求人倍率(季節調整値) **1.10倍** 前月より0.04ポイント低下(2か月連続の低下)
- 有効求人数(季節調整値) **182,421人** 前月と同水準
- 有効求職者数(季節調整値) **165,253人** 前月より3.8%増加(2か月連続の増加)

・就業地別有効求人倍率(季節調整値) **0.92倍** 前月より0.02ポイント低下(2か月連続の低下)
※公表値としては、集計開始以降、継続的に「受理地別」(求人票を受理したハローワークの所在地で求人数を集計)を使用。「就業地別」は、求人票に記載された就業場所をもとに、実際に就業する就業地で求人数を集計し、算出したもの。

○新規求人・求職の状況

- 新規求人倍率(季節調整値) **2.19倍** 前月より0.27ポイント上昇(3か月ぶりの上昇)
- 新規求人数(原数値) **64,225人** 前年同月より9.1%増加(2か月連続の増加)
- 新規求職申込件数(原数値) **27,554人** 前年同月より9.9%増加(2か月連続の増加)

- 新規求人数は2か月連続の増加。「生活関連サービス業、娯楽業」が3か月ぶり、「その他サービス業」が2か月ぶりに減少となった。一方、「建設業」(2か月連続)、「製造業」(5か月連続)、「情報通信業」(5か月連続)、「運輸業、郵便業」(4か月連続)、「卸売業、小売業」(2か月連続)、「学術研究、専門・技術サービス業」(6か月連続)、「宿泊業、飲食サービス業」(3か月ぶり)、「教育、学習支援業」(7か月連続)、医療、福祉(2か月連続)、においては増加となった。
- 新規求職申込件数は、2か月連続の増加となった。【P.5参照】

【近畿】有効求人倍率(季節調整値) **1.06倍** 前月より0.03ポイント低下(2か月連続の低下)

【全国】有効求人倍率(季節調整値) **1.14倍** 前月より0.01ポイント低下(4か月ぶりの低下)

◆令和3年度 マザーズ WEEK 開催! 大阪府内ハローワークで各種イベントを実施!

大阪労働局では、10~11月に「マザーズ WEEK」として、大阪マザーズハローワークをはじめ、大阪府内のハローワークで各種セミナー(仕事と家庭両立支援セミナー・メイクセミナー・オンラインセミナーetc)や会社説明会・就職面接会などコロナ禍に対応した様々なイベントを実施します。

◆フレッシュ★就職フェア2021 開催! 若年者を対象とした41社による就職面接会を開催!

<日 時> 令和3年10月14日(木) 13:20~17:00 <場 所> 阪急グランドビル 26F

<対 象> 令和4年3月卒業予定の大学(院)、短大等の学生・卒業後3年以内の既卒者・35歳未満の求職者

第1表 一般職業紹介状況

年 月 項 目		3年	3年	2年	対前年同月	対前月
		8月	7月	8月	増減率、差 (%、ポイント)	増減率、差 (%、ポイント)
全	1 月間有効求職者数 (人)	165,732	162,387	153,027	8.3	—
	季節調整値 (人)	165,253	159,250	153,800	—	3.8
	2 新規求職申込件数 (件)	27,554	30,575	25,070	9.9	—
	季節調整値 (件)	30,366	33,342	28,640	—	▲ 8.9
	3 月間有効求人数 (人)	178,754	174,737	170,942	4.6	—
	季節調整値 (人)	182,421	182,341	175,321	—	0.0
	4 新規求人数 (人)	64,225	60,316	58,880	9.1	—
	季節調整値 (人)	66,554	64,003	62,078	—	4.0
	5 就職件数 (件)	5,208	5,857	5,557	▲ 6.3	—
	6 有効求人倍率(3÷1) (倍)	1.08	1.08	1.12	▲ 0.04	—
	季節調整値 (倍)	1.10	1.14	1.14	—	▲ 0.04
	7 新規求人倍率(4÷2) (倍)	2.33	1.97	2.35	▲ 0.02	—
季節調整値 (倍)	2.19	1.92	2.17	—	0.27	
8 就職率(5÷2×100) (%)	18.9	19.2	22.2	▲ 3.3	—	
一 般	9 月間有効求職者数 (人)	104,847	102,810	100,386	4.4	—
	10 新規求職申込件数 (件)	17,885	19,600	16,865	6.0	—
	11 月間有効求人数 (人)	108,509	107,089	102,696	5.7	—
	12 新規求人数 (人)	36,368	36,758	33,976	7.0	—
	13 就職件数 (件)	2,666	2,895	2,850	▲ 6.5	—
	14 有効求人倍率(11÷9) (倍)	1.03	1.04	1.02	0.01	—
	15 新規求人倍率(12÷10) (倍)	2.03	1.88	2.01	0.02	—
	16 就職率(13÷10×100) (%)	14.9	14.8	16.9	▲ 2.0	—
パ ー ト	17 月間有効求職者数 (人)	60,885	59,577	52,641	15.7	—
	18 新規求職申込件数 (件)	9,669	10,975	8,205	17.8	—
	19 月間有効求人数 (人)	70,245	67,648	68,246	2.9	—
	20 新規求人数 (人)	27,857	23,558	24,904	11.9	—
	21 就職件数 (件)	2,542	2,962	2,707	▲ 6.1	—
	22 有効求人倍率(19÷17) (倍)	1.15	1.14	1.30	▲ 0.15	—
	23 新規求人倍率(20÷18) (倍)	2.88	2.15	3.04	▲ 0.16	—
	24 就職率(21÷18×100) (%)	26.3	27.0	33.0	▲ 6.7	—

(注) 1. パートタイム関係取扱数を含む。2. 新規学卒者を除く。3. 各数値は記載のない限り原数値。
 4. 季節調整値は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。(令和3年2月季節調整替えを行い、
 令和2年12月以前の数値は改訂済)。5. 一般は、パート以外の常用と臨時・季節を合わせたもの。

第2表 最近の雇用失業情勢

年 度 (年) 平均	大阪							近畿		全国	
	新規 求人数 (前年度比)	新規求職 申込件数 (前年度比)	新規 求人倍率 (前年度差)	有効 求人数 (前年度比)	有効 求職者数 (前年度比)	有効 求人倍率 (前年度差)	完全 失業率 (前年差)	有効 求人倍率 (前年度差)	完全 失業率 (前年差)	有効 求人倍率 (前年度差)	完全 失業率 (前年差)
	原数値	原数値	原数値	原数値	原数値	原数値	原数値	原数値	原数値	原数値	原数値
28年度	72,156 (6.3)	32,609 (▲ 6.5)	2.21 (0.26)	202,625 (7.4)	143,070 (▲ 6.3)	1.42 (0.18)	4.0 (▲ 0.2)	1.31 (0.16)	3.5 (▲ 0.3)	1.39 (0.16)	3.1 (▲ 0.3)
29年度	78,560 (8.9)	30,508 (▲ 6.4)	2.58 (0.37)	222,833 (10.0)	137,211 (▲ 4.1)	1.62 (0.20)	3.4 (▲ 0.6)	1.49 (0.18)	3.0 (▲ 0.5)	1.54 (0.15)	2.8 (▲ 0.3)
30年度	81,781 (4.1)	28,644 (▲ 6.1)	2.86 (0.28)	234,890 (5.4)	132,201 (▲ 3.7)	1.78 (0.16)	3.2 (▲ 0.2)	1.61 (0.12)	2.8 (▲ 0.2)	1.62 (0.08)	2.4 (▲ 0.4)
令和元年度	79,343 (▲ 3.0)	27,953 (▲ 2.4)	2.84 (▲ 0.02)	230,712 (▲ 1.8)	132,586 (0.3)	1.74 (▲ 0.04)	2.9 (▲ 0.3)	1.57 (▲ 0.04)	2.6 (▲ 0.2)	1.55 (▲ 0.07)	2.4 (0.0)
令和2年度	61,462 (▲ 22.5)	27,496 (▲ 1.6)	2.24 (▲ 0.60)	176,989 (▲ 23.3)	149,672 (12.9)	1.18 (▲ 0.56)	3.4 (0.5)	1.08 (▲ 0.49)	3.0 (0.4)	1.10 (▲ 0.45)	2.8 (0.4)
年 月	新規 求人数 (前月比)	新規求職 申込件数 (前月比)	新規 求人倍率 (前月差)	有効 求人数 (前月比)	有効 求職者数 (前月比)	有効 求人倍率 (前月差)	完全 失業率 (前年同期差)	有効 求人倍率 (前月差)	完全 失業率 (前年同月差)	有効 求人倍率 (前月差)	完全 失業率 (前月差)
	季節調整値	季節調整値	季節調整値	季節調整値	季節調整値	季節調整値	原数値	季節調整値	原数値	季節調整値	季節調整値
2年8月	62,078 (3.0)	28,640 (▲ 4.6)	2.17 (0.16)	175,321 (1.2)	153,800 (5.6)	1.14 (▲ 0.05)	3.9 (1.0)	1.04 (▲ 0.05)	3.2 (1.0)	1.05 (▲ 0.04)	3.0 (0.1)
9月	65,144 (4.9)	27,543 (▲ 3.8)	2.37 (0.20)	175,097 (▲ 0.1)	155,499 (1.1)	1.13 (▲ 0.01)		1.03 (▲ 0.01)	3.3 (0.6)	1.04 (▲ 0.01)	3.0 (0.0)
10月	55,256 (▲ 15.2)	27,527 (▲ 0.1)	2.01 (▲ 0.36)	175,261 (0.1)	157,353 (1.2)	1.11 (▲ 0.02)	(3.3) (0.5)	1.02 (▲ 0.01)	3.3 (0.7)	1.04 (0.00)	3.1 (0.1)
11月	63,116 (14.2)	26,807 (▲ 2.6)	2.35 (0.34)	177,177 (1.1)	158,602 (0.8)	1.12 (0.01)		1.02 (0.00)	2.9 (0.8)	1.05 (0.01)	3.0 (▲ 0.1)
12月	62,630 (▲ 0.8)	26,561 (▲ 0.9)	2.36 (0.01)	175,794 (▲ 0.8)	158,889 (0.2)	1.11 (▲ 0.01)	1.01 (▲ 0.01)	3.1 (0.9)	1.05 (0.00)	3.0 (0.0)	
3年1月	64,232 (2.6)	24,828 (▲ 6.5)	2.59 (0.23)	181,606 (3.3)	156,078 (▲ 1.8)	1.16 (0.05)	(3.9) (1.0)	1.05 (0.04)	3.2 (0.8)	1.10 (0.05)	2.9 (▲ 0.1)
2月	63,045 (▲ 1.8)	27,449 (10.6)	2.30 (▲ 0.29)	180,504 (▲ 0.6)	155,099 (▲ 0.6)	1.16 (0.00)		1.06 (0.01)	3.2 (0.5)	1.09 (▲ 0.01)	2.9 (0.0)
3月	64,579 (2.4)	28,227 (2.8)	2.29 (▲ 0.01)	180,960 (0.3)	158,561 (2.2)	1.14 (▲ 0.02)	(3.6) (0.3)	1.05 (▲ 0.01)	2.9 (▲ 0.2)	1.10 (0.01)	2.6 (▲ 0.3)
4月	59,009 (▲ 8.6)	27,992 (▲ 0.8)	2.11 (▲ 0.18)	179,330 (▲ 0.9)	162,818 (2.7)	1.10 (▲ 0.04)		1.04 (▲ 0.01)	3.3 (0.2)	1.09 (▲ 0.01)	2.8 (0.2)
5月	60,907 (3.2)	24,038 (▲ 14.1)	2.53 (0.42)	178,768 (▲ 0.3)	162,802 (0.0)	1.10 (0.00)	1.05 (0.01)	3.3 (0.4)	1.09 (0.00)	3.0 (0.2)	
6月	66,235 (8.7)	27,200 (13.2)	2.44 (▲ 0.09)	180,874 (1.2)	155,068 (▲ 4.8)	1.17 (0.07)	(3.6) (0.3)	1.10 (0.05)	3.4 (0.3)	1.13 (0.04)	2.9 (▲ 0.1)
7月	64,003 (▲ 3.4)	33,342 (22.6)	1.92 (▲ 0.52)	182,341 (0.8)	159,250 (2.7)	1.14 (▲ 0.03)		1.09 (▲ 0.01)	3.3 (0.1)	1.15 (0.02)	2.8 (▲ 0.1)
8月	66,554 (4.0)	30,366 (▲ 8.9)	2.19 (0.27)	182,421 (0.0)	165,253 (3.8)	1.10 (▲ 0.04)	— (—)	1.06 (▲ 0.03)	— (—)	1.14 (▲ 0.01)	— (—)

(注) 1. パートタイム関係取扱数を含む。2. 新規学卒者を除く。3. 季節調整値は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。令和3年2月に季節調整替えを行い、令和2年12月以前の数値を改訂済。
 4. 完全失業率の年度欄については年平均の数値。5. 大阪の完全失業率は3か月平均。
 6. 下段は前年(度)比(差)または前月(前年同(月)期)比(差)。7. 「—」の部分は、本資料作成時において未公表。
 ※完全失業率の資料出所：総務省統計局「労働力調査」、大阪府総務部統計課「労働力調査地方集計結果 大阪の就業状況」

第3-1表 新規求人の状況(主要産業別)

※新規求人数(原数値)は前年同月比9.1%増と、2か月連続の増加となった。

(単位:人,%)

産業計	2年					3年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
産業計	58,880 ▲28.0	65,093 ▲16.3	66,420 ▲27.7	61,032 ▲22.9	57,951 ▲20.7	66,763 ▲14.6	66,002 ▲14.2	64,340 ▲5.1	61,033 14.4	59,068 8.2	62,970 ▲2.5	60,316 3.1	64,225 9.1
建設業	4,574 ▲16.8	7,688 26.7	6,051 ▲8.2	4,901 ▲18.4	6,786 19.8	5,986 0.4	5,411 ▲4.5	7,090 21.5	5,623 33.0	5,208 16.9	7,309 ▲1.8	5,487 2.8	5,153 12.7
製造業	3,215 ▲46.6	4,478 ▲24.7	4,024 ▲37.9	3,451 ▲34.3	3,795 ▲20.3	4,121 ▲22.7	4,228 ▲17.5	4,648 ▲0.9	4,156 38.1	3,975 21.9	4,697 17.1	4,490 31.4	4,371 36.0
情報通信業	2,134 ▲31.6	2,181 ▲32.8	2,233 ▲41.5	2,274 ▲30.8	2,082 ▲30.2	2,326 ▲19.8	2,360 ▲18.7	2,511 ▲15.5	2,660 35.3	2,378 11.9	2,695 9.5	2,791 33.0	2,752 29.0
運輸業,郵便業	2,847 ▲48.5	4,263 ▲26.6	5,489 ▲30.0	3,217 ▲41.7	3,473 ▲37.2	5,050 ▲13.3	3,548 ▲30.0	4,043 ▲14.6	4,747 ▲0.7	3,023 2.5	4,071 3.0	4,795 3.0	3,286 15.4
卸売業,小売業	5,784 ▲43.0	6,831 ▲31.9	6,885 ▲33.1	6,394 ▲36.4	5,932 ▲33.6	6,940 ▲23.4	6,489 ▲29.7	6,799 ▲15.6	6,430 16.5	5,479 ▲9.6	6,217 ▲8.0	6,220 1.3	6,098 5.4
学術研究,専門・技術サービス業	1,814 ▲28.0	1,954 ▲28.4	1,871 ▲32.1	1,771 ▲33.6	1,828 ▲20.1	2,006 ▲19.8	1,954 ▲8.9	2,103 10.3	1,835 16.1	1,730 13.4	2,464 24.8	1,833 1.6	1,888 4.1
宿泊業,飲食サービス業	6,445 ▲31.0	4,638 ▲30.0	6,272 ▲35.5	6,228 ▲14.8	3,383 ▲54.1	6,374 ▲9.3	6,197 ▲22.1	4,380 ▲31.2	5,674 6.0	6,000 49.7	3,749 ▲24.7	4,970 ▲6.4	7,861 22.0
生活関連サービス業,娯楽業	4,541 ▲16.6	2,268 ▲16.3	1,729 ▲38.8	4,535 ▲17.7	1,910 ▲19.3	1,618 ▲37.2	4,570 ▲12.8	1,981 ▲6.8	1,607 51.2	4,629 ▲0.2	2,496 15.8	1,845 0.8	4,228 ▲6.9
教育,学習支援業	655 ▲30.0	738 ▲22.2	716 ▲41.0	962 1.6	870 ▲12.6	843 ▲30.8	1,148 9.6	945 21.6	669 23.4	872 38.0	966 32.0	633 13.0	1,160 77.1
医療,福祉	16,637 ▲15.4	18,547 ▲4.1	19,454 ▲19.1	17,016 ▲10.2	17,615 ▲6.4	19,818 ▲7.4	17,690 ▲5.1	17,740 ▲5.1	17,751 10.8	15,795 ▲1.1	17,222 ▲5.8	17,264 2.1	17,640 6.0
サービス業(他に分類されないもの)	7,688 ▲23.7	7,701 ▲26.2	8,886 ▲28.1	8,030 ▲16.9	7,287 ▲22.5	8,157 ▲20.3	8,140 ▲13.7	8,755 6.1	7,403 1.4	7,637 11.2	8,164 ▲1.9	8,005 0.7	7,355 ▲4.3

(注) 1. パートタイム関係取扱数を含む。 2. 新規学卒者を除く。 3. 上段は原数値。 4. 下段は前年同月比。

第3-2表 新規求人の状況(主要産業別・企業規模別・雇用形態別)

(単位:人,%)

令和3年8月 産業・規模	全 数		うち一般		うちパート	
		前年同月比		前年同月比		前年同月比
産業計	64,225	9.1	36,368	7.0	27,857	11.9
建設業	5,153	12.7	4,806	14.3	347	▲5.7
製造業	4,371	36.0	3,169	32.7	1,202	45.3
情報通信業	2,752	29.0	2,664	28.8	88	33.3
運輸業,郵便業	3,286	15.4	2,546	7.4	740	55.5
卸売業,小売業	6,098	5.4	3,512	▲4.5	2,586	22.7
学術研究,専門・技術サービス業	1,888	4.1	1,471	18.0	417	▲26.5
宿泊業,飲食サービス業	7,861	22.0	1,962	3.3	5,899	29.8
生活関連サービス業,娯楽業	4,228	▲6.9	2,270	▲8.8	1,958	▲4.6
教育,学習支援業	1,160	77.1	482	45.2	678	109.9
医療,福祉	17,640	6.0	8,372	5.2	9,268	6.8
サービス業(他に分類されないもの)	7,355	▲4.3	3,741	▲3.4	3,614	▲5.3
企業規模別						
29人以下	13,971	15.6	9,049	15.5	4,922	15.8
30~99人	11,188	0.0	7,141	2.2	4,047	▲3.6
100~299人	11,512	11.0	7,470	11.1	4,042	10.8
300~499人	3,804	4.3	2,177	▲1.1	1,627	12.5
500~999人	4,559	21.1	2,595	13.7	1,964	32.6
1,000人以上	19,191	7.7	7,936	▲0.1	11,255	14.0

(注) 1. パートタイム関係取扱数を含む。 2. 新規学卒者を除く。 3. 原数値。 4. 一般は、パート以外の常用と臨時・季節を合わせたもの。

第4-1表 新規求職申込件数の状況(態様別)

新規求職申込件数(全数)は2か月連続の増加。「事業主都合離職者」が4か月連続で減少した一方で、「自己都合離職者」が4か月ぶりに増加に転じた。「在職者」、「無業者」は2か月連続で増加した。

(単位:件,%)

		2年					3年							
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全数	新規求職申込件数	25,070	27,483	30,011	22,759	20,179	26,042	27,743	32,794	36,960	23,759	27,785	30,575	27,554
		▲1.6	▲0.5	2.9	▲8.0	▲6.3	▲12.9	4.2	17.1	20.1	▲7.3	▲15.4	6.9	9.9
常用	在職者	5,208	5,734	5,863	4,987	4,695	6,009	7,668	8,377	5,938	4,757	6,316	7,855	7,008
		▲11.7	▲6.6	▲7.4	▲10.4	▲10.2	▲18.0	1.5	12.4	39.8	18.8	▲2.2	41.3	34.6
	離職者	17,466	19,116	21,352	15,643	13,743	17,914	17,530	21,008	27,835	16,767	18,731	19,048	17,545
		3.1	1.9	6.9	▲4.3	2.0	▲9.6	6.9	18.4	13.1	▲15.7	▲19.7	▲7.3	0.5
	事業主都合離職者	5,503	5,616	6,673	4,271	3,983	5,102	4,740	5,912	9,503	4,703	4,919	5,345	4,188
		51.8	40.2	32.8	2.6	19.3	8.8	27.9	37.7	14.1	▲32.0	▲34.6	▲24.7	▲23.9
自己都合離職者	10,932	12,302	13,306	10,368	8,936	11,631	11,570	13,606	15,698	10,963	12,567	11,941	11,880	
	▲11.5	▲10.1	▲3.1	▲7.6	▲3.7	▲15.4	▲0.6	11.2	11.7	▲6.5	▲12.9	▲2.4	8.7	
無業者	2,318	2,559	2,691	2,060	1,665	2,025	2,441	3,292	3,064	2,151	2,650	3,532	2,880	
	▲10.1	▲4.8	▲5.4	▲26.4	▲40.7	▲24.2	▲6.5	21.3	75.9	31.4	▲10.0	46.9	24.2	

(注) 1. 新規求職者は、パートタイム関係取扱数を含み新規学卒者を除く。2. 原数値、下段は前年同月比。
3. 在職者以下は、パートタイムを含み季節労働者を除く常用(雇用契約期間の定めがないか、又は4か月以上の雇用契約期間が定められているもの)のみであるため、新規求職者と各項目の足し上げとは合致しない。

第4-2表 新規求職申込件数の状況(年齢別・性別)

※男性はすべての層で増加、女性は「55歳以上」の層のみ増加となった。

(単位:件,%)

令和3年8月 年齢	男女計		男		女	
		前年同月比		前年同月比		前年同月比
年齢計(常用)	27,433	9.8	13,527	20.8	13,876	0.7
24歳以下	2,378	3.0	1,082	7.6	1,290	▲0.8
25~34歳	5,807	6.1	2,520	19.0	3,277	▲2.3
35~44歳	4,821	4.8	2,061	16.0	2,756	▲2.3
45~54歳	6,096	8.1	2,752	25.0	3,341	▲2.7
55歳以上	8,331	19.5	5,112	24.8	3,212	11.9

(注) 1. パートタイムを含み季節労働者を除く常用(雇用契約期間の定めがないか、又は4か月以上の雇用契約期間が定められているもの)
2. 原数値。 3. 求職申込書における性別欄の記載が任意のため、男女計と男・女の足し上げとは必ずしも一致しない。

第5表 正社員の求人・求職状況 ※正社員有効求人倍率は、前年同月と同倍率となった。

		2年					3年							
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
1	正社員有効求人数(人)	84,103	84,973	88,036	88,020	85,529	85,471	87,414	89,663	87,753	84,791	86,492	86,728	87,551
	(%)	▲21.2	▲21.7	▲20.6	▲19.7	▲19.7	▲17.3	▲14.1	▲10.7	▲2.5	4.4	6.1	3.8	4.1
2	正社員有効求職者数(人)	100,228	102,279	104,931	102,374	97,173	95,553	96,353	102,139	106,538	104,383	102,257	102,649	104,680
	(%)	15.8	19.1	21.0	21.3	20.5	16.8	16.3	19.2	21.1	18.1	9.4	4.9	4.4
3	正社員有効求人倍率(1÷2)	0.84	0.83	0.84	0.86	0.88	0.89	0.91	0.88	0.82	0.81	0.85	0.84	0.84
	(P)	▲0.39	▲0.43	▲0.44	▲0.44	▲0.44	▲0.37	▲0.32	▲0.29	▲0.20	▲0.11	▲0.02	▲0.01	0.00
4	正社員新規求人数(人)	28,053	30,518	31,998	28,717	27,357	31,415	30,587	30,050	29,625	28,069	30,708	30,082	29,702
	(%)	▲24.6	▲14.0	▲21.5	▲22.1	▲15.9	▲13.6	▲11.7	▲4.5	11.8	4.1	0.3	4.6	5.9
5	正社員以外新規求人数(人)	30,827	34,575	34,422	32,315	30,594	35,348	35,415	34,290	31,408	30,999	32,262	30,234	34,523
	(%)	▲30.9	▲18.2	▲32.6	▲23.6	▲24.5	▲15.4	▲16.3	▲5.6	16.9	12.1	▲5.0	1.6	12.0

(注) 1. 「正社員」は下記の「非正社員」以外の者をいう。
「非正社員」：パートタイム労働者、派遣労働者、臨時・季節労働者、契約社員、準社員、嘱託等
2. 正社員有効求人倍率=正社員有効求人数/正社員有効求職者数。なお、正社員有効求職者数にはフルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。
3. すべて原数値。4. 下段は前年同月比(差)。

第6表 職業別求人・求職状況

※「保安」「建設・採掘」「介護関連」の有効求人倍率は、3倍を上回っている。

(単位:人,倍,%,P)

令和3年8月 職業	有効求人数		有効求職者数		有効求人倍率	
		前年同月比		前年同月比		前年同月差
職業計(常用)	162,961	4.8	165,182	8.3	0.99	▲ 0.03
管理	748	6.3	566	▲ 2.1	1.32	0.10
専門技術	39,651	8.8	21,278	2.6	1.86	0.10
事務	13,645	4.4	38,052	▲ 0.3	0.36	0.02
販売	13,870	5.4	10,995	2.4	1.26	0.03
サービス	46,279	▲ 2.8	15,769	5.3	2.93	▲ 0.25
保安	5,388	▲ 13.2	978	10.0	5.51	▲ 1.47
農林漁業	377	7.1	420	17.6	0.90	▲ 0.09
生産工程	10,684	26.4	6,431	▲ 3.2	1.66	0.39
輸送・機械運転	9,181	10.1	4,521	11.6	2.03	▲ 0.03
建設・採掘	7,608	13.7	1,465	30.5	5.19	▲ 0.77
運搬・清掃等	15,530	6.9	22,332	5.5	0.70	0.01
介護関連	25,314	▲ 2.4	6,346	12.0	3.99	▲ 0.59

(注) 1. パートタイムを含む常用。2. 原数値。3. 「介護関連」は専門技術およびサービスのうち、介護関連の職業を合計したもの。

第7表 ハローワークにおける就職件数の推移

(単位:件,%)

	8月	9月	10月	11月	12月	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
就職件数	5,557	6,073	6,523	5,920	5,469	4,615	5,537	7,745	6,630	5,717	6,282	5,857	5,208
	▲ 19.6	▲ 21.5	▲ 22.7	▲ 22.4	▲ 17.9	▲ 11.0	▲ 13.0	0.2	34.8	34.5	4.6	▲ 8.9	▲ 6.3

(注) 1. パートタイム関係取扱数を含む。2. 新規学卒者を除く。3. 原数値、下段は前年同月比。

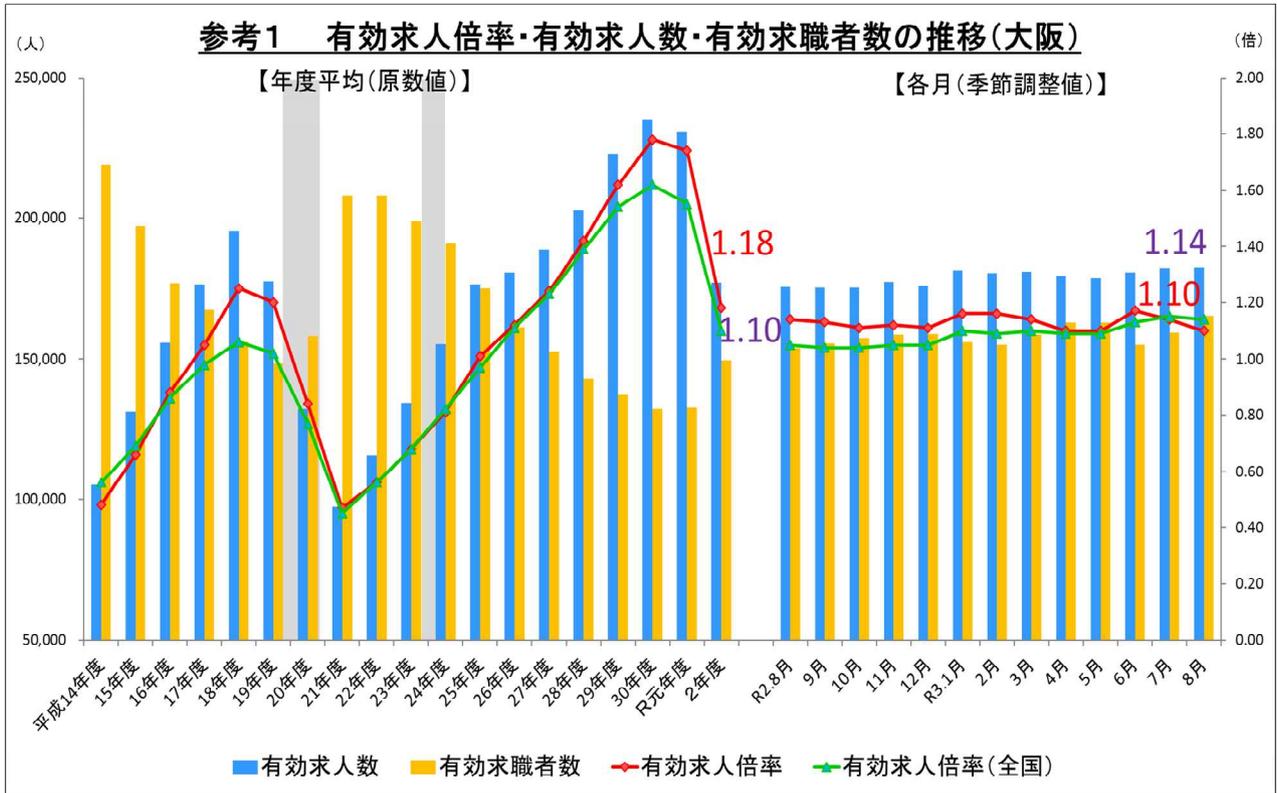
第8表 雇用保険関係業務取扱状況

※雇用保険被保険者数は109か月連続の増加。受給者実人員は2か月連続の減少。

(単位:事業所,人,件,%)

		8月	9月	10月	11月	12月	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
適用関係	月末 適用事業所数	191,901	190,353	190,890	191,380	191,907	192,375	193,060	193,511	194,188	194,819	195,415	195,899	196,357
		1.8	2.0	2.0	2.1	2.2	2.2	2.4	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3
適用関係	月末 被保険者数	3,710,870	3,705,833	3,699,753	3,723,074	3,728,629	3,715,761	3,715,265	3,712,670	3,687,752	3,723,764	3,756,958	3,757,189	3,750,448
		0.4	0.3	0.2	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7	1.0	1.3	1.0	1.1	1.1
給付関係	受給資格 決定件数	8,697	9,078	10,199	7,131	6,340	8,446	8,068	8,877	14,237	9,134	8,742	7,850	7,778
		13.4	12.8	9.6	▲ 1.1	10.6	0.9	11.9	6.5	▲ 3.9	▲ 26.9	▲ 26.2	▲ 22.7	▲ 10.6
給付関係	受給者実人員	40,219	41,441	40,517	37,464	35,250	33,805	33,631	34,622	33,497	32,694	35,752	36,573	37,009
		35.1	40.7	39.4	36.3	29.5	27.1	31.8	33.2	36.7	14.4	4.6	▲ 3.0	▲ 8.0

(注) 1. 「受給資格決定件数」は、一般求職者給付に係る件数。(高齢継続被保険者及び短期雇用特例被保険者に対する求職者給付の件数を含まない。) ※令和2年4月以降については速報値。2. 下段は前年同月比。



(注) シャドー部分は景気後退期。

